

演劇ぶっく

ENTERTAINMENT
P H O T O
M A G A Z I N E

演劇ぶっく第22巻第4号通巻128号
平成19年7月9日発行(隔月9日発行)

AUG.2007 vol.128

8

750yen

ロングインタビュー

河原雅彦



〔表紙のヒト〕

山内圭哉 × 片桐仁

(ラーメンズ)

いとうせいこう / 田口トモロヲ / 堤真一 / 古田新太
筧利夫 / 松浦亜弥 / 佐藤重幸 / 井上芳雄

～岸田國士一幕劇コレクション～

ナイロン100℃『犬は鎖につながべからず』

大河内浩 × 村岡希美 × 植木夏十 / 豆千代

大人計画『ドブの輝き』

池津祥子 × 伊勢志摩 × 顔田顔彦 × 宮崎吐夢 × 村杉蟬之介 / 井口昇

2007/2008シーズンオープニング
 鶴山仁 演劇芸術監督就任 新作3作品連続上演

開場10周年記念フェスティバル公演



二つの悲劇

ギリシャから——壮大にして卑近な、永遠のドラマ——

妻であり母である女“クリュタイメストラ”に焦点をあて、
 映画撮影所を舞台にした現代版“アトレウス家の悲劇”がオープニングを飾る

アルゴス坂の白い家 —クリュタイメストラ—

作：川村 毅 演出：鶴山仁
 出演：佐久間良子 小島 聖 李 丹 山田里奈 篠崎はるく
 磯部 勉 有蘭芳記 山中 崇 松本博之 中村彰男 石田圭祐 小林勝也

7/21(土)前売開始

9/20(木)→10/7(日) 中劇場
 料金：S席7,350円 A席5,250円 B席3,150円



2000年の昔から現代まで変わらずに在る、
 人が人を愛するが故に露呈するエゴイズムを痛烈に描く“大爆笑の大悲劇”

たとえば野に咲く花のように —アンドロマケ—

作：鄭 義信 演出：鈴木裕美
 出演：七瀬なつみ 田畑智子 三鴨絵里子 梅沢昌代
 永島敏行 山内圭哉 大沢 健 大石継太 池上リョーマ 佐渡 稔

9/8(土)前売開始

10/17(水)→11/4(日) 中劇場
 料金：S席7,350円 A席5,250円 B席3,150円



人気漫画家土田世紀が演劇作品に初挑戦。
 唄をめぐる宿命やギリシャ悲劇が内包する「血」の呪いをダイナミックに描く

異人の唄 —アンティゴネ—

作：土田世紀 演出：鐘下辰男
 出演：土居裕子 純名りさ
 木場勝己 小林十市 すまけい ほか

9/24(月・休)前売開始

11/14(水)→12/2(日) 中劇場
 料金：S席7,350円 A席5,250円 B席3,150円



「二つの悲劇」3作品特別割引通し券のご案内

3公演のS席を発売日を気にせず連続で観劇できるお得なセットです。
 料金：19,500円(正価22,050円のところ)

7/21(土)前売開始

■チケットのお申し込み
 ボックスオフィス 03-5352-9999
<http://www.nntt.jac.go.jp>

※あ／イープラス／チケットWeb松竹／CN／ローソン

■2席(1,500円)・当日学生割引(50%)
 公演当日ボックスオフィスとチケットぴあの
 一部店舗にて販売。1人1枚。電話予約不可。

■託児室(キッズルーム「ドレミ」)
 【申込・問合せ】イベント託児・マザーズ 0120-788-222



2007/2008シーズン・特別支援企業グループ

KONAMI TBS TOYOTA 新国立劇場

東京セレソンDX

フルキャストグループ
PRESENTS

アタシは女

グツときたぜよ、ベイビー。

作・演出 サタケミキオ

東京セレソンデラックス公演
 平成十九年七月十一日(水)〜八月五日(日)
 シアターサンモール

土佐の漁師町にひっそりと佇む映画館「オリオン座」。時代の流れには逆らえず、ついに迎えた
 閉館の日、最後に上映されたのは一九六〇年代に作られた「夢遊」という作品であった。

蘭大丸西竹吉飯西杉永阿宮村宅
 香見山慶・森成島村田田南前川間
 レ麗子さ一ぼ清吉恵利絵孝行
 ア遥麗子さ一ぼ清吉恵利絵孝行

【日程】2007年7月11日(水)〜8月5日(日)

月	火	水	木	金	土	日
7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17
14:00	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●
7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24
14:00	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●
7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31
14:00	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●
8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7
14:00	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●

【チケット】

料金 ¥4000(税込)全席指定 2007年5月26日(土)発売

■キョードー東京 03-3498-9999 (10時〜18時/電話予約のみ)

■電子チケットぴあ 0570-02-9999

0570-02-9966 Pコード:376-449

■イープラス <http://eee.eplus.co.jp>

■ローソンチケット 0570-00-0407

0570-08-4003 Lコード:37197

【チケット問い合わせ】キョードー東京 03-3498-9999

<http://www.kyodotokyo.com>

【アクセス】

シアターサンモール
 新宿区新宿1-19-10 サンモールクレタB1 tel:03-3352-5577
 (地下鉄丸の内線新宿御苑駅大木戸方面出口より徒歩3分)

特別協賛 フルキャストグループ

主催 東京セレソンデラックス
 協賛 KDDI株式会社
 企画制作 オフィスセレソン/ビクターエンタテインメント
 後援 TBS/TBSラジオ
 協力 チアーズ/キョードー東京/土佐清水市
 宣伝協力 プロジェクト・ブリーダー/ディップス・プラネット

<http://www.ts-dx.com/>

004



【大人計画】
ドブの輝き
池津祥子
伊勢志摩
顔田顔彦
宮崎吐夢
村杉蟬之介
井口昇

012



【ナイロン100℃】
犬は鎖に
つなぐべからず
～岸田國士一幕劇
コレクション～
大河内浩
村岡希美
植木夏十
豆千代

018



【演劇キックプロデュース】
レミゼラブル
ブルースカイ・いとうせいこう
廣川三憲

022



【演劇キックプロデュース】
天国と地獄
江本純子・田口モロロ

026



【演劇集団キャラメルボックス】
まつさをな
坂口理恵・温井摩耶
實川貴美子

030



【シス・カンパニー公演】
写楽考
堤真一

032



【ヨーロッパ企画】
バックトゥー 2000シリーズ
苦惱のピラミッド
冬のユリゲラー
上田誠・永野宗典・中川晴樹

034



【シベリア少女鉄道】
永遠かもしれない
前畑陽平・篠塚茜

035



【猫のホテル】
苦勞人

036



【青年団国際交流
演劇プロジェクト2007】
別れの唄

037



CLEANSKINS
きれいな肌

046



TAKARAZUKA 2007
NEW SCENE
音月桂 鳳稀かなめ

062



【ロングインタビュー】
河原雅彦

068



【表紙のヒト】
片桐仁・山内圭哉

全方向から見えます!

038



【ホリプロ/Bunkamura】
藪原検校
古田新太、小林清隆、赤崎郁洋、土屋武史、中越司

【CLOSE-UP STAGE】

048 『すけだち』
寛利夫・松浦亜弥

050 『GH00000ST!!』
福島三郎・佐藤重幸

052 『ささやき色のあの日たち』
北村一輝・岸谷五朗

054 『ロマンス』
井上芳雄

056 『犬顔家の一族の陰謀』
池田成志

058 【シバイのミカタ】
モダンスマイズ／クロムモリブデン／スクエア and more!

060 【シバイのミカタ〜チケブレ編〜】
少年王者館／アーノルド／Studio Life and more!

070 【特捜! えんぶスクープ関西版】 吉永美和子

071 【インディ高橋のPatchy小道具研究所R／28】

072 【連載読み切り小説『蠅男』第四章 脱出】 赤堀雅秋

073 【束から1枚／11】 久住昌之

074 【素晴らしきギャグ人生2007／48】 西川浩幸

075 【栗根まことの人物ウォッチング／岡田達也】 【次号予告】

076 【ENBUゼミニユス】

080 【ミニレボ+オーディションニユス】

082 【シバイのミカタ+】公演データ編(7月9日～9月10日)

088 【フロム・リーダーズ／プレゼント広場】

昭和音楽大学 中学生・高校生のための

ミュージカル講座

7月29日(日)～31日(火)

【対 象】 中学生・高校生(既卒者含む)

【講座内容】 演技、ダンス、ステージング等 ほかに個人レッスン(別途申込)もあります。

【受講料】 25,000円(税込)

【お申し込み・お問い合わせ】 入試事務室

0120-86-6606

[E-mail] nyushi@tosei-showa-music.ac.jp



新百合ヶ丘・新キャンパス(南校舎)

昭和音楽大学

音楽学部 音楽芸術運営学科ミュージカルコース

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

http://www.tosei-showa-music.ac.jp

昭和音楽大学

検索

キャンパス
説明会8月25日(土)
14:00～【対象】
中学生・高校生
(既卒者含む)

★文化庁 平成19年度芸術団体人材育成支援事業

昭和音楽大学生涯学習センター公開講座
ミュージカル・サマーワークショップ2007ブロードウェイ・
ミュージカル
講座Voice
&
Dance経験者向けの
集中レッスン本場ブロードウェイの講師が、
ミュージカル唱法とダンス技法を集中的にトレーニング。

7月16日(月)～20日(金) 10:00～17:00

【講 師】 キャスリーン・コンリー (Dance)、ジョー・ブサード (Voice)

【対 象】 2年以上のレッスン歴のある方

【受講料】 30,000円

【申込方法】 応募要項をご請求ください。【締切迫る!】

【お申し込み・お問い合わせ】 昭和音楽大学生涯学習センター

044-953-9849 (直通) [E-mail] lifelong@tosei-showa-music.ac.jp



大人計画の新作公演『トブの輝き』は、
宮藤官九郎作・演出作品『涙事件』、
松尾スズキ作・演出作品『アイドルを探せ』の
間に、井口昇監督・脚本作品『えっくす』(映像)
が挟まるという、劇団初の三部構成。
その3作品の魅力に、ぐいぐいと迫ります!

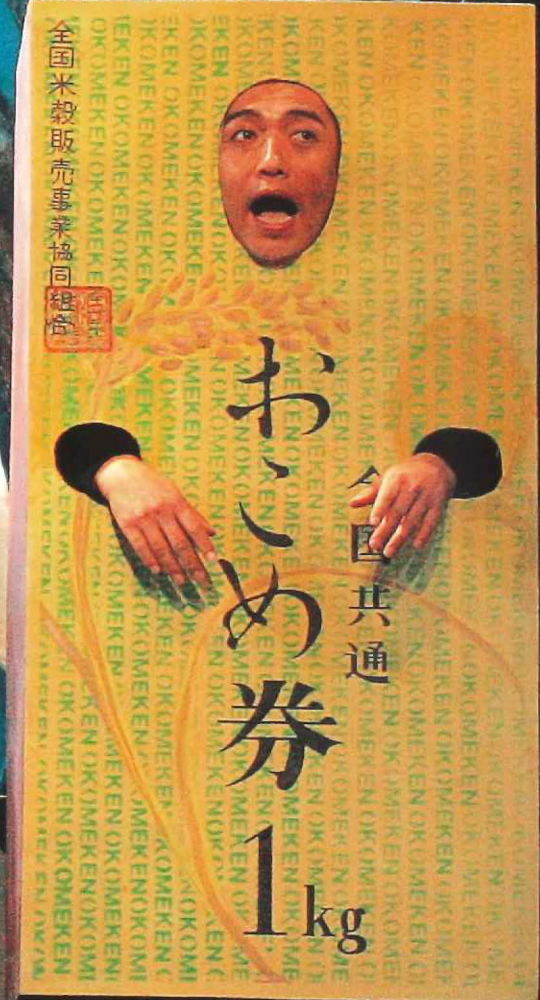
作・演出◎松尾スズキ 監・演出◎井口昇
出演◎阿部サダヲ 池津祥子 伊勢志摩 藤田麻由 矢野美和 宮崎紗子 猫背椿
菅川銀時 村松道之介 田村たけあき 荒川良々 近藤公園 平岩綾 宮沢紗恵子 宮藤官九郎
松尾スズキ(映像のみ) 池田成志
5/10〜6/3の3本多劇場

大人



計画

トブの輝き





ハイネケンと、船に酔いマク口漁師・涙きよし(池田成志)のデュエット。歌う曲は「オランダまぐろ」。



作詞家の藤田光明氏(荒川良々)も、この事件の暗部に関わっていた。



不幸が演歌をヒットさせるという信念を持つおさむは、極度のあまり味覚障害になってしまった「涙きよし」(平岩紙)をデビューさせ、貧乏演歌をヒットさせた。

涙事件

「涙事件」

芸能事務所「オフィス涙」代表の涙おさむ(村杉蟬之介)は、所属の演歌歌手を次々と殺害した罪で起訴されている。今はその公判中。激しくやりあう検事(阿部サダヲ)と弁護士(池津祥子)だが、事件の謎を解けば解くほど、裁判はあらぬ方向、というかへんな方向へと向かっていく。「演歌の勘所は不幸だ」という言葉を盲信している涙おさむは、自らの不幸「死刑判決」を望んでいるのだが……。

「異議あり!それは誘導尋問です」「異議を認めます」。緊迫した法廷、殺人を犯した被告人、検事と弁護士の白熱した戦い——。宮藤官九郎作・演出の『涙事件』は、自身初の法廷劇……なんですけど……。キワどい証人、ヘンテコ演歌、よく見ると弁護士も裁判長も、アレレ? この法廷、何かおかしくない? っていうか、全体的におかしくない?? 何でもアリの宮藤官九郎流法廷劇、只今開廷します!

ドブでも輝く! 故のステキさ 涙事件

3作品の中で、それぞれのキャラクターを演じ分けてきた俳優たち。この公演について、池津祥子、伊勢志摩、顔田顔彦、宮崎吐夢、村杉蟬之介の5名の俳優に、座談会形式にてお話を伺いました。まずは『涙事件』のお話から!

タミフル飲んで書いたって言っていました(笑)

伊勢 村杉さんは今回、宮藤(官九郎)君に「こは狂気を抑えて」とか「出して」とか、割と真面目な演技指導を多く受けてましたね。

村杉 ああ、そうですね。

池津 あと、怒鳴った後にはため息をつかないで」とか(笑)。

伊勢 それはいつも受けている演出ですね(笑)。村杉 僕、叫ぶとすぐため息をつくらしくて。池津 今回はお話をカチッとしてるし、いかに崩さないようやるかに気を配りました。宮藤君からは「気持ちちは名取裕子で」と言われたので、現役感を出しつつ。

——え、現役感とは?

池津 おばちゃん弁護士じゃなくて、女として現役(笑)。一応それは気を付けました。

伊勢 顔田君への演出は「貫して」「喋らないで」「ことごと」たよね(笑)。

顔田 稽古の最初は一言一言あったんだけど、最終的には最後まで喋らないことに決まってる。でも、本当に「挙手」「投足」まで宮藤君からの指示がありましたよ。「こう動いて」とか「このタイミングで座って」とか。宮藤君の中でやって欲しいことがすごく具体的に決まってるんで、演出もより具体的にだと思っています。

——宮藤さんは普段からきっちり演出をつけるタイプなのですか?

顔田 いや……人によるんじゃないでしょうかね。泳がすとか。お任せする所もあるし。

宮崎 客演された役者さんで「松尾さんの演出はこまかくて、宮藤さんのは大まかなのか」と思っていたら、まったく逆だった」と仰ってた方もいましたよ。

伊勢 私のハイネケンという役は比較的ほったらかしでしたね。ほったらかしのひととそうでない人がいる感じがな。

村杉 宮藤さんから聞いたら、ハイネケンの所はインフルエンザですこい熱が出た時、タミフル飲んで書いたって言うてました(笑)。

顔田 あは(笑)。池津 タミフルが生んだシーンなんだ(笑)。

伊勢 ちょっとと良かったね、ハイネケンは気が狂ってる役だから。

池津 書いた次の日に読み返したら「何だこれ?」って(笑)。自分で書いておいて「バカじゃな」と思ってたらしいよ(笑)。

村杉 宮藤さんの演出といえば……皆川(猿時)君のシーンで急に芝居止めて、「一言」瘦せたよね?」って。

顔田 「もつと太つて」って、すこいダメ出しだよ(笑)。

伊勢 皆川君の体型には厳しいですよ、宮藤君は。

私達、いつまでパンツ見せてればいいんだろ?」(笑)

——皆さんが演じたキャラへの感想はどうですか?

池津 私は新鮮でした。露出する役が久しぶりだったんで。

伊勢 でも、宮藤君の芝居でいうと露出系多くない?

池津 そっかな?

伊勢 お客さんは「池津さんまた脱いである」みたいな印象があると思うよ。

池津 あ、そうなんだ。気づかなかった。自分じゃ全然分かんないですね。

伊勢 私は宮藤君の芝居では、おかしなメイクで出てきて「瞬で去るみたい役が多いです」。「名取裕子でやってください」みたいな具体的なイメージがない役。

池津 「伊勢さんで」ってことでしょうか?

伊勢 指令があればきくと出来ると思うので「私も名取裕子みたいな演技をする準備はあります!」と、演劇ぶっくを通して宮藤さんに言いたいと思います。あつてもパンツでは出たくないです(笑)。

池津 猫背橋が言てたの聞いた? 「私達、いつまでパンツ見せてればいいんだろ?」って(笑)。

伊勢 60歳位までやればいいんじゃない? 小劇場で60歳までパンツで出た人はいないでしょう(笑)。

——池津さんご本人としては、演出されれば辞さず……という心境なんですか?



ロシア人が織いオランダ人・涙ハイネケン(伊勢志摩)が証人として登場。一方、審議(顔田顔彦)は公判中、何があっても全く喋らない。

池津 言われたらパンツで出るしかありませんから(笑)。

宮崎 ここだけの話、池津さん、パンツで出てわかって急いでエス通ったり、運動したりしたんですよ。

池津 そつですよ、30代女性に夢を与えないと。

伊勢 元タスイルいいですよ。本人、ちょっと気にし過ぎなんですよ。

池津 いやいや、知らないでしょ? 私のお尻じっくり見たことないでしょ(笑)。

伊勢 まあ、見てないけど(笑)。

池津 努力したんだから(笑)。

顔田 さつき少し話したんですけど、僕はラストシーンまでずっと喋らなくて、最後に二気に喋る役なんです。喋らないで舞台上にいるというのが……割合疲れるんですよ。不用意に動くとか余計目立つので。

宮崎 ようやく喋った顔田さんに、村杉さんが「君は喋らない方がいいタイプだな」って言うシーン、お客さん全員が「ああ、そつだなあ」って共感するらしいよ(笑)。それは宮藤さんの演出が大成功ってことなんだろうけど。

顔田顔彦

かおだかおひこ○71年生まれ、島根県出身。91年より大人計画に参加。俳優活動の他にも、TVやラジオ等の構成でも活躍している。

次回予定○DVD「大人計画フェスティバル」発売中 ○DVD「DEATH NOTE」発売中



伊勢志摩

いせしま○69年生まれ、岩手県出身。91年より大人計画に参加。大人計画以外にも、客演として阿佐ヶ谷スパイダース等に出演し、その存在感溢れる演技には定評がある。

次回予定○テレビ東京「モテケン」毎週月曜25:00~25:30 O.A.



池津祥子

いけしょうこ○69年生まれ、福島県出身。90年より大人計画に参加。舞台以外も、TVや映画などで幅広く活動しており、近年ではドラマ「吾輩は主婦である」、映画「フラガール」など、話題作に出演している。

次回予定○映画「魅魘の匣」107年公開



『アイドルを探せ』

公私共に追いつめられていたワタナベ(宮崎吐夢)は、樹海にやってきました。その身を滅する場所を求めて。すると、地面に転がっていた、まつぼっくり(池津祥子)、猫の死体(村杉蟬之介)、コンドーム(宮藤官九郎)、ブルーシート(荒川良々)が、ワタナベに声をかけてきた。驚きながらも彼らの声に耳を傾けるワタナベは「ワタナベの話を聞かせて」とせがむゴミ達に、自分のダメな身の上話を聞かせることに――。

コンドーム(宮藤官九郎)が言う「精子をまりをいじっていると危されるんだよ」。



地元の名士・浅利秀吉(阿部サダヲ)は、周囲の飲食店のはとんどを経営している。ミンミョン(伊勢志摩)のお店「ニュー秀吉」もそのひとつ。

ドブの輝き アイドルを探せ

ゆるくダメなヒト達は、ゆるくダメに日々を過ごし、こっそりこっそり割り合い、ひっそりひっそり死んでいく――。

松尾スズキ作・演出の『アイドルを探せ』は、樹海に死に場所を求めた“ゆるダメなヒト”ワタナベの、最期の、そしてこれからの物語。ファンシーなゴミ達と語り合った、そのヒトが樹海で見つけたものは、正に“ドブの輝き”だったのかもしれない。「お互いドブの中だけど、それでも君を助けたいんだ」――。そんな思いが、聞こえた気がした。



秀吉の息子・浅利ケータ(菅川暁時)は、ツララと会う作戦を立て、横計アイドル研究会の仲間らと共に実行中。



ワタナベから金を取り立てようとする猫エロクイン・ツララ(猫背橋)と、そのマネージャー・剣(近藤公園)。

ドブでも輝く! 故のステキさアイドルを探せ

稽古場、そして本番と、その場にいたからこそ語れるエピソードは盛り沢山! 大人計画俳優陣による『ドブの輝き』座談会。続きまして『アイドルを探せ』のお話をどうぞ!!

赤ちゃんみたいな無垢な瞳で見るんですよ

顔田 最初に台本もらった時は、松尾さんっぽい本だなあと感心しました。

池津 やるの難しそう! と思ったよ。

顔田 読みにくい台本ではあったんですよ。平仮名が多くて。

宮崎 句読点が少ないんですよ。

顔田 台詞のニアンスをそのまま文字に起こしてある、みたいな。

伊勢 でも、松尾さんの本で最近そうだよな。読むとすごい面白いく、ぼんやり聞いていると分らない。みたいな。それはすごく勿体ないから「何とか頑張らねば」と思ったり。

宮崎 僕は今回、長台詞を覚えるのはたいへんでしたが、普通のテンションで芝居ができるのがすごくやりやすくて、いつも観に来てくれる中学時代の友人も「お前は外人とかオカマとかテンション高い役よりこういう役の方が向いてるんだよ。道化タイプじゃないんだし」と言われました。そのあと「そもそも役者タイプでもないし」とも言われましたが。

伊勢 あはは(笑)。でも、秀吉という阿部君の役と、ミンミョンという私の役と、吐夢さんの3人のシーンがあるんですけど、そこは阿部君のおまかせコーナーみたいな感じなんです。その様子を吐夢さんは赤ちゃんみたいな無垢な瞳で見ているんですよ。ものすごくきょとんとした目で、芝居をしてないんです(笑)。

宮崎 赤ちゃん(笑)? いや、阿部が毎回、絶対にお客さんに伝わりやすいようなムチャな振りばかりするから、面白い人だなって感心して見ているんですよ。

顔田 僕はマスクを被ってる役なんですけど、そのマスクが完成したのが本番2日前くらいで……。

池津 良く出来てるよねー、口も自在に動くし、あんなにすくいは思わなかった。

村杉 ちゃんと顔型を取って作ったから、内側は顔田さんの顔になってる。

顔田 ちょっと嬉しいよねえ。あれを付けてると緊張なくて済むよ。顔の上に1枚膜があって包まれている感があるから、ちょっと安心する(笑)。

池津 僕はマスクを被ってる役なんですけど、そのマスクが完成したのが本番2日前くらいで……。

池津 良く出来てるよねー、口も自在に動くし、あんなにすくいは思わなかった。

村杉 ちゃんと顔型を取って作ったから、内側は顔田さんの顔になってる。

顔田 ちょっと嬉しいよねえ。あれを付けてると緊張なくて済むよ。顔の上に1枚膜があって包まれている感があるから、ちょっと安心する(笑)。

池津 僕はマスクを被ってる役なんですけど、そのマスクが完成したのが本番2日前くらいで……。

池津 良く出来てるよねー、口も自在に動くし、あんなにすくいは思わなかった。

村杉 ちゃんと顔型を取って作ったから、内側は顔田さんの顔になってる。

顔田 ちょっと嬉しいよねえ。あれを付けてると緊張なくて済むよ。顔の上に1枚膜があって包まれている感があるから、ちょっと安心する(笑)。

池津 僕はマスクを被ってる役なんですけど、そのマスクが完成したのが本番2日前くらいで……。

池津 良く出来てるよねー、口も自在に動くし、あんなにすくいは思わなかった。

村杉 ちゃんと顔型を取って作ったから、内側は顔田さんの顔になってる。

顔田 ちょっと嬉しいよねえ。あれを付けてると緊張なくて済むよ。顔の上に1枚膜があって包まれている感があるから、ちょっと安心する(笑)。

日本の ジョン・タトゥーロだ!

――村杉さんと池津さんはカッパル役でもありましたね。

池津 キスシーンもあったしねえ。

村杉 女性とのキスシーンは初めてですね。皆川君、荒川(良々)君、顔田さんともしたことあるけど……。

池津 すいませんね、初めてが私で(笑)。

村杉 いいや、そんな……。僕の場合、松尾さんの本だと最近老け役が多かったんで、今回みたいな若者役は珍しくて。

伊勢 あれ、すごく格好良かったよ! あれはね、ジョン・タトゥーロなの、私の中で。演劇ぶっくに、村杉さんは日本のジョン・タトゥーロだ!と書いておいて下さい。でも、もうみんなに言われているよね、きつと。

宮崎 絶対言われてないよ(笑)。本田美奈子(昔、和製マドンナ)とか言われてたくらい言われてないよ。

伊勢 おかしいなあ。絶対そうなんだけど。ちょっとリゼントにしてる所とか。稽古場でア

メリカ人みたいに動けと演出されてる所とか。池津 でも、一緒に絡んでる時にすぐため息つくんだよ(笑)。

伊勢 本番中ガッパンため息してるよね。

池津 「しかしアレだよな、フー」って台詞があつて、そこは「フーッ!!」って浮かれた気持ちでやってほしいのに「ふう……」って弱く(笑)。

村杉 ああそうか。ため息かと思つた。

池津 「ふう……」じゃ、若者役じゃなくておじいちゃんだよ(笑)。

松尾さんはいつでも 愛嬌がありますよ

――『アイドルを探せ』は松尾さん流の「愛嬌」が詰まった作品だなあと感じました。愛くるしいし、切ないですよ。

伊勢 松尾さんはいつでも愛嬌がありますよ。ダーリンと怒溝のように展開すると、そういう面が隠れてしまうこともありますが、大抵可愛い感じですよ。確かに「今回は可愛さ全開で来たな」とは思いました。

顔田 松尾さんの心象風景がかなり出ている感じがしますね。前はそういう所をもっと隠していたような気がします。わざと過激にしたりして。

池津 照れながら隠す、みたいな。

顔田 以前は「もっとと混乱させてやろう」みたいな所があったし。

池津 私は、まつぼっくり役にすごく力を入れていて、最初の本読みでこの役をやった時に、「この役だけは絶対誰にも渡したくない」と思いました。

一同 あはは(笑)。

池津 可愛く出来なかつたりすると途中で役が変わることもあるから、相当気合い入れて(笑)。

まつぼっくりにこだわった理由は何ですか? (笑)。

池津 ゴミの中のメンバーに入らなかつたんですよ。あれ、楽しい。ゴミのシーンはぐつと来るんですよえ……。『ワタナベはゴミじゃないからな』っていう台詞とかも、とても好きだし。

宮崎 ゴミのシーンは学会会みたいで楽しかったですよな。

村杉蟬之介

むらさぎさのすけ 65年生まれ、群馬県出身。94年より大人計画に参加。俳優として活躍する他、パンクバンド「グループ魂」では「バイト君」としても人気を博す。

次回予定 〇『歌の翼にキミを乗せ-ロクサーヌに捧げるハイネの詩-』17/12〜22 〇新国立劇場 小劇場、7/25〜26 〇大阪厚生年金会館 芸術ホール、8/1〜2 〇共済ホール 〇ミュージカル「キャバレー」10/6〜21 〇青山劇場、10/26〜28 〇愛知厚生年金会館、11/2〜4 〇大阪厚生年金会館 大ホール



宮崎吐夢

みやざきとむ 70年生まれ、東京都出身。92年より大人計画に参加。CDやDVDをリリースしたり、雑誌連載を書く抱えるなど、各方面で多様な才能を発揮している。その鋭い観察眼と独特の感性を支持するファンは多い。

次回予定 〇テレビ東京「モテケン」毎週月曜25:00〜25:30 O.A. 〇「大阪ショートレインフェスティバル」(出演)8/4・5 〇松下IMPホール 〇ON THE WAY COMEDY「道草」DVD、CD共に発売中





ビビッとした顔が元に戻らなくなってしまったビックちゃん(阿部サダヲ)が、施設に搬入してきたガッツ(福育博)と戦う。

遺産を狙う長男・哲平(菅川猿時)と次男の俊介(宮藤官九郎)も、遺産相続に執念を燃やす。



次男・俊介(宮藤官九郎)も、遺産相続に執念を燃やす。

芝居の合間に流す映像を作ることは……正直、映画を作ることは全然違いました。お客さんは大人計画という劇団の芝居を観に来ているのに、突然、約20分間の映像を強制的に観せられる訳ですから(笑)。これはかなり勇気がいることだとは思いましたし、とりあえず「あまり先入観なく観られるものにしなきゃ」という気持ちはありましたね。更に、20分の映像の中に役者さん17人を全員出演させなきゃいけないという条件もあったので、色んな要素が短い時間の中で、こたえになりつつも、誰が観ても分かる内容にしたいなとは思っていました。芝居の合間に観るものだし、ブレイクダウン的な気持ちで楽しんでもらえるよう、内容に複雑さのないものを目指そうと。キャストにシンドロームを、まず皆川さんと宮藤さんを兄弟にしたら面白いだろうな、というのが前々からあったので、それをまず活かそうと思いましたが、その後は割とすんなり決まっていきましたね。それと、他の演出家さん達は気を遣ってやらせないようなことを、あえて今回はやって頂こうという意識はありました。宮藤さんの顔にマッチ棒を挟んだり、松尾さんに半ズボン履かせたりしてね。今、それが出来る演出家は少ないので、じゃ、僕がお願いしようかと(笑)。その辺は賛沢だったと思いますね。

今、それが出来る演出家はいないので、芝居の合間に流す映像を作ることは……正直、映画を作ることは全然違いました。お客さんは大人計画という劇団の芝居を観に来ているのに、突然、約20分間の映像を強制的に観せられる訳ですから(笑)。これはかなり勇気がいることだとは思いましたし、とりあえず「あまり先入観なく観られるものにしなきゃ」という気持ちはありましたね。更に、20分の映像の中に役者さん17人を全員出演させなきゃいけないという条件もあったので、色んな要素が短い時間の中で、こたえになりつつも、誰が観ても分かる内容にしたいなとは思っていました。芝居の合間に観るものだし、ブレイクダウン的な気持ちで楽しんでもらえるよう、内容に複雑さのないものを目指そうと。キャストにシンドロームを、まず皆川さんと宮藤さんを兄弟にしたら面白いだろうな、というのが前々からあったので、それをまず活かそうと思いましたが、その後は割とすんなり決まっていきましたね。それと、他の演出家さん達は気を遣ってやらせないようなことを、あえて今回はやって頂こうという意識はありました。宮藤さんの顔にマッチ棒を挟んだり、松尾さんに半ズボン履かせたりしてね。今、それが出来る演出家は少ないので、じゃ、僕がお願いしようかと(笑)。その辺は賛沢だったと思いますね。

井口昇 松尾さんと宮藤さん描く以外の隙間を。実は僕、通し稽古を観るまで松尾さんと宮藤さんがどういうお芝居をやっているのか全然知らなかったんですよ。でも、実際に劇場で3本通して観てみたら、思ったより浮いてなかったし、意外と松尾さんと宮藤さんの作品との共

井口昇



いぐちのぼる(69年生まれ、東京都出身。94年より大人計画に参加。主に映画監督として活躍し、監督作品には「恋する幼虫」「丹」などがある。舞台俳優としても、大人計画の公演や竹中直人らの追加減2「それ」などに出演している。

次回予定◎雑誌「hon-nin」9月号よりマンガ原作連載スタート(作画/中川翔子)

バカなことって何でこんなに面白いんだろう? 「ドブの輝き」の中で、演劇と演劇の合間に流した20分間の映像を監督・脚本した井口昇。しかし、はつきりいつてこの映像……とてもバカで、とても素晴らしいです! 20分とは思えない程の濃縮エンターテインメント、その圧倒的なくだらなさ&面白さについて、三三三顔が眩しい井口監督に直撃しました!

井口昇 手作りのカレー食べね。池津 いいなあ、それ。そうしようよ!!



宮崎 「もう俺は」

『えつくす』 金剛家の遺産をめぐる、長男の哲平(菅川猿時)と次男の俊介(宮藤官九郎)は、病床の金剛太(戸山真子)の気を引こうと馬鹿馬鹿しくも激しいバトルを繰り広げる。心の優しい三男の和雄(近藤公園)は、そんな兄達に嫌気がさし、家を出て養護施設「ひまわりの家」で働き始めることに。その施設には、様々なトラウマの為に心の成長が止まってしまった人達が、明るく、そして全力で馬鹿馬鹿しく暮らしていた。

「えつくす」の撮影はとにかく楽しかった! 井口昇 撮影中に井口さんがすごく三三三してるところから、つられて楽しくなっちゃいますよ。それに、スタッフさんが井口さんと完全に気持ち通じているので、無駄に待たされることもなく、とても気持ちよく撮ってもらえました。池津 あと、何も考えなくていいから楽しかったっていうのもあるよね。何も知らずに現場に行くと、井口さんに「こんばんは!」って「こんな感じで」って「ユアス」とかを聞いた「ばがりばじだ!」(分かります)って真似するのが楽しかった(笑)。

三輪 (大河内浩)とその妻 (安澤千草)。並木 (植木夏十)とその妻 (植木夏子)。あるデパートの屋上で偶然再会した。妻2人が買い物に行っている間、旧友である三輪と並木は日々の生活について口にする。比較的裕福な生活を送る三輪に対し、小説家への夢破れた並木は薄給の勤め人。友達を案ずる会話は若かりし頃の様にいはい。2人は「その後の境遇の違い」に痛いほど面する。

屋上庭園



ぶらんこ

洪次郎は「夢」に並々ならぬ興味と執着がある。そんな彼は、自分が昨夜見た「ぶらんこの夢」について、紅子に語り聞かせる。夢の中の幻想的な世界に、2人は徐々に心酔していき……

日曜の午後。どこに行くあてもない久慈と文子。2人で鎌倉旅行に出る想像を膨らませ盛り上がる。めくめく想像旅行が一段落し現実に戻された2人は、日頃の生活で感じる悩みや不安を口にする。拭い去れない一抹の寂寥を抱えた2人がふと庭に視線を移すと、垣根の外からひとつの紙風船がふわりと飛んできた……

紙風船



ワゴコロ、ココニアリ

今回のナイロン100℃は、岸田國士の戯曲をケラリーノ・サンドロヴィッチが丁寧にかつ大胆に演出した『犬は鎖につなぐべからず』。岸田國士「幕劇コレクション」の劇団初和装劇。ポップでお洒落な着物、軽妙で情緒溢るる台詞回し、そして、劇中をさらりさらりと流れる、とある町内の些末な出来事……。自分の目で見たいものがないムカシのヒトビトに何故か得も言われぬ郷愁を覚えつつ、「もしかして、何も変わらないのかもしれない……」なんて発想に、ちょっと安堵した和の心、ワゴコロ、ここにあり。

岸田國士とは……

まだくにお1890年生まれ、東京福出身。日本語による近代的な台詞劇を国内で最初に執筆し、その後の、よる近代的な日本演劇界に多大な影響を与え、戯曲、戯作、小説家、演出家、評論家などとして活躍し、1954年没。その名を冠に付けた「岸田國士戯曲賞」は演劇界の芥川賞ともいわれ、大きな注目を集める戯曲賞として名高い。



犬は鎖につなぐべからず

今里家は、真面目で家族思いの英語教師・念吉(大河内浩)。元氣一杯だが発音不良の為か幼少を強く残す息子・甲吉(植木夏十)。そんな2人を気丈に支えるしかり者の妻・二見(村岡希美)の3人家族。息子の成長や将来を心配しながらも温かく見守ろうとする夫婦には、近頃、新たな悩みの種があった。それは、ご近所の猫を盗いかけ回したり、よそ様の靴を片方だけくわえて逃げたりする、いたずら好きな飼犬「犬」の存在。今日も一家の庭先には、無邪気な甲吉の声とご近所からの喧騒が届いている。



ナイロン100℃ 30th SESSION

犬は鎖につなぐべからず

～岸田國士一幕劇コレクション～

作・岸田國士
脚色・構成・演出・ケラリーノ・サンドロヴィッチ
和装・豆千代
振付・井手茂太
出演・松永玲子、みのすけ、村岡希美、長田奈麻、新谷真弓、安澤千草、廣川三憲、藤田秀世、植木夏十、大山銅則、吉増裕子、杉山真、銀鏡太郎、堀江雄、植木幹斗、植木たけ、大河内浩、植木潤、松野有里巳、森原聖人
5/10～6/3 青山山形劇場

隣の花

西洋文化を好み、都会的な感覚を持つ久慈(みのすけ)と、その妻で、古風な出で立ちの文子(植木たけ)。植物を愛で、おらかな性格の目木(藤田秀世)と、その妻で、若く活動的な舞子(新谷真弓)。この2組の夫婦はお隣同士。2人の旦那は、妻とは対照的な隣、奥にははかなな愛情を募らせ、妻もまた、夫とは対照的な隣、奥に淡い憧れを抱いていた……



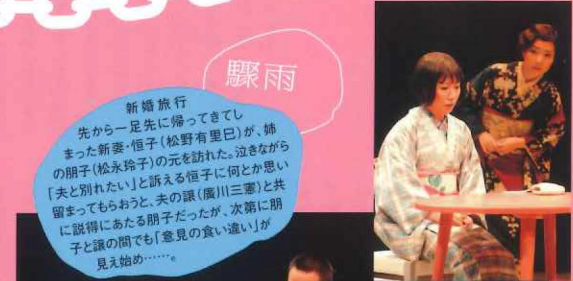
ここに弟あり

名士の次男坊として生まれたが、バイオリン奏者を志す為に上京した洪次郎(森原聖人)は、子供っぽい所もあるが明るく前向きな紅子(長田奈麻)と同様中。ある日、2人の元に、洪次郎にとって昔から頭の上からなかった、年の離れた兄・基一郎(廣川三憲)が訪ねてくる。厳格な兄の訪問にやきもきする弟とは対照的に、意外にもその兄は、2人の身を真剣に案じていた。



驟雨

新婚旅行、先から一足先に帰ってきてしまった新妻・恒子(松野有里巳)が、姉の朋子(松永玲子)の元を訪れた。泣きながら「夫と別れた」と訴える恒子に何とか思い留まってもらおうと、夫の康(廣川三憲)と共に涙顔にあたる朋子だったが、次第に朋子と康の間でも「意見の食い違い」が見え始め……



岸田國士と○○○○

このインタビューは、どうしても岸田國士に関することが話題の中心になりました。この偉大な劇作家の魅力や奥深さは、当然ながら今作の中核にどこかりと根ざしているように……。ええ、いこうなったら岸田國士さんのことを真正面から聞いてみよう！公演タイトルにもなった「罫犬は鎖に繋ぐべからず」で、今里家の面々を演じたお三人は……岸田國士とかがって、どうですか!?

ポップびびりしました

——この「犬は鎖に」以前に、岸田國士作品に触れる機会がありましたか？

大河内 いや、ないですね、全く。

村岡・植木 私達もないです。

——実際に岸田戯曲を読んだ感想というのは？

村岡 感覚が近いという感じがしました。ポップびびりしましたね。

大河内 すごく人間通の人だなという印象があります。最初にスリッと読んだ時は「あれ？」って思ったんですけど、2回3回読み進めるうちに、ジワジワと効いてくるというか。ある程度人生経験を積んでいる方が、より楽しめる戯曲なのかなと思います。夫婦のこともそうだし、人間同士の機微や葛藤とか、歳を経ていると「自分の人生のシーンにもこういうことがあったな」と頷くことがあるわけですね。

——夫婦の会話などは、昔も今もそう大きく変わらなないのかもしれないですね。

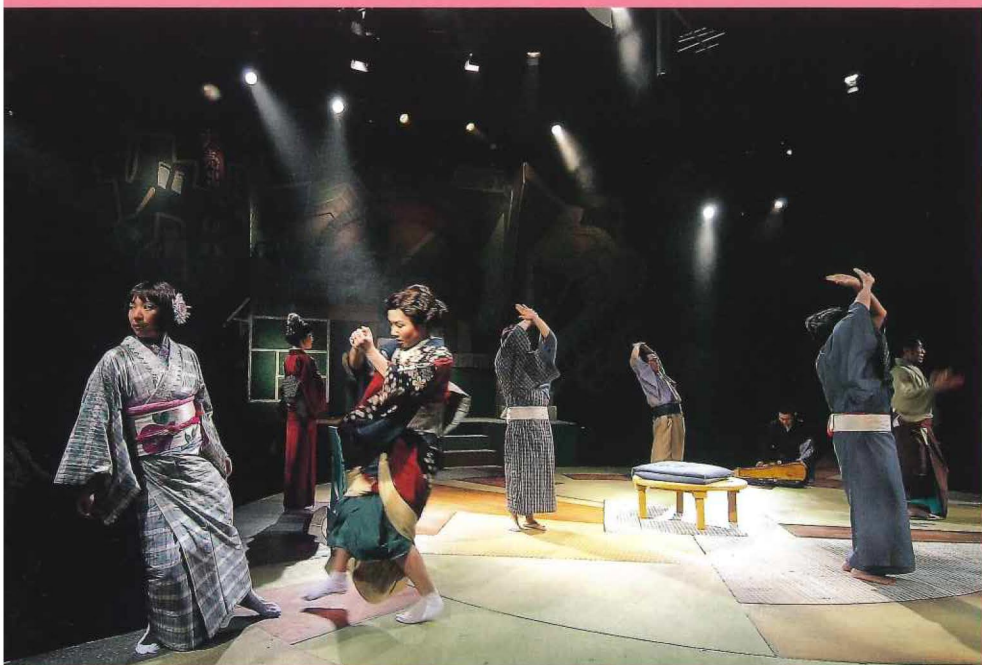
大河内 そうですよ。台詞回しなんか、リズムがすごく気持ちいいです。

——台詞を聞いているだけで不思議な心地よさがあります。

大河内 ですよ!! ですよ!! ですよ!! ですよ!! (笑)。多分さうだと思います。

——植木さんはまだお若いですが、岸田戯曲の感想はどうですか？

植木 最初に読んだ時は「これをどうやって KERAさんの笑いにするんだろう」と。お



客さんが「ナイロンといえ……」みたいなイメージしているものもあるじゃないですか。でも、自分で読んでいくうち、稽古をしていくうちに、「別にそれ(笑)が一番じゃなくても」って思ったり。劇中の「罫犬」は鎖に繋ぐべからずでいえば、家族の絆や絆、ほのぼのとした日々、みたいなもの、いんじゃないかなって。

日常の些末にある面白さを

——大河内さんはナイロン初参加とのことですが、どんな印象を持たれましたか？

大河内 楽しい一言ですね。KERAさんとは20年前から知り合っていたんですけど、一緒に仕事するのは今回初めて。ナイロンの現場っていうのは、すごく僕が深く、客演の僕らを非常に居心地よく居させてくれる雰囲気なんです。そして、KERAさんの演出で、聴診器を当てながら「どうですか? 痛いですか?」と問診してくれるような、安心できるお医者さん(づ)があるんですよ(笑)。ですから、変な緊張をしないんですよ。心地いい疲れを毎日毎日味わう、とても楽しい稽古場でした。

——KERAさんの言葉や演出で記憶に残っているものはありますか？

大河内 初日の顔合わせの時に「日常の些末にある面白さを各自見出して欲しい」とおっしゃっていたのが、まず1つのポイントかなと思います。

村岡 KERAさん自身が本を書いた時は、「こういう空気にしたんだ」とか「こういう笑いを作りたいんだ」という明確な指示があるんです。その意味でいうと、今回はKERAさんも分からない。だから、今の空気はいじやないかな? とかな? 「て、みんなで一緒に作っている感じが新鮮でした。このトリビュートのタイミングで、ここでひと笑いを、みたいに作る笑いもある」とは思いますが、今回に関しては、みんなで岸田さんの本を読んで、一緒に試行錯誤した感じがあります。

大河内 やつてるうちに「岸田戯曲」というものは「行たりともないかしろに出来ない」と思えてくるんですよ。だから、「行台詞を削った後に」「や、は、これ戻そう」というのが稽古中に何度もありました。KERAさんが稽古期間に書いたフログを読むと、KERAさんの中にも岸田さんに対するリスベクトの念が刻々と高まっているように感じました。そういう戦いは何度もあります。



もう、すいすい、愛が(笑)

——ところで、皆さんは劇中で「今里家」という家族役を演じられていましたね。(注: 大河内は父親役の念吉、村岡は母親役の二見、植木は息子役の甲吉)

村岡 家族のシーンは……本当に居心地がよかったですね(笑)。あのシーン、どうしよう? という感じがなかったですね。

大河内 そういふのがなかったですね。

村岡 お稽古しますって何回かやって、終わって……それを繰り返していた1つの間から出来た(笑)。

植木 こんなことは初めてなんですけど、今回、「演じる」ということに気持ちいいんだなって、すごく感じるんですよ。本番中とかも「この居心地のよさは何だろう?」ってずっと思っていて、あと……こんなこと言ったら気持ち悪がられるかもしれないけど……、私はお二人の子供役だからか、お二人から愛情みたいなのを感じるんですよ(笑)。

村岡 ふふふ(笑)。

植木 僕もすごく心地いいんですよ。

大河内 僕も全くそうで、本当にいい家族だなって。擬似家族ですけれども、今の家族を心で楽しんでいます。

村岡 こつやつと居て、減多にないよね。うん、すく。

大河内 そう。決して綺麗事を言う訳でもなく、そうなんです。

植木 もう、すいすい、愛が(笑)。



村岡 三輪車に乗る甲吉とババが喋ってるシーンも、ただぼんやり眺めながらシーンと立ち止まって、涙が出そうになります(笑)。

すいすいベストマッチで

——今作は豆千代さんの衣装や井手さんの振付なども注目されていましたね。

大河内 井手さんはね、往々にして退屈になる場面転換をもう一つの見世物にしてしまうという……。やつぱりすごいなあと感じますね。

村岡 振付シーンは口ではダンスと呼びますが、単に踊るだけじゃなくて、そのシーンに出ること自体が楽しいんですよ。

大河内 いわゆるダンスの、かこい振りになるのとそれを止めちゃうの。「あ、それかこいから止めよう」って。ダンスの、定番のかこいさ、ってあるんですよ。それを変えて、もっと違う感じにしようかな。でも、むしろその姿勢こそが「かこい」なんて思ったり(笑)。

植木 井手さんのおかげで、ダンス嫌いの人が好きになっちゃった(笑)。

村岡 ダンスが苦手だと言った人が、「あ、動ける」「みたいな(笑)。それで、1人1人の動きが、唯、無」なの。この人にしか出来ない動きを井手さんが教えて。

植木 すごくですよ。あんな短い間に、村岡、その一瞬の瞬間がすごい!

大河内 で、踊っている時の恰好が豆千代さんの衣装だから、またいいじゃない?

——豆千代さんの衣装、ポップでお洒落で、めちゃくちゃ素敵ですよ。

村岡 そうですよ。着てるだけで嬉しくなっちゃう(笑)。

植木 減多にないですよ。着物であんなに可愛いのって。

大河内 それがすいすいベストマッチで、やつぱり KERAさんのプロデュース能力ってすごいと思っ。

——本当にそう思います。今作を観て、岸田國士さんの戯曲を上演する若手劇団が増えるのかもしれない。

村岡 今回、岸田さんの本を読みたい! って思ってくれた若いお客さんが多いみたいです。でも、本屋さんにはあんまり売ってないのよね。大河内 図書館に行かないとね。でもホント、賞の名前になるべき偉大な人なんだなって、つくづく思います。



村岡希美

むらおかのぞみ○東京都出身。オーディション合格を経て、95年よりナイロン100°に参加。NODA・MAP、阿佐ヶ谷スパイダースなど、劇団外での客演も数多い。河原雅彦、千葉雅子、坂田聡らと旅揚げした「真心一座 身も心も」では座長を務めている。

次回予定○真心一座 身も心も第二章「流れ姉妹〜ザ・グレートハンティング〜」10/6〜21○赤坂RED/THEATER ○映画「舞妓Haaaan!!!」公開中

大河内浩

おこうちひろし○兵庫県出身。80年、ドラマ「必殺仕事人」でテレビデビュー。以降、数多くのテレビドラマや映画に出演し、近年では、映画「フラガール」「ダディ・フライ・ダディ」等での活躍が記憶に新しい。自身のブログ「Treasure Hunting Report」では、お芝居の観劇レビューも多く、小劇場にも多く足を運ぶとのこと。http://blog.livedoor.jp/ohkouchi_hiroshi/

次回予定○TEAM NACS SOLO PROJECT「GH000000ST!!!」8/11〜21○紀伊國屋サザンシアター、8/25〜30○道新ホール

植木夏十

うえきなつと○宮城県出身。00年ENBUゼミ・KERAクラスを卒業後、オーディション合格を経て、01年よりナイロン100°に参加。劇団期待の若手女優として注目を集めている。

次回予定○トム・プロジェクトプロデュース「狼狸狼狸はなし」9/1〜9○本多劇場 他、8月は地方公演あり

こんなに映える！ ナイロン×豆千代

今作におけるこの人の存在は、やはり計り知れないものがあると思います。舞台上、時に叙情的に、時に艶やかに、変幻自在に塗りかえた「和装」。この和装を担当したのが、モダン着物のカリスマ・豆千代だ。聞けば聞くほど奥深く、興味の尽きない豆千代の世界とナイロンとのコラボレーションは、舞台を照らす、もうひとつの照明の如く鮮やかに輝いていた。

豆千代

まめちよ○東京都出身。モダン着物スタイリスト&デザイナー。その世界観は新作ブランド「豆千代モダン」として発信され、東京・西荻窪のショップは全国の着物ファンが集う。ショウウエムラ・ボストン店の内装プロデュースや、トコロトでの「豆千代の世界」展など、アーティストとしても活動中。著書に「豆千代の着物モダン」(マール出版)ほか。
<http://www.mamechiyo.jp>



すべて、とても楽しく
貴重な体験でした

このコラボレーションのお話を最初に伺った時は、大正から昭和初期に書かれた戯曲を現代のセンスでリミックスする、というコンセプトに魅かれました。というのも、私が着物を通じて提案してきたことは、大正から昭和初期に作られた着物を、現代に活かすファッションとして楽しむ、ということでした。でも最初、時間的にどの程度まで自分が関わられるか未知数だったので、公演チラシの段階では「和装監修」というクレジットでした。結果的には、和装の全スタイリング、群舞ダンスの着物の新作デザイン、履物、バック、下着といった小物まですべてやらせていただきました。登場する洋装と調和させる必要もありましたので、洋装担当の畑さんと小まめにコミュニケーションをとりながら、全体のテイストを構築していただきました。稽古場や劇場には自発的に頻りに足を運ばせていただき細かい手直しもしていただきました。すべて、とても楽しく貴重な体験でした。パンフや劇場配布物では、私のクレジットから「監修」が取れて「和装」に変わっています(笑)。

豆千代の世界が
対等に存在しているんだ！

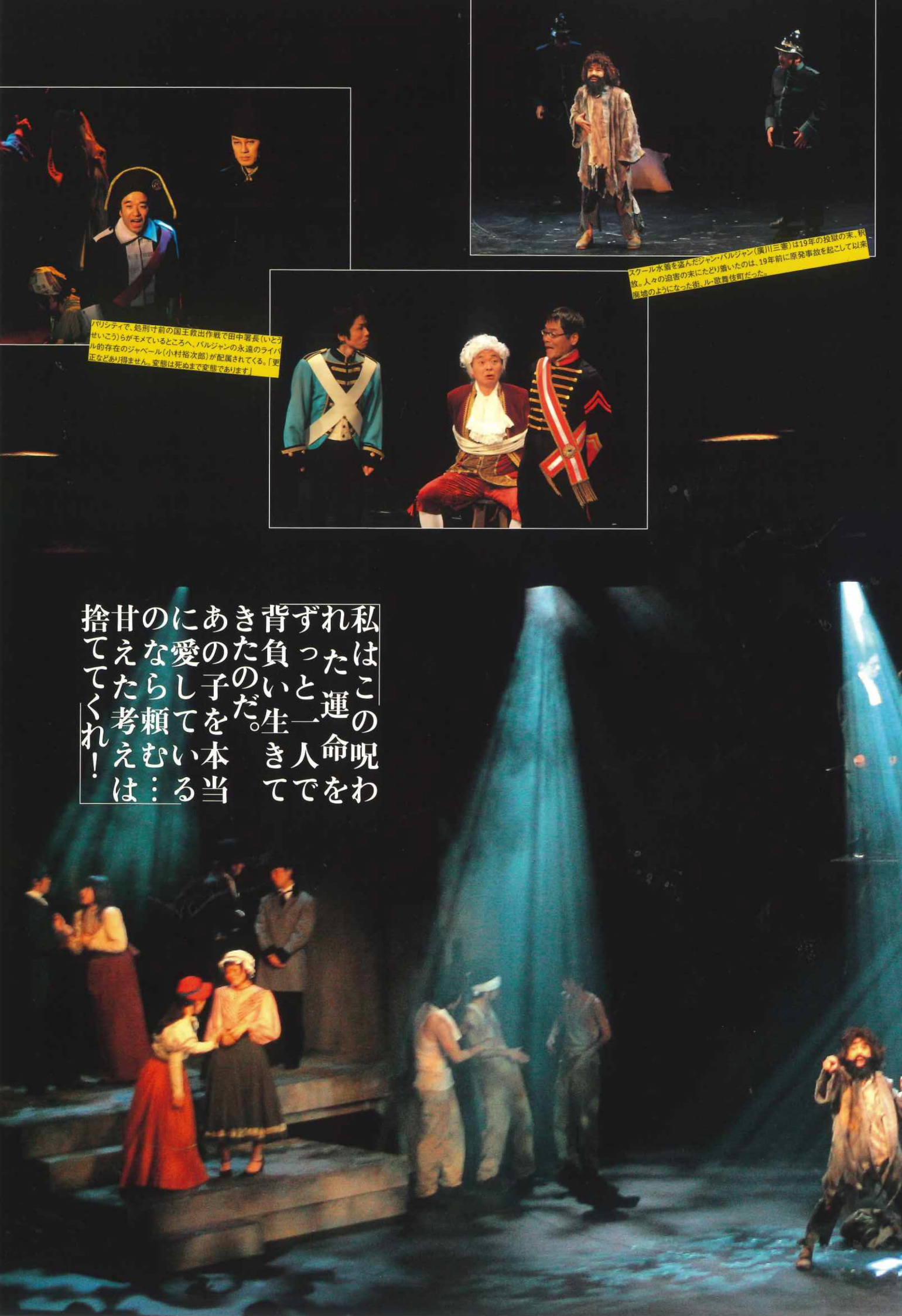
KERAさんからは具体的な衣装のリクエストはありませんでしたが、稽古場に行くたびにボツリボツリとお洒落な感じの和装にしたいんです。「時代考証は厳密に考えなくていいと思っています」「ちょっとした、ハズン(どこか変な部分)なんかも欲しいですね」というようなことを伝えられ、それらの言葉を手がかりに考えていくという作業でした。当初は「KERAさんの具体的なイメージと大幅に違っていたらどうしよう」と不安も一杯でしたが、「基本的には豆千代さんの好きにやっていますから」という一言をいただいたときに気持ちがあふつと軽くなりました。KERAさんの発注イメージばかり知ろうとするのではなく、豆千代という世界が対等に存在しているんだと分かるところまで、ぐっと自然体になることができたんです。KERAさんが、岸田ワイルド、と、現代、をどのような配分でカラージュするかで、和装のテイストも「大正」ばくする「か」「モダン」にする「か」変わってきますから、その配分が見えてくるま

ではいろいろな形の和装を提示しましたね。例えば、チラシ撮影は何も決まっていなかった段階でのセッションでしたから、私の中の「モダンでポップなナイロン」のイメージ全開でスタイリングしました。そのチラシが完成したときイラストを見て、もう少し大正の香りを求められているのかも、と、公演パンフレットでは大正ばくさをアップさせてみました。最終的な、舞台衣装は、チラシのような「ポップ全開」で行くことも出来たとは思いますが、チラシとパンフのウエルバランスな融合という形に仕上げてみました。

板につきぶりに感動しました

今回は井手さんの素晴らしい振り付けもありましたので、ダンスの動きの邪魔にならぬよう、そしてお客さんの視線の中で邪魔にならぬよう、郡舞の着物は極力シンプルに「柄を排除して色だけで遊ぶ着物」にしました。この衣装は、スタッフの間では「モザイク」と呼ばれるようになりました。踊って振がはだけたとき、チラリと派手な色が見えるよう、襦袢の色調を考えましたので、実際に舞台上でその効果が得られたときはとても嬉しかったです。あと今回私が重要だと思ったのは、自然な着物姿になっているかどうかです。着物の世界には「板につく」という言葉があつて、ただ綺麗に着ているだけでは十分とは言えないんです。しかも今回役者さんが演じるのは、日常着として着物を着ている人達ですから、それは衣装の力だけでフォローしきれぬものではなく、各役者さんが実際に着慣れた状態で本番に臨んでいただくことがありません。だから1ヶ月間、浴衣を着用しての稽古を経たみなさんの、板につきぶりに感動しました。特に男優陣は着物初心者の方が多かったわけですからね。初日があけて以降も、日が経つにつれ、みなさん肌にしっとりとした着物が更に馴染んでいくのも感動的でした。チラシ撮影、パンフ撮影、本番に至るまで、みなさん写メールを振り合つたりしゃべったりした様子は今も忘れられませんし、公演終了の打ち上げで松永さんが「いろんな友達やメールで舞台の感想を送ってくれるんだけど、どれも『松永の着物が良かった』って書いてあるんです。『着物』が『笑』と話して下さった笑顔も忘れられません。記念に衣装を買い取って下さった役者さんが多かったというお話をその後伺ってまた感激しています。





私はこの命をわ
ずれた運命で
背負った生き
きたのだ。本
あの子を本当
に愛してゐる
の。頼む。甘
えたら考えは
捨ててくれ！

スクール水着を盗んだジャン・バルジャン(廣川三憲)は19年の投獄の末、釈放。人々の迫害の末にたどり着いたのは、19年前に原発事故を起こして以来、廃墟のようになった街。ル・ヴェルグ街だった。

パリシティで、処刑寸前の国王救出作戦で田中重長(いとうせいこう)らがモメているところへ、バルジャンの永遠のライバル的存在のジャベール(小村裕次郎)が配属されてくる。「更正などありません。重長は死ぬまで変態であります」

「加藤啓」と「辻修」、二人の謎の男によってジャン・バルジャンの物語は語られていく。

ブルースカイが劇団を解散して以来、
2年半ぶりの脚本・演出作はなんと、
名作『レ・ミゼラブル』がモチーフ。
性犯罪と原発問題、
臓器売買などを大胆にからめ、
壮大なナンセンス作品として
ここに生まれ変わる——！

演劇キックプロデュース
演劇ぶっく社設立20周年記念公演第一弾

レミゼラブル

脚本・演出・音楽：ブルースカイ 原作：ヴィクトル・ユーゴー『レ・ミゼラブル』より
出演：廣川三憲 大橋ごういち 原金太郎 堀ひろし いとうせいこう 新井友香 池谷のぶえ 小村裕次郎 加藤啓
辻修 市川訓隆 野間口徹 加藤直美 吉本菜穂子 高木珠里 他

原発の反対と
もとに、政府
と求めた。こ
とがあるのだ
が、児童ポル
禁：児童ポル
撤：この完全
に：ア真のユ
の：ピをつく
る

「天国」を支配する大神・ジュピター（田口トモロヲ）は、好色家の暴君。愛人の女神たちをばべらせて鼻の下を伸ばしている



セスナに乗って天国にやってきたブルート。全裸の神（江本純子）、ブルート、ジュピターの間でガダガダのアドリブ合戦が繰り広げられる

ブルートに酒を飲ませられ、人間の肉を食べさせられて幻惑された女神たちは、次々にジュピターに反旗を翻す



オッフェンバックの『天国と地獄』。全二幕四場の壮大なオペレッタに、毛皮族主宰の江本純子が挑んだ。ジャパニーズ・パンク・オペラと銘打たれた本作は、ストーリーの骨格は原作通りなもの、江本流の過激なナンセンスな要素が満載で、何でもアリのお祭り騒ぎ。終盤のカンパニ踊りの狂騒ぶりは、ちょっと感動的。猥雑なエネルギーに満ちあふれたエンターテインメント魂をこれでもかというほど見せつけてくれた

黒澤明監督の『天国と地獄』を思わせる映像が一瞬流れた後、どこからともなく現れた女剣士たちが、オッフェンバックの『天国と地獄』に合わせて縦横無尽に駆け回る



演劇キックプロデュース 演劇ぶっく社設立20周年記念公演第二弾

天国と地獄

脚本・演出・出演 江本純子
出演 町田マリー 田口トモロヲ 小林麗作 澤田育子 金子清文 林丸美智恵 羽鳥名美子 和倉義樹 高野ゆらこ 武田裕子 延増静美 平野由紀 高田郁恵 水町香葉恵 赤坂恵梨 石田紗央合 黒木絵美花 kekko 鈴木陽子 梨木智香 細井里佳 菊地明香 久保田綾子 城間真 サチコ 田島SAYAKA たにぐちいこ 中林舞 福田卓志 細江正和 4/12~16◎シアターアプル



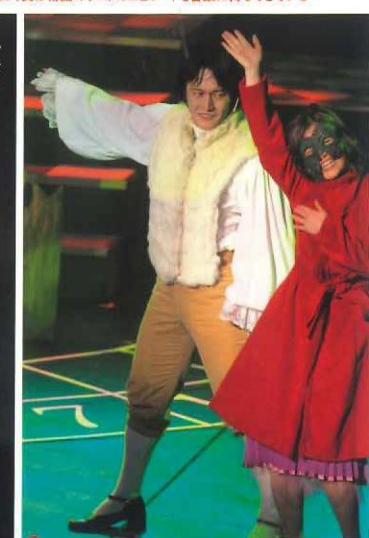
ヴァイオリン弾きのオルフェの妻・ユリディス（町田マリー）は、ぎくしゃくした夫婦生活のストレスから、ヤク中になっている。クスリでテンションが上がり、ソプラノ歌手のように歌うユリディス



夫を殺した妻たちが、死体をバラバラに切り刻み、ゴミ箱に入れて捨てる。桐野夏生の『OUT』のバロディかとも思われたが、実は物語のラストのエピソードを冒頭に持っている



ユリディスが死んで（ブルートに地獄に連れ去られ）オルフェ（江本純子）は邪魔者がいなくなったと喜んでいる。そんなオルフェに、世論（澤田育子）は妻を追うよう説得する



オルフェに整形だと言われ、顔の皮を剥がされたユリディスを、地獄の主・ブルート（小林麗作）は地獄に連れて行くかと誘惑する

田口さんは以前に毛皮族の公演をご覧になったことはありましたか？

田口 はい、あります。僕は昔から金子(清文)と知り合いで、彼が毛皮族で何度もお芝居をやっていると聞いて、観に行っただけです。そうしたらすごく面白くて、今時のごんまじりとした小劇場を破壊するようなアングラなパワー、初期衝動が爆発したようなものがあって、非常にヒョナなものを観たな、と思いました。だから今回誘っていたときは、自分ができるかな、という体力的な不安がまず第1だったんですけど、もしできるとしたらこれはチャンスだ、面白そうだな、と思いました。でも僕と江本さんは二世代違いますから、まさか誘っていたらとは思わなかったです。

江本 20年くらい前のトモロロさんが出演されている舞台のビデオをたまたま観て、すごく衝撃を受けました。なんかトモロロさんの全身から出ているエネルギーが、このピンビシとした針のよう。その感じがすごく素敵だなと思って、そんなイケイケのトモロロさんとぜひ舞台で一緒にしてみたいなと思いました。

田口 実際に今回やらせていただいて、やっぱり体力的には大変だったんですが、やっててすごく楽しかったです。自由にやらせていただけて、江本さんの演出は、ものすごい緻密なところ、ものすごい大らかなところが浑然体となっているんです。たとえば振付と

緻密さと大雑把さと

田口さんは以前に毛皮族の公演をご覧になったことはありましたか？

田口 はい、あります。僕は昔から金子(清文)と知り合いで、彼が毛皮族で何度もお芝居をやっていると聞いて、観に行っただけです。そうしたらすごく面白くて、今時のごんまじりとした小劇場を破壊するようなアングラなパワー、初期衝動が爆発したようなものがあって、非常にヒョナなものを観たな、と思いました。だから今回誘っていたときは、自分ができるかな、という体力的な不安がまず第1だったんですけど、もしできるとしたらこれはチャンスだ、面白そうだな、と思いました。でも僕と江本さんは二世代違いますから、まさか誘っていたらとは思わなかったです。

“壮大なエンターテインメント”を目指した先に、
毛皮族メンバーとともに、歌い、踊り、その圧倒的な存在感で天国の大神・ジュピターを「自由に」演じた田口トモロヲ。
体力を限界ギリギリまで使い果たし、必死になって舞台を遊んだ田口は、以前から毛皮族に好感を持っていたという。
田口トモロヲと江本純子の出会いは、強烈な化学反応を引き起こし……。



江本純子

えもとじゅんこ 78年生まれ、千葉県出身。00年に毛皮族を旗揚げし、すべての作品の作・演出・出演をこなす。外部出演も数多く、最近では映画「東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン」(鎌倉松子の一生)などに出演した。また、処女小説「股間」(リトルモア)を発表したり、雑誌「BUBKA時代」にコラムを連載するなど、執筆活動も幅広く行っている。

次回予定◇毛皮族の軽公演「初夏の軽演劇@リトルモア地下」6/30〜7/22◇リトルモア地下◇毛皮族7周年記念公演「おこめ」10/13〜21◇本多劇場◇DVD「天国と地獄」コロムビアミュージックエンタテインメントより9/26発売予定(初回限定豪華版BOXあり)

田口トモロヲ

たぐちとむろ 57年生まれ、東京都出身。パンクバンド「ばちかぷり」の元ボーカリスト。俳優としては三池崇史監督や塚本晋也監督などの映画への出演で知られるほか、演劇界でも活躍している。03年には映画「アイデンティティ」を監督した。00年〜05年にかけて放送されたNHK総合テレビ「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」のナレーションで人気を集めた。

次回予定◇映画「幽閉者 テロリスト」8/24レンタル開始◇映画「M」9月公開

田口 やっぱ毛皮族は疲れないとかん、というのを掴みました。やっける側が疲れないと、観てるほうも面白くないと思うんです。あんなに疲れるまで、体なんのためにやるんだって。もう初期衝動とか自己顕示欲とか、そういうものすらも超える、プライドよりも大きな、「なぜそこまでやるんだ」というものを見せようか。そういう完成されない、完成すらも求めてないなか、大げさに言う宇宙のエネルギーみたいな。無にな

田口 僕は命の危険を感じました(笑)。もう大人だから、セーブしてやるのかと思ったりするんですけど、やっぱり出るか、お芝居つてコミュニケーションだから、自分がコミュニケーションが高い人だから、自分もどどんと上がつちゃうんですよ。でも本当にいい経験でした。自由を満喫できたという気持ちで。なにか俺、ひとつ開いたな、という感じです。

田口 娘に褒められた。

江本 いやいやいや。笑。本番では汗だくになってましたね。トモロロさんがこの舞台ですごく汗をかいてくださって、嬉しかったです(笑)。

田口 やっぱ毛皮族は疲れないとかん、というのを掴みました。やっける側が疲れないと、観てるほうも面白くないと思うんです。あんなに疲れるまで、体なんのためにやるんだって。もう初期衝動とか自己顕示欲とか、そういうものすらも超える、プライドよりも大きな、「なぜそこまでやるんだ」というものを見せようか。そういう完成されない、完成すらも求めてないなか、大げさに言う宇宙のエネルギーみたいな。無にな

毛皮族は疲れないとダメ

江本 今回のお芝居自体も、どんどん加速していく舞台ですが、トモロロさんは稽古の初段階から、どんどん加速されていきましたよね。なんかエネルギーがじわじわと、徐々に徐々に出てくるのが日に日に気持ちよくて。日を追うようにポイントがどんどん増えていく感じで、よかったですね。

田口 娘に褒められた。

江本 いやいやいや。笑。本番では汗だくになってましたね。トモロロさんがこの舞台ですごく汗をかいてくださって、嬉しかったです(笑)。

田口 娘に褒められた。

江本 いやいやいや。笑。本番では汗だくになってましたね。トモロロさんがこの舞台ですごく汗をかいてくださって、嬉しかったです(笑)。



ユリディスの前に現れたハエ男は、実は変装したジュピター。なぜか大抵ジュピターも衣装を出してハエ男を捕まえようとするユリディス



地獄に軟禁されたユリディスは、退屈な日々をうんざりしていた。するとなぜかそこに浅草オペラで一世を風靡したエモゲン(江本純子)やノーパンカンカン娘たち、女美剣士たちが現れ……



ジュピターに言われた通りパッカスの悪女に化け、ブルートの催し宴に紛れ込んだユリディス。ジュピターはユリディスを天国に連れて行くこととしている



パッカスの酒を飲んだユリディスは、本当のパッカスの悪女になってしまった。思惑通りに事が進んでニヤリと笑うブルート



フィナーレでカンカンを踊るユリディスと、パッカスの悪女たち、浅草カンカン娘たち

まつさをな

[illegible]

その空の下
その二人は

りあったのだろうか。



まつさをな才女、かく語りき

女性が主役の時代劇。こはやはり、女優陣にご登場頂きました！しっかりと青柳家を支える柔らかい笑顔が印象的な満寿江を演じた坂口理恵。武家の娘らしい凛とした存在感が光った春衣を演じた實川貴美子。そして勿論、主役の女流剣士千鶴を演じた温井摩耶。今回はこの3人の女優に、今作の話や恋愛の話までイロイロお聞きしました！

それでこそ女性が主役の時代劇なんじゃないの？

——この「まつさをな」というタイトルは、ちょっと抽象的で色んな想像が膨らみますよね。初めて知った時はどんなことを感じました？

温井＆實川（同時に）最初、全然読めなくて……

坂口 これ、一度に読めない（笑）。

温井 だってね、本当にわかんなかった（笑）。

坂口 私はキャラメルDMを作っているんですけど、その流れでタイトルを知って……えと、コピーが……

實川 「真つ青な空の下で、もう一度お会いしよう」といいます。

坂口 そう。それを見た瞬間「いいじゃないの！？」って笑。「それでこそ女性が主役の時代劇なんじゃないの？ 恋の話ね！」と思ったので、行け行けGO GO！と。

——正に、女性が主役の時代劇というのが今作の魅力のひとつですね。それぞれの役を演じた感想というのは？

坂口 面白い役だなあと感じています。他人を

家族として受け入れる

努力が自分自身とも重

なるというか。私がマヤ

（温井さん）と親子にな

ろうと努力することが、

きつと満寿江と千鶴の

関係と重なるんじゃない

かなあと感じて。やっぱり

気になるんですよ、マ

ヤのことが。「毎日ちゃん

と食べてるかなあ？」と

か。ネタですつてい笑いが

取れたりすると、「良かった

た！」って思ったり（笑）。

観ていて本当に飽きない

んです。劇中に「千鶴を

観ていると飽きない」って

台詞があるんですけど、

今、それをリアルに体感

しています。

温井 私、母上（満寿

江）に「こ（青柳家）で好きなことをやればいいん

ですよ」と言われることが、私自身がキャラメル

ボックスでやりたいことをやりなさい」と言われて

もらえているような気分になります。舞台上に立

つことがこんなにも自分自身に跳ね返ってくる

ものなんだ！と改めて実感する日々ですね！

ちよつとしか殺陣がないのに

すごく苦労しました

——今作は殺陣シーンが結構ありますよね。是非その辺りのお話を。

温井 私、本当に運動音痴なんです！だから

……とても大変でした。毎日公園に行つて、岡

田達也さんに猛特訓してもらったりとか。

坂口 みんながストレッチとかしてる時間に公

園に行つて、夕暮れ時に木刀振つて……。はたか

ら見ると、父上（お）の思い出、みたいな感じ（笑）。

温井 リアルですよ（笑）。夕暮れの公園で

木刀振りながら「やあああー！！」とか掛け声



張つて。

實川 私はキャラメル

の舞台で2回ほどと殺陣を

やつてるんですけど、今

回みたいな木刀での殺陣

は初めてだったんです。

木刀でしっかり出来て

いるので結構重たいん

ですよ。そんなこともあ

つて、ちよつとしか殺陣

がないのすごく苦労しま

した。

木刀がぶつかり合

う音が凄いですよね。パ

チンって。

實川 稽古中に度折れ

たことがあったんですけ

ど、それくらいちゃんと

当ててはいるんです。

温井 千鶴の場合、剣

こそが私の人生を支え

てきたという説得力がなければ成立しないです

すからね。今でも、ずっと殺陣と戦つてる感じ

です。本当に、毎日毎日、ただ精進です。

改めて、惚れ直しました

——今回のゲスト、劇団☆新感線の栗根まこと

さんとの共演はいかがですか？

坂口 人殺しみたいな目つきは（笑）とて

も情の深い方で、周りをすくよくよく見てくれて

るんです。自分の劇団の後輩でもないのに「こう

したら伝わりやすいんじゃないかな？」とか気に

かけてくれますし。私なんかも、着物やカッパが

大変だったしちよつとらしくない感じがして

と「大丈夫？」って言ってもらえたり。そう考

えると……ま、人殺しではないですね（笑）。

坂口 彼は私が登場するシーンの前から出て

るんですけど、果敢に笑いを取りに行くんです

よ。その姿勢を舞台袖から見ていると「私も頑



張ろう！」って思えるんです。付き合いは昔から長いんですけど……改めて、惚れ直しましたね。

温井＆實川 ああー（笑）。

坂口 栗根さんファンにひがまれるのが私の夢なので（笑）。「私のまこりんを！」ってね（笑）。

實川 私は舞台上でラストシーンでしかお会い出来ないんです。だから、青柳夫婦が「元氣はつらつてす！」ってポーズをとっているのに驚いて、春衣も一緒に手を振ると、「青柳徳右衛門役の」栗根さんは嬉しそうに「そう！ そう！！」って手を振り返してくれるので、「あ、コミニケーション出来た！！」って感じがして、すくく嬉しいんです。

坂口 あはは（笑）。それだけか！！（笑）。

實川 普段も面倒見よく声をかけて下さいますね。この間、劇場にあるビデオの使い方が分からなくて困つたら「配線じゃないか？」って声をかけて下さつて。

——そこにいる人間は絶対に「本物」なんです

——今作は恋愛のお話でもありますが、ちよつと恋愛のお話を。例えば、今作のキャラと「自身

の性格を比べるといかがでしょうか？

實川 春衣は4歳の頃からずつと鉄之助様（三浦剛）を想い続けてきたんですけど、私は好き

だったから「好きなんですけど」って言っちゃ

う人です（笑）。

坂口 そうですね。満寿江は青柳徳右衛門を

愛していると同時にすごく尊敬しているんです

よ。私も尊敬がない恋愛が長続きしないタイ

プなので、そこは似ているなと思います。

温井 私もそこはピンポイントで感じます！私は、

自分の世界をしっかり持つて、それに向かって突

き進んでいる人が大好きなんです。私の普段の

恋愛と、千鶴の兄上（青柳啓郎）への想いとい

うのはそういう意味ではぴったり合いますね！

坂口 ずつとひとりの人が好きで、その人のこと

を何度も何度も好きになり続けるという恋愛

があつてもいいんじゃないの？ と思うんですよ。

結婚したお相手のことを、何度も好きになると

いうのはアリですよ（笑）。……ちよつと満寿江

的な発想かな、これは（笑）。

温井 身分の違いとかで阻まれてしまう恋愛

じゃなく、ただ自分が「好きだー！！」と思うこと

のみがそこあればいいと思います。千鶴は

色んなことを考えて戦っているけれども「大丈

夫、好きって想いはきくと伝わるよ」と言つてあ

げたいです。

——キャラメルボックスの時代劇って、エネルギ

シユかつ、とてもフレッシュな時代劇だという印象

があります。その要因は、例えばどんな所にあ

ると思いますか？

實川 優先順位がはっきりしているというか

……。例えば、台本上「この時代にこんな言葉

は使わないう」という言葉があつても、その

方がお客さんに伝わりやすいければそっちを選

みます。

温井 でも、そういうものを大事にするからと

いつ、そこにいる人間は絶対に「本物」というか、

リアルなんです。それが説得力になるんだと

私は思っています。だから、どんなことにも果敢に

チャレンジして、それを本気でやるということ。

ちよつと恥ずかしくなつちよつと台詞でも本

気で言うことがキャラメルらしさだと思ってい

ます。

坂口 キャラメル表現方法が、時代劇というス

タイルに向いていると思います。物語をはつき

り言う。大きな声を出す。伝えなきゃいけないこ

とは伝える……。真つ直ぐなものを真つ直ぐにや

る。でも、それがあんまり気恥ずかしくなくや

れちやうつというのが、キャラメル流時代劇なの

かなと感じています。



坂口理恵

さくらげえ06年生まれ、長野県出身。

90年より演劇集団キャラメルボックスへ参加し、看板女優として数多くの公演に出演。

舞台上での存在感は雄々しい、抜群の安定感を誇り、観る者を魅了し続けてる。

次回予定：演劇集団キャラメルボックス2007年11月17日（土）18時、22時、9月19日（日）13時、16時、西鉄ホール

實川貴美子

じつわきえ02年生まれ、千葉県出身。

02年、演劇集団キャラメルボックスへ参加し、今作は、その魅力を最大限に引き出すべく、情熱をこめて演技に挑み、春衣役を担い、その存在感を魅了し続けてる。

次回予定：演劇集団キャラメルボックス2007年11月17日（土）18時、22時、9月19日（日）13時、16時、西鉄ホール

温井摩耶

ぬくいまや079年生まれ、神奈川県出身。

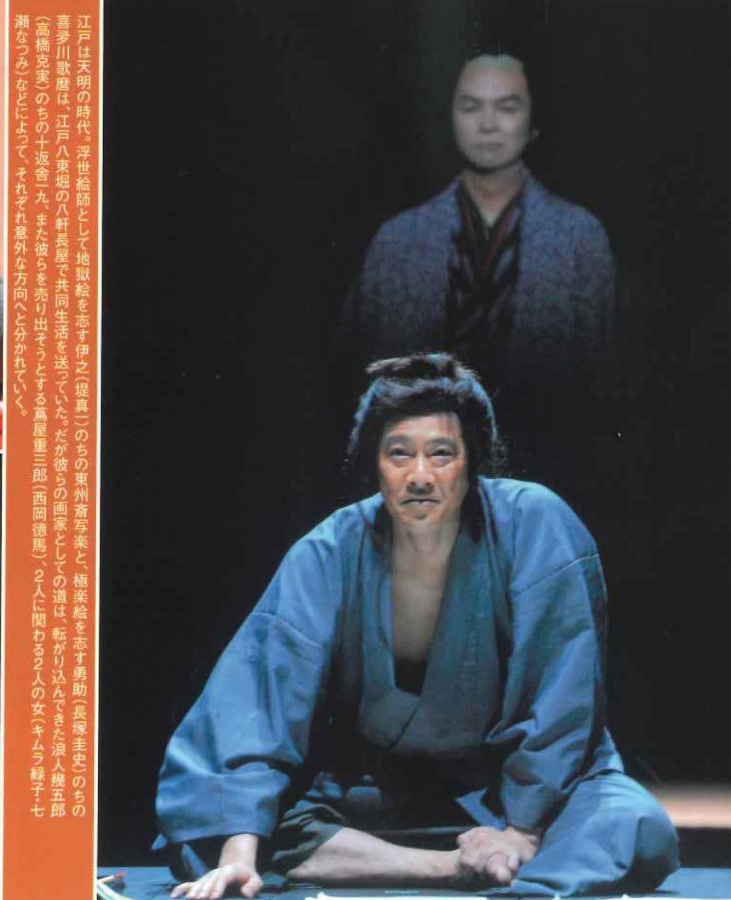
90年より演劇集団キャラメルボックスへ参加し、今作は、その魅力を最大限に引き出すべく、情熱をこめて演技に挑み、千鶴役を担い、その存在感を魅了し続けてる。

次回予定：演劇集団キャラメルボックス2007年11月17日（土）18時、22時、9月19日（日）13時、16時、西鉄ホール

写楽考

作・矢代静
脚本・鈴木勝秀
演出・鈴木勝秀
出演・堤真一 高橋英子 長塚京三 宇津宮雅也 宇野重吉 西岡徳馬
4.5.127 Brithamシアターコロン

芸術は、その誕生のためにあまたの命を滅ぼすが、滅ぼされたものの命は、作品に宿り永遠に輝き続ける。時代の風が吹きささぐ中、創造の魂の命じるまにひたすら描き続けた天才画家がいた。その男の名は「東州斎写楽」。



江戸は天明の時代。浮世絵師として地獄絵を志す東州斎（堤真一）のちの東州斎写楽と、極楽絵を志す勇助（長塚京三）のちの喜多川歌麿は、江戸八重堀の八軒長屋で共同生活を送っていた。だが彼らの画家としての道は、転がり込んできた浪人横丁郎（宇野重吉）のちの十返舎九、また彼らを売り出すとする高屋重三郎（西岡徳馬）の二人に阻まれる。二人の交わりは、宇津宮雅也の「芝居のなかで」に描かれたように、それと意外な方向へと分かれていく。

一瞬の輝きを生きた写楽

浮世絵という魔にとりつかれた男たちが生きた時代に、数々の傑作を生みだしながら、正体不明のまま消えていった東州斎写楽。矢代静の傑作『写楽考』は、謎の絵師の誕生を描きながら、その背景にある残酷な現実や、それでも失われない表現者の熱い魂のありかを映し出し、表現に少しでも関わるものなら無縁ではないらしい、鋭い問いと痛みを突きつける。そして主演の堤真一も役者という表現者である。彼にとって切実な物語を生きた時間、彼は写楽という人間に、どう向き合っていたのだろうか？

——構成と演出の鈴木勝秀さんの、稽古場の様子から聞かせてください。
スズカツ（鈴木勝秀さん）とは、初めての仕事でしたが、これまでの演出家とは稽古の仕方が全く違ってましたね。戸惑うことだらけでした。まず本読みの段階から、毎日、頭からラストまで通してしまふんです。部分部分の細かい積み上げ作業なしで、全体像を把握しなければいけなかったから、暗闇の中で放り出されたような気分でした。とにかく、ただただ台本に

書かれている力のあるセリフを信じていこうと思つた。セリフが自分の体内に入つて、自分自身が本当に感じて発するようになっていこう。そうならないと空虚なものになつてしまふし、ごまかしがきかない台本なんです。すべてが試行錯誤の繰り返しで、稽古から本番千秋楽に到達するまで、毎日が修行のよ。うな日々でした。
——主人公、伊之の「写楽」という人間はとも魅力ですが、取り組むにあたって、堤さんがまず考えたことはどんなことですか？
なぜ彼があんなに素晴らしい絵を描けたのか、ということですね。彼は決して天才ではなく、ごく普通の人間だったのではないだろうか。でも、死を意識せざるをえない状況に追いやり、その状況があつたからこそ、生に対しての貪欲なまでの集中力を持つことができた。そして生き抜くための手段が、絵を描くこと。いつてみればただ描きたいから描く、というように徹した人物だし、一言で表現するなら、瞬の輝き、でしょうね。それがこの作品の中の写楽が、観る人を惹きつける一番の理由だと思います。人はその象徴のような存在だと思ひます。
——芝居のなかで10数年の時が流れ、伊之は別

人のように変化して現れますね。欲望をむきだしに生きていた彼が、魂が世俗から抜け出してしまったかのように、衝撃的な場面でした。そのプロセスは、どんなふうに進むよう？
前半と後半の写楽は、本当に別人のような人物像です。でも、人間は変化すること成長するものだ、その過程で苦しむことも多い。その苦しみは伊之を大きく変えてしまつたんだと思います。ただこの作品は、喜多川歌麿や十返舎九も含めて、一人の人生の変化が集まって大きな流れになるような物語で、その流れの中で、それぞれの人たちの変化はとも劇的で、わかりやすい。でも、僕の演じる伊之は、そういう状況を受け止めて、表に出ているものではない、静かなままなんです。その外側の流れと内側のギャップをどう表したいか、やっぱり最初は迷ひ方になるような気分もありました。
——伊之はやがて写楽となつて、絵にすべての情熱を向けていく。そのあたりの堤さんの役への没頭のしかたは、絵に対する写楽に重なつていましたね。
どこか似ているなと思ひながらやつていて、部分もありました。僕にとって舞台は、今では大



好きな仕事ではあるけれど、ある意味では「やらなければならぬ仕事」だつたわけですね。人前に立つのが苦手だつた自分が、今こうやつて役者として生きている、それは運命だと思うんです。写楽も、生きている、それは運命から、最終的には周りによつて描かされることになるけれど、その場所、自分だけの世界を見出して没頭していく。そんな運命の不思議さに、自分と写楽の共通点を感じていました。
——彼の最後は牢のなかで、絵と死しか残っていない。同じ芸術にたずさわる者として、つくづくつたつたしませんでしたか？
演じることは、役を生きているけれど、同時に自分自身の生きざまが出てしまふものですよ。ぬるく生きていけば、その状態が出てしまふ怖さがある。そんなふうに分かちあつて、自分になることもマイナスになることもあるのが舞台だし、つねにそういうものを突きつけられる怖さがあるのに、それでもどうして舞台に立つのかというと、あの空間が好きだから……。理屈では今でもわかりませんが、日常とは違う次元で生きている、刃の上を歩く、ようなもの。結局、舞台に立つ事そのものが、僕に

としては修行なのかもしれません。
——この「写楽考」に出たことで、役者堤真一が得たものとは？
僕は20代に、デヴィッド・ルヴォーと仕事をし、そのときに「芝居は相手との関係が大切」と教へられて、その言葉を大事にしてきたんですが、でも、この物語は、独白の独演会（笑）。相手役の長い独白の間にも高い集中力が必要でした。それは、これからの舞台にもきっと役に立つと思ひます。





ヨーロッパ企画

冬のユリゲラー

作・演出◎上田誠
出演◎諏訪雅 土佐和成 中川晴樹 本多力
山崎雄 人羅真樹 (イイブメン) 首藤慎二 (ヘビーバー) 岡嶋秀昭
4/15~22◎インディペンデントシアター2nd. 5/5~15◎サズナリ

クリスマス Eve。街外にある某喫茶店では、今から秘密パーティーが開かれようとしている。パーティーの参加者は、各種様々な超能力を持ったエスパー達。彼らはその「力」を仲間同士でお披露目する為に集まっていたのだ。超能力に理解のある店のマスター(岡嶋秀昭)が少し席を外している間、細身の男「神田(土佐和成)」がやってきた。すっかり盛り上がり上っていたエスパー達は仲間が来たのを歓迎し、彼をその輪の中に招き入れる。しかし、神田はエスパーではないことが後に判明。自分達の秘密を口外されたくないエスパー達は、あれやこれやと策を練ることに――。



バック・トゥ 2000 シリーズ

苦悩のピラミッダー

作・演出◎上田誠
出演◎石田剛太 酒井善史 角田貴志
永野宗典 西村直子 松田帽子 中西武敏 (ジュース)
4/4~11◎インディペンデントシアター2nd. 5/3~14◎駅前劇場

紀元前2000年、エジプト。ピラミッド建設が隆盛を極めた時代より、ちょっと後のお話。国力の衰微を嘆く宰相(永野宗典)は、民生大臣(石田剛太)や財務大臣(松田帽子)らと呼ばび、「ピラミッド建設で今一度国を豊かにしよう」と、ピラミッド建設プロジェクトを立ち上げる。「えー? ピラミッドなんてぶっちゃけ無理でしょ!」と全く乗り気じゃないプロジェクトメンバーに対し、ピラミッドへの想いを熱く語る宰相。その想いが通じたのか、プロジェクトは徐々に現実味を帯びていき、遂に本格的な建設がスタートするのだが……。

永野宗典

なごのねのり◎78年生まれ、宮崎県出身。98年、ヨーロッパ企画の旗揚げに参加。以降、全作品に出演。舞台のあなず、映画、ドラマ、ラジオ等への外部出演も多い。劇団内では小道具製作も担当し、本文中の「犬とジャッカル」も永野氏入魂の一品。

中川晴樹

なかがわはるき◎77年生まれ、愛知県出身。00年、第5回公演「苦悩のピラミッダー(初演)」に日替わりゲストとして出演して以来、ほぼ全作品に出演。ヨーロッパ企画が主催する映像イベント「ショートショートムービーフェスティバル」ではプロデューサーとしても活躍している。

上田誠

うえだまこと◎79年生まれ、京都府出身。98年、同志社大学在学中にヨーロッパ企画を旗揚げ。全作品の作・演出を手がける。その豊富な経験と豊富なアイデアで、テレビ、ラジオ等の各メディアからも注目を浴びている。

次回予定◎ABCラジオ「ヨーロッパ企画の試験放送」毎週火曜25:30~26:00 O.A.

永野 割と細かい所まで話し合いますからね。僕らなりの、歪め方というのが大事になってきます。

▲あえて、もっと、生々な感じに

上田 「冬のユリゲラー」ですが、前回、東京で上演した際は手応えがあまり良くなかったとか。今回の手応えは前回と比べて違いますか?

永野 もっと食欲に笑いをいかにしようと思えば、やり方は色々あったんですけど、今回はちょっとやりたかった。だから、あつちやつちやで同時に喋ったりして、お客さんの集中しづらかった場面もあったかと思いましたが、それを差し置いていい効果が生み出せたかな。

中川 あえてシンプルにしないことでもっと、生々感じに。

上田 そうですね。その命綱な感じがしますもんね。きつと平面的な方が分かり易くなるんです。特に「冬のユリゲラー」は、台本で完結しているお芝居だという印象が僕にはあって、台本で平面じゃないです。要は、その時点である程度構造がしっかりしているものを、あえて立体にして生々しくするという所は今回やらせてもらった僕が儲けのひとつですね。

中川 最低限のところはクリアしつつ、あえて僕が儲

上田 そうそう。ゆうたは昔は平面的にしかやれなくて、それが観客に響かなくなってきたりとかもあったんですよ。

▲今回の2作品に関して、上田さんはどのように捉えています?

上田 ヨーロッパ企画のベシックススタイルってんな感じですよ!というのがあると思います。お芝居の構造としてはヨーロッパ企画を知らない人に一番最初に観て欲しい作品でしようか。

上田 両方とも完成度の高いシチュエーションコメディだと思いましたが、ヒューマンドラマというかほんのりと人間臭さが残る作品ですね。

上田 多い、多い。SFというものが、やってみると思っている作業を丁寧に行うことで、SFがあまり持っていない感覚を生むことが出来ると思うんです。例えば、素材はSFでも、切なさは、みんなの心を、フックシヨンじやなく地続きさばく出来るというのが、脚本を書くことの本来持っている意識はあります。温かみとかヒューマンぽさというものは……そういう作品になって良かったなと思います。そういうの、苦手だと自分では思っていますし、映画観て泣いたこととか1回もないし笑。だから、そう言ってもらえるのはめちゃ嬉しいですね。

▲気苦労が絶えなくて(笑)

中川 まずは砂組座長(永野)さんと雪組座長(中川)さんから、今回の座長つりについて言をお願いします。

永野 もう、何ですかねえ。(苦笑) みんなはどう思われているのか? 気がなっちゃうんです。だから「座長としての権限を行使しているのか?」とか、そういう気苦労が絶えなくて笑。

中川 砂組は永野さんが最年長なんです。でも、雪組は諏訪さんとか客演の岡嶋さんという先輩がいたので、「座長だから何かしなきゃ!」みたいな気持ちはあまりなくて。

上田 そんなお2人が、自身の座公演に点数をつけるとしたら何点をつけますか? 10点満点でお願いします。

永野 え、10点です! そりゃあ。

上田 中川 (小声で) 10点です……。

中川 小聲で突っ込まれてますが(笑)。

永野 だってこれを読む座員がいるわけだからね。

上田 いやいや、これは座員の為の取材じゃないから(笑)。

永野 でもね、この公演のおかげで「稽古で作ったものを信じていけば本番もいけるんだ」という大発見が出来たんですよ。それを信じていけば、本当に10点満点の芝居が出来るんだ! と思いましたね。

中川 ピラミッダーが10点ならユリゲラーは12点。

永野 ちょっと! 10点満点評価だから!! 砂組を下に見るな。けしからん!!

中川 じゃあ、10点満点。気持ちは12点ですけど。

永野 こっちも言いたいわ、そんなん笑。

中川 「冬のユリゲラー」は笑いに特化している芝居だと思っます。きつちりしたルールがあつて、その中だつたら何をやっても間違いないという、今回のメンバーはその時々で面白くごやたら。って人達ばかりだつたら、台本を超えようという意識が常にあるって、それはやってみてすごく楽しかったです。

▲手触り感がどこかにない

上田 では、それぞれ作品のお話を、「苦悩のピラミッダー」は、紀元前2000年頃のエジプトという設定でしたね。

上田 エジプトは僕の母親がめっちゃ好きなんです。家にエジプトの本がちらほらあったり。だから、エジプト芝居やるってゆうたら喜ぶかな? っていうのも少しだけあったんですよ。

中川 親孝行なんやなあ(笑)。

上田 エジプトという設定なら、そのセットや衣装もいいますよね。永野さんが作製した小道具、犬とジャッカル(上の写真中央を参照もカッコーイデス)。

上田 芝居の中でかなり重要な小道具ですね。歴史が繰り返すことを象徴するんです。

永野 かつこいじゃし! あれ、演ぶんで貰って頂けませんか?

上田 え? 頂けるんですか?

永野 京都に帰る時に捨てるに捨てられないやつで、今ちょっと悩みの種に笑。

上田 本当ですか? そういふのなら読者プレゼント用に頂戴したいです! (88ページ参照)

永野 是非是非。ありがたござんす。

上田 永野さんは出演された感想は?

永野 僕、この役がすごく好きなんです。上田君の台本でここまでキャラクターが生き生き書かれているものって少ないから、人間味があつて非常にやり甲斐のある役ですね。

上田 紀元前エジプトの設定なのに、現代チックな演出が爽快ですね。歴史ロマン(笑)けど、現代との距離感が妙に近づく。

上田 そうですね。そういう手触り感って、どこかにないとなあ。常々思っていたので、リアリティをもって脚本を書いて、リアリティをもつ俳優が台詞を喋れないと、歴史ものを模倣して演じている感じになっちゃう。

ポップな演劇実験室から

今春、4ヶ月近くに渡ってヨーロッパ企画が上演した「バック・トゥ 2000 シリーズ」。文字通り2000年に上演した作品3本を再演する企画で、内容に合わせて、「苦悩のピラミッダー」を砂組、「冬のユリゲラー」を雪組、そして「衛星都市へのサウダー」を星組と称し、それぞれに座長を任命したとのこと。そこで今回は、3部作から先行した2作品についてのお話を、砂組座長の永野宗典、雪組座長の中川晴樹、そして星組座長であり演出した上田誠の3人に伺いました。ヨーロッパ企画という、緻密に構成されたシチュエーションコメディを得意とする劇団ですが、そこには実験性に富んだアンビゴロやイロイロな戦略があるようです。ちなみに、ヨーロッパ企画のホームページには永野氏と中川氏の対談ブログ「座長ホットライン」も掲載されています。よろしければそちらと合わせてご覧下さい!

事故で相方(加藤雅人)と恋人(吉原朱美)と姉(浜口綾子)を亡くした漫才師・孝治(前畑陽平)は、未だ心の中に消えない3人の姿に囚われる日々からの決別を誓い、新しい相方の小梅(篠塚茜)と漫才グランプリに出場する。しかし、期する思いからかヒートアップしていく孝治のノリッコミは、彼の成功を願う亡くなった3人の幻と他1人(石松太一)等の余計な力添えを得て、常軌を逸した果てしない広がりを見せていく……



最初から最後まで楽しめた

漫才コンビが漫才をする……という話だったのに、どんどん脱線していく。少しずつ引掛かりを残しながら、話が次から次へと展開され、「ここまで!？」と呆れるほど小ネタを拾い、無意味に引き延ばされる。タイトル通り「永遠カもしれない」と思えるほど、どんどん繰り出される話のひとつひとつが、なんともバカバカしくて楽しくて——。漫才コンビを演じた前畑陽平と篠塚茜は、最初から最後までノンストップで走り抜け、俳優としてのポテンシャルを見せつけた。

前畑陽平

まえばたようへい○76年生まれ、京都府出身。vol.1「笑ってもいい」と思う。2003.「よりシベリア少女鉄道」に参加。以降全ての作品に出演。



篠塚茜

しのつかあかね○83年生まれ、神奈川県出身。vol.10「天までとどけ」よりシベリア少女鉄道に参加。以降全ての作品に出演。

——今までの作品は「ネタ振り」と「オチ」の部分がはっきりしていたと思うのですが、今回は「ネタ」の部分がどんどん脱線していくという感じでした。

篠塚 最初は、こういうものをお客さんが受け入れてくれるのかな? という不安がありました。途中からお客さんが付いて来なくなって、シーンとしちゃうかなあ、と心配でしたね。でも初日が開けたら、結構お客さんが最後まで付いて来てくれて。

前畑 いろんな話がバートと出てくるから、そういうのを最後まで観てもらえるのか、という不安はぼんやりとありましたね。でも僕としてはウケてほしいな、という希望もありました。

——お二人は最後までテンション高く突っ走っておられました。

前畑 僕は本当に最初から最後まで楽しんで演じてましたね。今回は今まで一番楽しめたけど、一番楽しかった。稽古もいつもよりはたくさんやったような気がします。でもどんな風に台詞を覚えたのかとかは、もう全然覚えてない(笑)。いつの間にか覚えてました。

篠塚 私も全体的にすごく楽しかったです。私は、どんどんずれていく世界をなんとか元に戻そうとするという役回りだったので、周りの方たちに負けないように頑張らなきゃ、というも思っていてやってましたね。みんないろいろ面白いことをやってるので。だから今回は、共演者の方やお客さんという意味で「闘えた」という感じです。

——作・演出の土屋さんから、特になにか言われたことはありましたか?

前畑 漫才のシーンで、ここはもっと声を張ってとか、この言葉を立ててくださいとか、そういうことは言われました。でも基本的に、土屋さんにはいつも自由にやらせていただいているんですよ。僕が自分で考えた動きとかを稽古でやってみたり。それがあまりにもひどいものだと、ちゃんと修正はしてくれますけど(笑)。

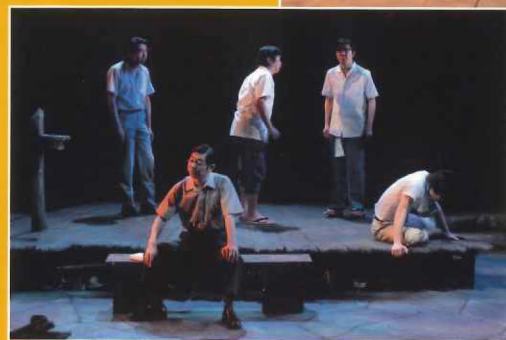
篠塚 私は、今までは土屋さんに「こうするんだよ」と言われて、その通りにやってきたんですが、今回はあまりはっきりと言われなくて。「こういうふうにやりたいけど、どうする?」みたいな(笑)。だからそこは自分で考えたりして、結構自由にやらせていただけたですね。でもその分、毎回すごく緊張しました。

——前畑さんから見て、今回の篠塚さんはいかがでしたか?

前畑 完璧でしたね。なににも言うことはないです(笑)。

篠塚 本当にですか?(笑)でも今回、前畑さんにはしょっちゅう助けていただきました。私は結構稽古を止めたし、よくつまづいたので、本当に前畑さんに付いて行ったという感じでした。

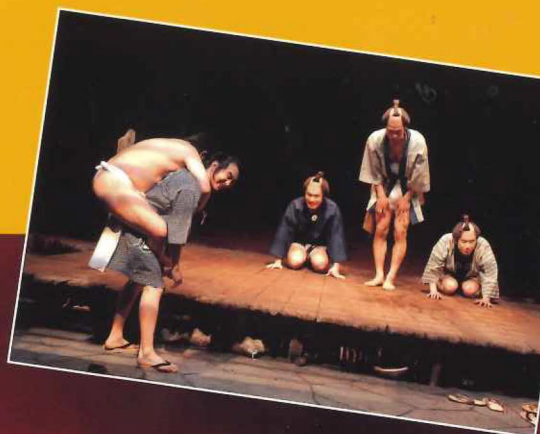
現代までの500年。山城さんという家の歴史をドラマチックなエピソードで描いた壮大な作品です。はじめの場面は室町時代か?とこかの村の小広場。舞台上が敷かれ、枯れ木があり、「ゴドー」を待つ二人が出てきて、よいような雰囲気なのですが、出てきたのはふんとし丁の俳優たち。とにかくドタバタ(はめてます)と勢よく、土と肉体のハモニーが臨場感を高めま



一揆を起こす農民。「かんかんのう」を踊る遊び人。戦争未亡人の兄嫁に恋する弟。社会主義運動に挫折する印刷工。戦後の荒くれた人々。失脚する養子の政治家。500年間に渡る山城家のいかにもいて、笑ってしまうけれど、リアルな歴史の断片。

作・演出・出演○千葉雅子

出演○中村まこと 森田ガツ 市川しんべい 佐藤真弓
池田鉄洋 村上航 いけだしん 岩本靖輝 菅原永二
4/18~29○シアターラム



苦労人

構成・文○坂口真人 撮影○引地信彦



人間同士が 全身全霊でぶつかり合う

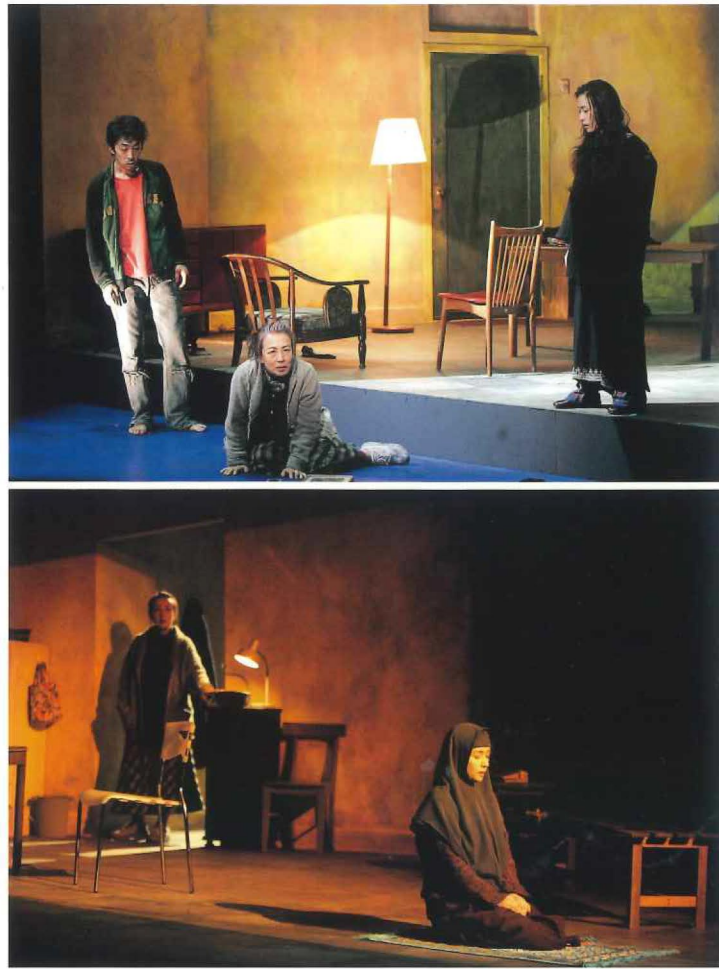
舞台は母・ドットティと息子・サニーが暮らす公営住宅の一室。つましいながらも穏やかな生活を送る二人の許に、突然、薬物中毒となって家出していた娘・ヘザーが帰って来た。交わされる会話のなかで、次第に彼らの過去が浮かび上がってくる――。

ある家族の物語を中心に据えながら、宗教や民族の対立を絡め、普遍的な人間そのものの在り方を描いている。登場人物は三人のみで、淡々とした会話を交わしながら、激しくぶつかり合う。

終盤、不在である父のことに話が及ぶ。ドットティは子供たちに、父親は白人で、家族を捨てたのだと言い聞かせていた。しかしロンドンで父に直面したヘザーは、父はトルコ人で、イスラム教徒なのだと言わせようと、執拗にドットティに詰め寄る。緊張が高まるなか、ドットティが真実を告白すると、サニーは母に殴りかかる。自分が混血だったことに強い衝撃を受けるサニー。世間体を気にし、子供たちに真実を告げることができなかったドットティ。宗教に帰依し、強さと落ち着きを湛えたヘザー。登場人物は皆、痛々しいほど純粋だ。時に残酷に、時にはユーモアも交えながら、己の感情を晒し、葛藤する姿は、観る者を圧倒する。

英国の地方都市で、サニー（北村有起哉）は母のドットティ（銀粉蝶）と二人で暮らしている。ある日、薬物中毒となって家出した姉のヘザー（中嶋朋子）が突然、イスラム教徒の姿で帰って来た。イスラム教徒の排斥運動をしているサニーは、ヘザーの改宗を強くなじる。次第に二人の話は自分たちを捨てた父へと及び……。

作○ジャン・カラン 翻訳○小田島恒志
演出○栗山民也 出演○中嶋朋子 北村有起哉 銀粉蝶
4/18～28◎新国立劇場 小劇場 THE PIT



CLEAN SKINS / きれいな肌



構成・文○渡辺敏恵 撮影○谷古正彦



作○平田オリザ 翻訳○ユタカ・マキノ 演出・美術○ロラン・グットマン
出演○太田宏 角館玲奈 イヴ・ビニョー アニー・メルシェ アドリアン・コシュティエ
ブルー・フォールジェ カトリーヌ・ヴィナティエ 山内健司
4/5～8◎シアタートラム

青年団国際演劇交流プロジェクト2007
「日仏合同公演」

別れの唄

族の死に対する向き合い方も、日本人とフランス人とは違う。そのかみ合わないやりとりが、観る者の笑いを誘う。溝は最後まで埋まらないが、マリーを失った悲しみは共有している。月を見ながら、故人を哀悼する両者の思いが一つになるラストシーン美しい、完全に理解し合ふことは不可能であっても、笑いや悲しみなど、共有できることもたくさんある。その一瞬の心の重なりが、深い余韻を残す。

国際結婚をして、長く日本に暮らしていたフランス人の妻・マリーがなくなったフランスからマリーの両親と弟・サラは前の夫までもが、葬儀に駆けつける。マリーの夫・武雄（太田宏）と、武雄の妹・由希子（角館玲奈）は日本の葬式の様々なしきたりを彼らに懸命に説明するが、文化の壁は大きくて……。

異文化が重なり合う瞬間
本作は、平田オリザがフランスのティヨン・ヴァル・ロレーヌ国立演劇センターの依頼で書き下ろしたものである。東京公演以前にフランス国内で30ステージ近く上演され、5月にはパリの劇場でも上演されて好評を博した。舞台は古い日本家庭、鏡張りの舞台装置が強烈なインパクトを与える。伝統的な日本家庭を再現しながら、壁面を鏡張りにすることでどこか抽象的な空間が生まれた。日本人男性と結婚したフランス人のマリーが急逝し、その通夜の夜更けのエピソードを描く。フランスから駆けつけたマリーの家族と、日本人であるマリーの夫とその妹。両者が対話を重ねれば重ねるほど、両国の文化の違いが浮き彫りになる。日本人が懸命に日本の葬儀のしきたりを説明しても、フランス人たちは戸惑うばかり。また、家



構成・文○渡辺敏恵 撮影○青木司

036

ホリプロ／Bunkamura

藪原



作・井上ひさし
演出・蜷川幸雄
出演・古田新太 田中裕子 梅田安則 梅沢昌代 六平直政 山本龍二 松田洋治 神保圭子 星山仁美 横崎彦
企画・制作・ホリプロ Bunkamura
5/8・9・10◎Yasuhara Kensa Gakko (TBS) 6/9・10◎Yasuhara Kensa Gakko (BS) 11/10◎Yasuhara Kensa Gakko (BS)

かつて、公開処刑は民衆のお祭りであり、
日々の暮らしに疲れた人々は、自分よりも哀しい目に合っている人間を見て、
明日も生き続ける活力にしていた。



検校

貧困、盲人という苛酷なハンデを背負いながらも、
あらゆる手を使って生きのびてきた杉の市が、
凶悪殺人者として民衆の生け贄になるまでを描いた井上ひさしの傑作戯曲。
蜷川幸雄がこの戯曲にはじめて挑んだ。
生身の人間が芝居を演じていることを強調することで、
何があっても人間は生きていかななくてはいけないのだという現実が突き刺さってくる。
ラストの按摩笛の絞り出すような音が、我々は今、厳しい現実にいるのだという警鐘のようだった。



江戸時代中期、提燈に生まれ杉の市・古田新太は、親の因縁が子に報いたのか、生来盲人だった。子供の頃から悪党で、手癖も女癖も悪かった。ある日ひさしと
とから殺人を犯してしまふ杉の市は、江戸へ逃げる。そして悪の限りを尽くし、検校という盲人の職業の最上位に登りつめようとする。江戸では同じ盲人で、杉の
市とは真逆な品性を保つて世の中に自分の意味をいかにするかを模索する。検校・中(段田安則)に出会う。理解はしあてないが、どこか惹かれ合う。二人、杉の市
が念願の検校位につくその日、元脚匠の妻お市・田中裕子殺してとられ、処刑される。保己市が杉の市の花道として用意した世にも凄惨な処刑とは……。

庶民に愛される ダークヒーロー

全方向から 見せます!

藪原検校

藪原検校と言えば、不幸な境遇から悪の限りを尽くして成り上がっていく男というイメージだった。新感線の舞台でも、圧倒的なヒーローを演じていた古田が、井上ひさし×蛭川幸雄の芝居でどれだけの悪を演じるのか? と期待したら、古田藪原は、どこか飄々として愛らしくさえあつた。この鮮やかな裏切りの真意に迫る……!



面白い戯曲は難しい

「藪原検校」はお好きな作品だったそうですが、どこに魅力を感じますか?

終わらせ方が強腕ですよ。三時間近く構築してきた展開をラストでひっくり返したいという願望は誰しもあると思うけど、この戯曲は見事に杉の市が検校になる寸前で終わっている。ちゃんちゃん芝居(笑)の最高傑作ですね。俳優としては、おもしろい台本のほうが緊張する。そのままだって、おもしろいホンは逆に、役者がやることによってもおもしろくなる可能性があるから(笑)。

男は殺す、女は犯すの悪の限りを尽くして権力を手に入れようとする杉の市を、あえて極悪人ぶりに演じず、おもしろい人物にしてみました。これは最初から決めていたんですか?

町の人が大好きな悪者にしたかった。「あいつすごいな、悪い奴だけとていう。最下層の人間が這い上がっていく哀しみのうのもあると思うけど、」実はあいつそんなに悪くなかったんじゃない? 働き者だっし「てここにたったらおもしろいと思う。今回、松平定信にしても堀保己市にしても悪く作ってないんだよね。保己市なんて、最後杉の市に蕎麦を喰わせることは残酷な策としても演じられるけど、死にゆく杉の市に最後の花道をつくつてやりたいたいという情みいたにっているでしょう。僕の杉の市像は、自分だけで考えたというより周囲の俳優の演出も見てバランスも考えていった結果ですね。

みなさん、あえて難しひびいた方向を選択したということですか?

ストレートにやったら面白くなるのはわかっているのに(笑)。

蛭川幸雄さんの演出ですか?

役者からかな。蛭川さんは定信をもっと悪者にしたかったみたい。蛭川さんが好む打倒したい権力の象徴としてね。

底辺だからこそドロドロの悪じゃなくて、ドロドロしてる人は逆に出さないという。

全体的にはライトになったんじゃないかな。

ライトなほうが案外こいいてこと?

それは楽しい解釈だと思う。井上ひさしさんも「こんな藪原見たのはじめてだ」みたいなことをおっしゃっていました。

劇場役者も観に来てくれたから、古い戯曲にも優れたものがあるんだってわかってもらえたらいいなと思います。

天の邪鬼な生き方で

古田さんの世代が、70年代の芝居と、90年代以降の若手の芝居を両方知ってる世代だから、驚いていかない?

そうそうそう。唐十郎さんにも名作はいっぱいあるし、そういうのを若造たちがやってもおもしろいと思うんだよね。俺がいのうえひでのりさんたちと劇団☆新感線をはじめた時は、演劇は高尚で知的なものでという劇場の敷居の高さを低くしようという志があったんだよね。でもそういうわかりやすい楽しい芝居が主流になっちゃうと、天の邪鬼な俺としては「新劇とかもおもしろいよ」って言いにくくなる。

では、しばらくは文藝路線を?

いやあ、次はネタもの『犬顔(家の陰謀)』だし、その次はKERAさんとのコントですよ。

今年は舞台が読まますね。

おとし、去年はあえて映像をやろうとしていて、今年、来年は、舞台をやろうと思つています。今年は新感線のいのうえ歌舞伎にはじまつて、蛭川さん、新感線のネタもの、KERAさんとの公演……とマジメなものとかでないものが混ざっていて、ちよつといい塩梅かなって。KERAさんとは、『北ビートニクス』『SLAPSTICKS』とお芝居寄りの作品が多かったので、コント寄りのものがしたかったんです。来年も何がしたいかわからない毛色の違うものをやっていきたいですね。こんな感じで短いスパンでいろんなことをやってみようが楽しいんです。60歳過ぎたら『屋根の上のヴァイオリン弾き』みたいなロングラン作品をやってみたい、かな(笑)。

ふたつある。劇団☆新感線の看板俳優として活躍、NORIMASA、大人計画など数々の作品。近年は映像でも活躍している。蛭川演出作品は「真情あふれる経済学」2001年11月、新感線検校が2作目となる。

次回予定。劇団☆新感線 犬顔家の陰謀 7/17・18・4のシアターBRAVE! 8/11・19・9のウシヤン劇場。RADIO劇場でケリー・サントロヴィッチとの公演。キートン・プロデュースを10月に予定。

古田新太



——中盤、杉の市が誤ってお母さんを殺してしまう場面。母への愛情が描かれてるから、杉の市は単なる悪じゃないってことが既にわかりますよね。やはりこのシーンから杉の市像が出来ますか?

いや、最初から、杉の市のライトさは決め打ちしていたんだけど、前半は蛭川さんに「もつとかわいくしてくれ」って言われました。どこかの取材でも言つたけど、極悪の高校生でまだまだ内面は子供な感じが出せたらいいなと思った。江戸に来るまでは、子供らしさを意識して。母を殺して江戸に来てからは、どれだけ殺しても平気みたいな雰囲気に残虐っていうより、平気な感じを出したかった。「必殺仕事人」じゃないけど、クールに殺していく演技もおもしろいですよ。

日本の民族的な発声を選択

——杉の市が三段斬りで死んだ後、町人の中に古田さんが満ちてますよね。

蛭川さんに出るって言われて。でも後半まで目立たないようにとも言われた。ハハハ。座頭一座が芝居をやっているという劇中劇の構造だから、杉の市役の俳優が出てきたっていう意味を強めたかったんでしょうね。

ト書きには、杉の市、お市、語り手以外は、様々な役を「どうかえひつがえ演じる」と書いてあります。例えば野田秀樹さんの芝居でも、様々な役を少人数で演じ分けますが、蛭川さんの演技分けには俳優の生々しさみたいなものを残してほしいという意識がありますよね。

ちよつと質問とずれるかもしれないけど、蛭川さんの中のリアルとして、今回、西洋的な発声は控えると言われました。土着的な匂いを出すために普通の声に近い発声にしたんです。でも、これ喉に負担がかかるんだよね(苦笑)。

——あの早物語(184行もある長い語り)も、その発声で?

あれは少しでも負担がかかることは避けたいだけだった。睡飲めないし、咳できないし、声を復活させる作業ができないんですよ。初日二日目くらいは、お客さんが笑う箇所などを確認して、ここで瞬息がつけるとか、探っていましたよ。井上さんに「役者に対して軽くいじめ入ってますよね」って言ったら、「あれは役者の見せどころです」っておっしゃっていました。

——古田さんの役者としての経歴の賜ですよ。今回、地人会の芝居などは観ないような、小

座頭一座の裏方のように存在する

座頭一座による劇中劇という構造になっているので、次々変わる転換は、俳優たちも手伝っているし、演出部が、綱や書き割りの木、布の川など、歌舞伎のようにいかにも演劇の大道具、小道具といったものを出し入れる、手作り感にあふれた演出になっていた。休む間もなく黒子のように作業を続ける10人の演出部を率いる舞台監督・小林清隆が語る裏（方）話。

【舞台監督】 小林清隆

こはやしきたか○85年シブタクトコネクションの設立に参加。演劇ミッドガルコンサート、イベントなどの舞台監督をつとめる。山田和也、宮本重門、藤下辰男、鈴木勝秀演出作品などに参加。蜷川演出作品では、四方を全席でめくった「ハレット」、床に水を張った「タイコ」などを担当している。



今回予定○ホリコ○レニテア 8/9・9/2
○彩の国さいたま芸術劇場○9/14・17○シブタクトコネクション

ギター一本であらゆる音色に挑む

語り部・盲太夫の傍らにビッタリ寄り添うギター奏者の生演奏が音楽劇を盛り立てた。宇崎竜童の手がけた音楽が、舞台の空気を、ザラリとちよつと乾いた手触りにする。
赤崎のギターは、ドロドロにエモーショナルになりそうな戯曲に、あえて抑制の利いたクールな雰囲気を与えた。
演劇の生演奏は初体験という赤崎に、印象を聞いた。



【ギター奏者】 赤崎郁洋

あかまいくみひろの10歳で上京。音楽教室のあとで、働きながら音楽活動を開始。アメリカン・ジャズ・ソウルのコンテスト日本代表参加。モリタ・タカシ（後援）主催の「イン・ザ・フット」で、蜷川演出作品「タイコ」に出演。イン・ザ・フットで蜷川演出作品「タイコ」に出演。イン・ザ・フットで蜷川演出作品「タイコ」に出演。



人形を二瞬でも本物に見せたかった

クライマックス、藪原検校の処刑に当たり、塙保己市が事前に蕎麦を食べさせることを提案する。処刑方法、三段斬りにより、藪原の身体から、血に染まった蕎麦が流れ出すという最大の見せ場となる。身の俳優を使つてそんな凄惨なシーンは不可能。以前より、ここでは人形が使われていた。蜷川版も人形を用いたが、これがかなり精密で、斬られるまで本物と思つていた観客もいたほど。処刑の衝撃を絶大にした人形は、どのように作られたのだろうか？

【特殊小道具 藪原人形制作】 土屋武史

つちやたけし土屋工房で舞台の特殊小道具に携わる。蜷川演出作品では、欲望という名の電車「ワリウス」などがあ。ワリウスの舞臺面の大量の花も作った。



今回予定○レニテア 8/9・9/2
さいたま芸術劇場

あえてシンプルに

今回は、座頭一座の旅公演という設定を生かすため、蜷川さんはあえて素朴なやり方を選択されたようです。全体的に歌舞伎の大道具、小道具のような書き割りを多用したり、仕掛けもあえて簡単なものになりました。たとえば、川の場面であやめの花を出す時も、いつもの蜷川さんの芝居ならものすごくいい花を出すけど、今回は少な目になっています。とはいえ、稽古中、突然、豊や仏壇などを出すと言われて慌てた、なんてこともありました。本番までは演出部は、演出家の動きをあらかじめ予測して準備するのが仕事。予想が当たるか、外れるかの攻防です。

ラストも、舞台土三方を覆った戸板がパンと倒れる屋台崩しになるか？という予想もスタッフの間ではありましたが、蜷川さんはやらなかった。杉の市が処刑された後、町民たちがお祭り騒ぎに興じる場面も、町の雑踏の雰囲気、俳優と道具でどれくらい出すかという試行錯誤が最後までありました。これも少ない桜の木の書き割りに留めた。蜷川さんは、今回は

つもの自分とは違う演出をやろうとされていた気がします。

芝居の空気を読みながら

舞台裏は、表の芝居よりも怒濤のように動いていましたよ。場面転換が多いから、道具の出しはけが多いんです。転換表は31枚にわたり、それに従って10人の演出部がフォーメーションを作り動いています。10人で100手ほどの仕事をこなしています。稽古終了後には必ず反省会をして、毎日その表が少しずつ修正されていきます。

基本的にはスタッフは影の存在ですが、蜷川さんの芝居の場合は、あえてスタッフの動きも見せるというのをよくやられます。今回もそれは踏襲されていました。クライマックス、藪原が綱で縛り上げられるシーンも、演出部が綱を引っ張るのですが、転換照明ではなく、僕らがよく見えています。こはタイミングも難しく、緊張するシーンです。松の市が、江戸に歩いて向かう場面、松の書き割りが動くことで風景が変わっていくという演出がされていて、松担当の村上は、古田さんの芝居に

ダブではジーンズ、Tシャツだった

本番がはじまって週間くらいした頃、楽屋にいろんな人が訪ねて来るのを見て、ようやく自分がすごいプロジェクトに参加してるらしいってことに気づいたんです。もちろん蜷川幸雄さんのお名前やすこい人だつてことは知ってましたが、実感がなくて、わがままでして、引き受けられなかったかもしれません(笑)。

音楽の手嶋竜童さんに声をかけて頂き参加しました。ライブ活動はしていますから人前で演奏するのは慣れていますが、ふたはギターソロですが、時々歌の伴奏もしているので、俳優の呼吸に合わ

座頭一座の楽師として…！

座頭一座の員として演奏するという意識は、申し訳ないですが演技経験がないのでそれほど

の自覚はなかったかな……。でも、一生懸命、場に馴染もうとはしました。それが、一座の二員になろうとしていたってこともありません。特に、チューニングをする時、なるべく自立しないよう

激しい場面をあえてゆつたり

基本的に、殺して犯して殺されて蕎麦出たっていう話だから(笑)、曲のイメージとしては、ヘヴィメタか津軽三味線かところですけど、今回は、役者さんもあまりヘヴィになりすぎないように工夫されているようでしたし、音楽も、登場人物の内面にとびり浸るのではなく、軽やかな感じを意識しました。

もともと僕の演奏はエモーショナルというよりは引いた感じなんです。たとえば、戦場の場面にも、ゆつくりしたバラード系の曲をかけたほうがいいんです。激しい場面につたりした曲をつけるのが好きなんです。もちろん蜷川さんがNGだったら、変えますが……。感情や状況に

れています。最初は蕎麦だと言われて、リアルに蕎麦色に赤を塗るのかわつて思ったんですが(笑)、蜷川さんの作品だし、象徴的な赤。を選びました。照明映えもするような赤ですね。電気仕掛けが仕込まれているので、空洞部分を広げるにも限度があるので、試作の段階で、蜷川さんに「出方が細い」と言われ、中を少し太くしました。

実は、地人会館に開いた方に偶然お会いして、当時は蕎麦の出し方はどうだったか聞いてしまったんです。ゆつくりとモニター仕掛けで蕎麦が出るようになっていたそうです。でも、今回は敢えて全く違うスピーディーに勢い良く出る演出を蜷川さんは選択されました。

一瞬の仕掛けに命を賭けて

だからこそ人形が3つに斬れて、蕎麦が出る仕掛けがより重要になりました。首斬り役人の刀の動きに合わせて、頭と胴を切り離さなくてはいけないので、タイミングがずれたり、ましてや、何らかのトラブルで切り離せなくなったりしたら台無しになってしまいます。紐を引張ると言うようなアナログな仕掛けが安全ですが、今回は、宙つりという制約があるので不可能です。電磁石を使って、遠隔操作でスイッチを入れると、止めるピンが抜けるように



合わせて動くのですが、古田さんが飛んだら一緒に飛んだりもして俳優との呼吸も大事にすることを心がけていたようです。

命綱でもある綱の存在

ト書きに、「舞台は綱で縦横に仕切られている」と書いてあつて、その綱を使つて空間を表現することも多かったです。盲人の、命綱にも戯曲で例えられているこの綱は重要な小道具。ただの綱ではなく、レオタード素材を使つた伸びる綱です。そうでない、舞台の縦横にピンと張れない。そのため、引っ張るにも体力が必要です。スタッフは結構腰を痛めていました(笑)。舞台の裏は、綱の強い引力に耐えられるように、鉄骨で支えています。

にしてみました。宇崎さんが客席で芝居を見られた感想だと「スピーカーがなく、本当にステージから生音が聞こえてくるようになっていた。そう、であらう」と言っていた音が気になりました。ギターは部で4本、二部で4本使用して、一部二部で一本ギターを差し替えるので、全部で5本使用しました。鉄弦のフォークギターとナイロ弦のクラシックギターと、12弦ギターを用意しました。音のバリエーションを考えたときに、エフェクターをかけるか、種類を変えるかしかないんですが、変則的なチューニングで響きの印象を変えたい、三味線のような音にするために、弦を少しローをはさんで太い弦を使用した。弦高を少し高めにセッティングして芯のある音が出るようにしている。いろいろ試してみました。地味ですけど……。笑。

沿っている部分もあるけど、引いたほうが逆に奥行きが出るような気がしたんです。

ギターで三味線のニブランスを

宇崎さん、阿木耀子さんご夫妻のライブハウスで働いている時、世界中の民族楽器に触れる機会がありまして、いなくとも、いろいろな楽器のニブランスをなんとかギターで弾きたいと思って、なんです。アフリカの太鼓みたいな音とか、中国のお琴みたいな旋律とか、沖縄の三線とか、琵琶とか……。三味線ってこんな感じかな？とか試行錯誤してききました。ライブパフォーマンス的に目新しいことをしようってことで、ではなくて、ピアノな願望からなんです。今回は三味線のパートがまたま生きました。

なついています。

スイッチを入れるのは演出部の仕事。日々の人形のメンテナンスも演出部がやってくださっているの、この仕事は演出部との二人三脚だったと言えますね。おかげさまで公演中二度もトラブルはなく、うまくいきました。小道具という仕事は、例えば二週間かけて作ったものがわずか30秒で消えてしまうなんてこともありますが、今回は、大事な芝居のラストに貢献できて、素直に嬉しいですね(笑)。



肌の質感がリアル

インターネットで楽々 DVD & CD レンタル!

入会金

配送料

延滞金

¥0

TSUTAYA DISCASはインターネット専門宅配DVD & CD レンタルサービスです。

今なら無料お試しキャンペーン実施中! 最大1ヶ月無料でお試し!!

24時間ネットで
DVD & CD レンタル予約



TSUTAYA 会員証で
さらにお得!



TSUTAYA 会員証に記載されている会員番号をご登録いただくと、DISCAS ポイントをプレゼント!
また、TSUTAYA W カードを使って会費をお支払いいただくと、さらに DISCAS ポイントがもらえます。

お得 1

TSUTAYA 会員番号を登録するだけで
300 DISCAS
ポイントプレゼント!

お得 2

さらに登録された月の翌月から
6ヶ月継続ごとに
100 DISCAS
ポイントプレゼント!

お得 3

さらに、さらに TSUTAYA W カード
で会費をお支払いいただくと
200 DISCAS
ポイントプレゼント!

TSUTAYADISCAS に会員登録してみよう!

“ツタヤ”
で検索!

ツタヤ 検索

ネット宅配レンタル ツタヤディスカス
TSUTAYADISCAS
www.discas.net

ご入会に際してのお問い合わせは
右記フリーダイヤルへ

0120-502-868

TSUTAYA DISCAS カスタマーサービス
受付時間 / 9:30 ~ 18:00 (年中無休)

時の流れを感じさせる 芝居小屋のイメージ

天井まで灰茶の戸板が重なり、三方を覆っている。板の上方には注連飾りやお札が貼ってある。下方には、芝居の道具がたてかけてある。上には緋色の紐。さらに天井からは、枝が二本重なる奇妙なオブジェ。舞台には複数の白い網。

腐食した戸板で囲む

以前行われた地人公演の朝倉根さんの装置がすばらしいので、プレッシャーもありました。井上ひさしの戯曲は美術に関しても、縦横に張り巡らされた桐、松の木の書き割りなどト書きで細かく指示がされています。

稽古しながら試行錯誤

全体的にシンプルにしています。床面は当初、「天保十二年のシエクスピア」のように、数台のワゴンを使って場面転換をしようとしたが、床に網や小道具を使って場面を変えていきました。床の素材は、探足でも動きやすいものにしてあります。網は、伸びる素材を発注

【美術】
中越司

なごりつ、07年シエクスピア公演「紅のクアア」以降、数々の舞台演出作品の美術を手がける。近作は「リリオン」(11月12日)の骨折「地」などがある。



構成・文・撮影(小林、土屋、中越) 木俣冬 撮影 谷古宇正彦(舞台) 岩田英子(古田、赤崎)



音 月 桂
凰 稀 かなめ

宝塚の新しい動きの中で
若手たちにも次々に
スポットが当たっている。
とくに雪組は大作「エリザベート」に
取り組んでいるだけに、
ひととき注目度がアップ。
そんな話題の公演で、大きな役を
演じている2人の若手男役、
音月桂と凰稀かなめを
フィーチャーしてみよう。



音月桂

Kiki Otsuki

おとづきいひ宝塚雪組。埼玉県出身、双子座、O型。98年「シトラスの風」で初舞台、のち雪組に配属。キュートな容姿と歌も芝居も踊りもできる実力を持ち、早くからパウホールや新人公演で活躍。01年「猛き黄金の国」で新人公演初主役。03年「ホップ スコッチ」トリプル主演ながらパウ初主演。以後パウでは03年「恋天狗」、05年「さすらいの果てに」、06年「やらずの雨」、07年「ノンノン シュガー!!」と毎年のように主演。本公演の新人公演でも主役を次々にクリアしてきた。06年の「ベルサイユのばら〜オースカル編」では、役替わりでアラントジェロワール、また「随天使の涙」では音楽家の青年セバスチャンを演じるなど、雪組男役のなかで今や大きな存在になっている。

次回予定◇雪組公演「エリザベート」7/6
〜8/12◎東京宝塚劇場



「エリザベート」の幕開きと同時に、舞台にはこの人がいる。エリザベート皇后の暗殺者ルキーニの音月桂である。華やかな顔立ちと歌・ダンス・芝居の実力を兼ね備えた人気若手男役だが、今回はヒゲをつけ、目には狂気じみた光を浮かべて、ウオリエムのある歌声で物語を進めていきながら、衝撃のラストまで導いていく。劇中の大きな役割を見事にこなして、その力量を改めて感じさせた。

初日より今のほうがかえって緊張が増しているような気がします。

役の一番の課題であるルキーニの狂気は、メイクや表情ではなく内面から、ということをお願いしました。ルキーニとしていかに舞台上に立つかということが大事で、そこから見えてくるものがあるはずだ。それにお客様と「ミニョケーション」できる場面で、最初の頃はどうしてもルキーニというより音月桂に振りがちでした。

96年の初演で拝見させていただいた轟悠さんのルキーニがとても印象的でした。そういう意味ではプレッシャーも大きかったです……。でも私なりに自分のルキーニを作っていくかと思いましたが、今回は音月くさをあまり出さず、



宝塚歌劇雪組「エリザベート」ルキーニ・音月桂 トート・水夏希

私は今年、男役10年目なのですが、この節目の時期にルキーニという役に合ってたかなと思います。自分自身がこれからどう変わっていくのか、さらに成長していくためには何を考え、何をすべきに、こんなに難しく、面白いくらいに組み立てていった。自分を少しづつさらけ出すことができたし、舞台の難しさや苦手な部分にまた一歩踏み込むことができたという気がします。これから先、また気持ちを引き締めてやっていくために、そして新しい自分を発見していくために、ルキーニ役はとて面白い機会になりました。

24時間ルドルフ三昧です

皇太子ルドルフ。エリザベートの息子で、恋愛小説「うたかたの恋」の主人公としても高い彼は、エリザベート同様、孤独という迷宮のなかでトートに死に誘惑され、抗いきれずに自滅する。この繊細でいたましい皇太子を演じたのは、人気急上昇の美しい男役、凰稀かなめ。短い出番のなかでルドルフの内面のドラマと、その生と死の陰影を鮮やかに描き出した。

ルドルフは2幕の途中から登場するので、かなり集中力が必要なんです。皆さんが1幕からすごいテンションで演じてらっしゃって、でもまだ楽屋にいる私は冷静なんです。そこで袖に行つて舞台を見ながらしだいに集中して、出たら一気に存在感とかルドルフの物語を見せていく。もちろん自分でもテンションをあげるように努力していますが、一緒に居る水夏希さん、白羽ゆりさん、彩吹真央さん、みなさんすごく助けられています。

実際に照明が当たって、衣装を着て舞台上に立つと、たとえば独立運動の場面で父親役の彩吹さんの、帽子やヒゲの間からのぞく目に涙が浮かんでたりするとジーンときたり、相手のかたの演技で、自分もどんどん変わっています。「闇が広がる」の場面は、銀橋のトートとの引張り合いがやはり怖いんです。初日から間もないとき、あと数センチで落ちそうになって、トートの水さん引っぱらあげて頂いたので、別の日は「あ、水さん、落ちそう」と思ったり。意識のどこかで状況を見ている自分がありますね。演技ってどこか冷静さを持っていないといけなくて、トートや黒天使たちに追いつめられる鏡の間など、とくにそれを感じます。冷静さを保つてないと、本当に精神



宝塚歌劇雪組「エリザベート」ルドルフ・凰稀かなめ エリザベート・白羽ゆり

的にきついシーンなんです。

最後に死ぬ場面は、初日にはできなかったのですが、今は微笑みを浮かべています。ルドルフは母のエリザベートと性格や感じ方が似ているのですが、死んだあと母が極の前で「あなたは安らぎを得たのね」と歌っているのを聞いて「あ、そうだな」と。自ら望んで得たものだし受け入れた、これでラクになるんだと思っていると、自然にああいう顔になるんです。

今回のルドルフ役は、本当にプレッシャーを感じました。たくさんの上級生が演じてこられて、お客様にもイメージができていて、それを崩してはいけないけれど別の意味で崩したい。私にできるか心配なんです。それに私はお芝居が好きなんですけど、この作品では歌ですべてを語って行かなくてはならないので、うまく音に気持ちを乗せられるかなと思いました。実際苦労しました。演出の小池修二郎先生にも「芝居でなら全然問題ないんだけど」と言われたように、まず歌うことに必死になつてしまふんです。でも今回、歌で大きな壁にぶつかったことはよかった。音にうまく乗ると、乗ったぶんだけ大きな力が表現できると実感しました。毎日、この音程が違ったなと思つたら家で稽古してみたり、24時間ルドルフ三昧なんです。

今回、これまで以上の責任をひしひしと感じています。本公演でこれだけ比重の重い役は初めてで、写真がボスターに載った時点から恐かったです。上級生の中に入つて少人数で踊ったり、大階段を1人で降りたり、初めての経験がたくさんありました。今でも戸惑いはありますが、上級生にアドバイスして頂いたりしてなんとかやっています。でもこの素晴らしい作品で少しでも成長したので、今回ルドルフ役をさせていだいたことに感謝しています。

Kaname Onuki

おうきかなめ宝塚雪組。神奈川県出身、乙女座、A型。00年「源氏物語 あさきゆめみし」で初舞台、のち雪組に配属。長身の二枚目男役として注目される。03年パウホール公演「アメリカン・バイ」で大きな役が付き、以後、04年「スサノオ」、05年「青い鳥を捜して」、で新人公演の主要な役を演じ、同年「露のミラノ」で新人公演初主演。また05年パウ・ワークショップ「さすらいの果てに」の準主役もつとめた。06年にはパウホール「Young Bloods!!〜魔夏の吹雪」で初主演。「随天使の涙」で新人公演2度目の主演。07年の水夏希プレお披露目の中日劇場公演「星影の人」では桂小五郎役で活躍するなど、進境いちじるしい若手男役。

次回予定◇雪組公演「エリザベート」7/6
〜8/12◎東京宝塚劇場



凰稀かなめ



公演情報

FielDS. presents
『すけだち』

8/5～14◎新宿コマ劇場
脚本◎劇団鹿殺し(丸尾丸一郎・葉月ちよび)
演出◎岡村俊一 音楽◎つくみぎ 出演◎寛
利夫 松浦亜弥 北村有起哉 宮川大輔 富岡寛
一郎 森山栄治 大川栄悟 時東あみ 他
お問い合わせ:オデッセー 03-3560-3930(平
日11:00～18:00)/ネルケプランニング
03-5469-5280(平日11:00～18:00)



全員が独り立ちした上での”団体戦“

☑深い部分を想像力で見せる

お二人は初共演になりますね。

寛 そうですね。僕が司会をやっている番組に、松浦さんにゲストで出ていただいたことはありましたが、共演は初めてです。

松浦 私は今回は寛さんに付いて行こうと思っています。役者の太先輩ですから、いろいろ勉強させていただくかなと。

寛 僕は松浦さんはできる人だと思っているので、あまり心配してないんです。今回の芝居は歌も重要なポイントでして、歌に関しては松浦さんのほうがプロなので、僕は逆に勉強させてもらおうかなと思っています。やっぱりアイドルとして何ステージもやっている方の、居方、つていうのは、すごいんですよ。なんかこう特別なものがありまして、なんとかそれを自分のなかにも採り入れたいですね。別にこれからアイドルやるわけじゃないんですけど(笑)。

松浦 それはたぶんファンから学んだものなんです。ファンの人たちがそういう空気を作ってくれるんですよ。実際にステージに立って発見したことがたくさんあります。今回はもちろんコンサートとは客層も全然違うと思いますけど、やっぱり客席の空気を感じていきたいなと思っています。

寛 実は、音楽を担当されるつくみぎさんに、最後に僕と松浦さんとのデュエットを入れてほしいとリクエストしたんです(笑)。物語の最後で、みんなでワッツと盛り上がるのが夢で。でも、いたいた台本を読んだら、どうやら今のところデュエットはなさそうでした(笑)。カーテンコールでもできればいいですけどね。

寛利夫と松浦亜弥。全く違う分野で活躍する二人が共演する舞台『すけだち』は、劇団鹿殺しによる壮大なスケールの物語と、つくみぎが担当する音楽で、歌ありアクションありの一大エンターテインメント作品になりそう。本番に先立って行われた制作発表では、華やかな立ち回りを披露した二人。真夏にふさわしい、パワフルで熱い舞台になりそうだ。

☑個人が先にあるチーム

松浦さんが演じられる役はアイドルで、寛さんが演じられる役は役者。ご自身と重なりませんか。

寛 僕は当然役者の気持ちはわかりますよね(笑)。松浦さんもアイドルの気持ちはよくわかるよね?

松浦 そうですね。やりやすいと言えばやりやすいんですけど……。

寛 ということは演技はなくていいんだ(笑)。松浦さんは鎖録の練習だけすればいいんじゃないかな(笑)。

松浦 あはは。鎖録は……普段あいつたちの振り回すことがないので(笑)。私もどうしようかな、という感じではあるんですけど。でも映画と違って編集はできないので、やっぱりたくさん練習が必要かなと思いますね。それと、私の役はアイドルではあるんですが、いろいろな悩みを抱えているという設定で、深い心情を表現しなければならぬんです。でも私自身はわりと悩みがないので(笑)、いろいろな人に話を聞いたり、

そういうリサーチは必要だな、と思いました。

松浦さんは舞台は4本目になりますが、舞台の魅力はどこなところだと思いますか?

松浦 歌の場合はつくみぎさんからいただいた詞を、自分なりにのみ込んで解釈して、自分自身の気持ちを自分の声で伝えるんです。松浦亜弥がこう思う、というふうな。でも舞台では、自分の気持ちを入れるというよりも、松浦亜弥ではない人間になる、というスウィッチの切り替えが重要になるのかなと。そういうふうには、自分とは別の人間になれる、ということが魅力かなと思っています。

ほかの共演者の方たちも、様々なジャンルの方が揃いましたね。

松浦 今回初めてご一緒させていただく方も多いんですが、和気あいあいとできればいいなと思います。それと、私は関西人なので、宮川(大輔)さんにつられて関西弁が移らないように気を付けないといけない。相手が関西弁だと、自分もそうなるので。だから私のなかで宮川さんはちょっと敵なんです(笑)。

寛 みんないろいろなことがわかってる人たちがすね。だから今回は全員が独り立ちしている感じがなるんじゃないかな。お芝居というのは団体戦なんですよ。団体戦の上に個人プレイがあるというよりは、団体戦がよくわかった上での個人プレイの芝居になるんじゃないかと思っています。なんでもそうですけど、個人プレイがないと面白くないですよ。やっぱり、個人が先にあつて、でも二人が団体戦のことをすごくよくわかっているという、そういうチームになるんじゃないかなと僕は予想しています。

松浦亜弥

まつうあや◎86年生まれ、兵庫県出身。01年に『ドッキドキ! LOVEメール』で歌手デビュー。以降ヒット曲を連発し、トップアイドルとして数多くのテレビ番組に出演するほか、コンサートツアーも頻繁に行っている。女優としての活動にも積極的で、映画『スケバン刑事 コードネーム=麻宮サキ』では主演を務めた。舞台は『草原の人』『リアルオーディション!!』『リボンの騎士 ザミュージカル』に出演している。

寛利夫

かへいとし◎62年生まれ、静岡県出身。85年に劇団第三舞台に入団し、看板俳優として人気を集めた。また、『新・幕末純情伝』『飛龍伝』などのつかこうへい作品にも出演し、高い評価を得る。また、『踊る大捜査線THE MOVIE』『容疑者 室井慎次』などの映画や、テレビドラマにも多数出演。04年にはミュージカル『ミス・サイゴン』へ出演したり、05年にはユニット『Team ARAGOTO』を旗揚げし、『エビ大王』を上演するなど、活躍の場を広げている。

脚本担当「劇団鹿殺し」の意気込み

↓丸尾丸一郎

最初に脚本のお話をいただいたときは、本当に僕等でないの?って素直に思いましたね。でも依頼してくださった方々が皆さん、今年1月の劇団鹿殺しの公演『僕を愛して』を観に来てくださっていた事を知り、東京で素敵な街だなぁと思いました。

脚本を書くにあたっては、いただいた設定が宇宙だったということもあり、大きなスケールでエンターテインメント性の高い物語を描くことを意識しました。でも鹿殺しのアタリはちゃんと残したくて、観客の胸にぐり込むような作品を、最初から決めています。いい意味で期待を裏切れる作品が書きたくて、キャストはあえて意識しませんでしたね。

↓葉月ちよび

トップアイドル神崎ひかると売れない時代劇俳優中実信之助。彼らが地球から何万光年離れた宇宙に好きの星「アイドルメダ」で救世主となつて活躍します。見守る僕ヒロになる。ですが、ヒロになる覚悟が出来ない弱い二人の姿と物語の裏に隠れている現代の人間の憂鬱。みえない部分を感じてもらいた。劇場を出た後、新宿の街が今以上に汚れて見えて何かさわさわと違和感を覚えるような作品です。



松浦亜弥

寛利夫

—このお話は、ホラーもの……ではないんですよ？

佐藤 全くホラーじゃないですね。ひとつの生物みたいな感じで幽霊を捉えているようなお芝居です。

福島 幽霊とか出てきて怖い、っていうよりは、幽霊だって「生懸命、生きてる人と同じように頑張ってるんだぞ、っていうようなお話ですよ。怖くないよ幽霊は、みたいな。……そんなメッセーじじゃないね(笑)。

佐藤 はははは！ そうですね。

福島 でも、チラシの撮影をしたことが、実際凄くスタジオなんだよね。都内某所なんですけど、ほんとに幽霊さんがお住みになっている。おそろくこのチラシにも念が……(笑)。

年代の古い家具を集めてる家で、家具自体に宿ってるんですって。行くだけで楽しいですよ、ものすごく。古い写真とかあつて、オーナーのかたが普通に「あ、この人がいるんですよ」とか言ってますよ(笑)。

佐藤 現場でそれ聞いたら帰るとこだった(笑)。大ッ嫌いなんですよ、俺、怪談。

—え！ そうなんですか？ なんて幽霊の話を書いたんですか？

佐藤 だからもうひとつの生物として書いたんです(笑)。

福島 オーナーさんは元々そこに住んでたみたいで……(しばらく「コワイ話が続く悪い霊ではないので。でも、このお芝居にちよとした因縁のあるような感じですね。

福島 幽霊はやっぱ怖いのは当たり前なんですけど、オーナーさんの話を聞いてると、確かに実際にいて、いろんなことを考えてるんだろ、うなづいてイメージは湧きますよね。キリスト教系の法王が座つてた椅子があるんですけど、オーナーさんのお友達が遊びに来た時に、女性のかたがストックキングを直すのにその椅子に足をかけて直したら、そのかたに不幸が起つたらしいんです。だから、まだそこにいらつしやるんですよ(笑)。

佐藤 幽霊であるっていうこと自体が、何か思い残したことがあるみたいな、そんなイメージで書いたんです。どちかついて、生きる人の感覚ですね。

福島 息絶えたところから成仏するまでの猶予期間の、この人たちの葛藤のお話みたいなことですね。そういう設定だからこそ、なおさら気持ちの面では、誰が見てもわかるようなところで作つていった「面白いんじゃないかな」と思いますね。実際そういうことを佐藤くんが書いてくれたんで……うて言いつつこんな悩み、人間は持つてねえよ、つていう(笑)。

佐藤 うわあ、怖いっすね(笑)。あと、僕がSF大好きなのでそつちの要素もばりつぱり入ってます。主軸とまでは言いませんけど。幽霊であることの怖さなんていうのは微塵も出てきません！

福島 逆に、幽霊であることのおもしろさについていね。こんな奴まで幽霊になっちゃったのかよ、つていうつな。

—この出演者の顔ぶれも、「コメディのお芝居では新鮮な感じがします。

佐藤 すごくいい布陣だなって思ってますよね。

福島 役者さんみんな、真面目なお芝居をずっとされてたような方々ですけど、「コメディや不条理劇も十分経験がある方たちなので大丈夫だと思ってます。野仲(イサオ)さんなんか、普段、ブライベートが不条理なん(笑)。多分セリフの意味がわからないと言つ前に、この人がわからないつていう(笑)。

佐藤 みなさん言うんですよ、野仲さんについて(笑)。

福島 今回、新劇とかをやつてた人たちが佐藤くんの書いたセリフを読んだらどうなるか、つていうところは、すごい楽しみなんです。そこにはすごく、化学反応があるんじゃないかなと思つてます。

佐藤 自分で書いて、こはギャグシーンだらうつていうところとそうでないシーンがあるんだけど、舞台に立つてみると、会話の間とか動きて、笑いを取るシーンじゃないところで笑いが生まれたりすることすごく連続してあるんですよ。そういうところが楽しい演技してておもしろいところですよ。

福島 逆に、ギャグシーンで笑いがない場合もあるもんね(笑)。

佐藤 ありますね！ 渾身なのに「あれ？ サラッ」と行つたつていう。

福島 ね。そつちのほうは怖いよね。

佐藤 怖いっすね(笑)。

CLOSE-UP STAGE

この夏、コワ〜イはナシ

去年の舞台『びっくり箱―姉妹編―』で、演出家と俳優として出会った二人が、この夏は脚本家&俳優、演出家として再びタッグを組む。

TEAM NACS が新たに挑むチャレンジとして企画された「SOLO PROJECT」第二弾は、NACS 9th stage の『ミハル』で作・演出を担当した佐藤重幸の書き下ろし新作。

奇想天外ドタバタコメディと銘打たれたこの作品、夏に幽霊が出てくるけどコワくはないそうで……だけど対談は何だかコワイ話に!?

さとうしげゆき○73年生まれ、北海道出身。北海学園大学演劇研究会の仲間と演劇ユニット「TEAM NACS」を結成。最近では連続ドラマ「リトルの涙」「サブリ」(共にCX系)にレギュラー出演。舞台「びっくり箱―姉妹編―」に客演するなど幅広く活躍。

活動予定○映画「Little DJ〜小さな恋の物語〜」(監督/永田琴)今冬全国公開予定

佐藤重幸 × 福島三郎

公演情報

TEAM NACS SOLO PROJECT
『GH00000ST!!』



脚本○佐藤重幸
演出○福島三郎
出演○大河内浩 二瓶鮎一 野仲イサオ
宮尾琢良 佐藤重幸 加藤たか子
8/11〜21◎紀伊國屋サザンシアター、
8/25〜30◎札幌・道新ホール

ふくしまさぶろう○69年生まれ、岡山県出身。東京サンシャインボーイズ演出補を経て、劇団解散後は自身のユニット「泪目銀座」を主宰。近年では「しあわせのつば」(「ゴルフ・ミュージカル」などプロデュース公演での演出作品も多数。



岸谷五朗 × 北村一輝

観客が入ることで初めて100になる

歌ありダンスあり笑いありの、あらゆるエンターテインメント要素がぎっしり詰まった地球ゴージャスの舞台。前作『HUMANITY』では新宿コマ劇場をフルに生かし、誰もが楽しめるエンターテインメント作品を作り上げた。今回は地球ゴージャス初参加となる北村一輝を迎え、大人のファンタジーに挑むという。

☑オシャレなエンターテインメント

北村さんは今回、地球ゴージャス初参加となります。

北村 お話をいただいたときは嬉しかったです。去年『HUMANITY』を観たら、すごく面白くて。僕はもともエンターテインメント性の高い舞台が好きなので、ツボだったんです。それで観終った後、楽屋に行くと、五朗さんに「すごく面白かったです。いつか機会があったら呼んでくださいな」と言ったら、すぐ呼んでくれて(笑)。

岸谷 一輝は芝居に対して貪欲な男だな、と思います。たぶん芝居がすごく好きで、なんでもやってみようという欲求があるんだらうな。しかもそれにチャレンジできる自分、というものをちゃんと作ってる。特に舞台をやるためには、普段からそのための肉体も作っていないといけないから、だから一輝だったら、稽古場で努力して役を作り上げていくという作業も、苦じゃないだろうなと思います。

北村 五朗さんには、最初にドラマで共演させていただいた頃から、いろいろ教えていただいている。それが今の自分に直接的に役に立っているんだ。そういう意味では、学ぶべきところがたくさんある方ですし、一緒に過ごさせていただくのは楽しみです。

今回の『ささやき色のあの日たち』は、大人の男女のためのファンタジー、ということですが、具体的にどのような作品になりそうですか？

岸谷 どこかわからない空間のなかで出会った男二人が、それぞれを生きるうち、そこに自分の過去の女や仲間が出てきて、その時間に引き戻されたりする……というような内容

なんですけど、もちろん歌や踊りも入れて、全部エンターテインメントで見せます。ひょっとしたら『HUMANITY』よりもオシャレなエンターテインメントになるかもしれない。児童からお年寄りまで楽しめる……というよりも、どちらかと言うと俺たちと同世代くらいの、今一番働き盛りの人たちに向けた芝居かな、と思います。

☑違う一面を引き出す

その主人公の男二人を、お二人が演じられるわけですが、どんなキャラクターになりそうですか？

岸谷 二人は「おまえ」「あんた」と呼び合う他人なんだけど、ある瞬間に、相手のことが、自分が成し得なかったことをやってくれるもう一人の自分に見えてきたりする。二人は違う人間だけど、非常に似ているからその空間で出会った、というのがあつて。そんな二人だから、俺と一輝の役を入れ替えても面白いんじゃないかな。マチネで俺がやった役を、ソフレでは一輝がやって、とか。でも稽古時間が倍かかってしまうので、やらないけど(笑)。一輝の役は、当て書きというか、俺が見た北村一輝というのを書いてます。たぶん誰も見たことのない北村一輝が見られると思いますよ。

北村 他人が見ると全然僕のイメージとは違うと思うかもしれませんが、やっぱり人は誰でもいろんな面があると思うので、違う面を引き出したいだけなのであれば、それは精一杯出していききたいですね。僕は俳優という仕事は、ある意味コマだと思ってるんです。たとえば演出家なり監督なりに、赤、という色を与えられたとしたら、それを自分がどんな赤色にするか、どう

やって相手の期待以上のものを返すか、ということかな。そういう小さいことでも、関わっているように準備しておけばいいかなと思います。あまりやる前から、台詞の言い方や動きなどを自分で固めることもないかな。気負わず、リラックスできるような状態に持っていきたいと思っています。

☑稽古場の面白さ

お二人は映画やテレビでも活躍されていますが、舞台ならではの魅力はどんなところだと思いますか？

北村 舞台の魅力というと、よく「ライブ感」とか「お客さんの反応」というのがあると思うんですけど、僕的にはそういうことよりも、稽古が充分できるということが魅力なんです。台本をもったらすぐにバツとやらなければならぬ映像と違って、みっちり作っていくというのがすごく楽しくて、稽古場で作ったり考えたりする過程がすごく好きです。そういう期間は、たぶん何ヶ

月あつてもいいと思うし、使うようにするのはいいけど、アイディアを練られると思うんです。

岸谷 そうだね。俺も今一輝が言ったことと同じかな。稽古場っていうのは本当に苦しいんだけど、一番いろんなものをぶつけられる場所だし、一番緊張する場所でもあるんだよね。ほかの俳優やスタッフがいるところで立ち稽古をするときって、本番より緊張することもある。本番は対お客さんなんだけど、稽古中は自分のなかのものと闘いだったり、ほかの俳優たちとの闘いだたりするから。本番では、お客さんがいなくても、共通の敵になるんですよ。これは実は、舞台を作る要素の70%くらいが、俺たち、やる側にあるとすれば、残りの30%はお客さんが作ってくれるものだから。そこで初めて100になる。そうすると、お客さんがいない稽古場でどんなに頑張ったって、絶対に100にはならないんだ。でもだからこそ、そのなかで必死にもがく稽古場というのは、実に面白い。苦しく、辛く、面白いんだよね。

【北村一輝】衣裳協力◇ノー
ツ キョウジ マルヤマ、Ennio
Capasa Jor CoSTOME
NATIONAL HOMME, GREEN
GRASS, AKIZ原宿店
【岸谷五朗】衣裳協力◇
BOSS Orange / 時計 262
万5000円(ビエール・クンツ)
お問い合わせ:ビエール・クンツ
03-3400-5717

北村一輝

きたむらかずき○69年生まれ、大阪府出身。映画やテレビドラマなどで幅広く活躍するほか、舞台出演にも積極的で、今年3月には徳川幸雄演出作品『恋の骨折り損』で主役を務めた。99年に出演した映画『新月』『日本黒社会 LEY LINES』では、キネマ旬報・日本映画新人男優賞、ニフティ映画祭助演男優賞などを受賞した。近年の主な出演作品に、映画『龍が如く 劇場版』『大奥』、テレビドラマ『ハンビーン』などがある。

岸谷五朗

きたにごろう○64年生まれ、東京都出身。93年に映画『月はどっちに出ている』で主役に抜擢され、以後数多くの映画やテレビドラマに出演。94年に寺脇康文とともに『地球ゴージャス』を結成し、演劇活動を行っている。近年の主な出演作品に、映画『龍が如く 劇場版』『パッテリ』、テレビドラマ『愛の流刑地』などがある。映画『西遊記』が7/14公開、『クロース ZERO』が秋公開予定。

公演情報

地球ゴージャス
プロデュース公演Vol.9
『ささやき色の
あの日たち』



8/5~26◎Bunkamuraシアターコクーン、8/30
~9/3◎イオン化粧品 シアターBRAVA!、9/8-9
◎リム&びあ(新潟市民芸術文化会館・劇場)、
9/22~24◎愛知県勤労会館
作・演出・出演◇岸谷五朗 出演◇北村一輝
山口紗弥加 須藤理彩 岡千絵 日永沙絵子 叶
千佳 能見達也 熱海将人 SHUN KYOHEI
お問い合わせ:地球ゴージャスFC 03-5457-3485
(平日15:00~18:30)

井上芳雄



待望の井上ひさし世界に取り組む

この夏注目の一大プロジェクト『ロマンス』は、こまつ座とシス・カンパニーの強力タッグとあって、キャストの豪華な顔ぶれが話題だ。そのなかで初々しさと若者らしい新鮮さを持ち込んでいるのが、井上芳雄。ミュージカル界の王子が、初めて取り組む井上ひさし世界、その興味と抱負を聞く。

✔憧れだったこまつ座

まず、この作品に出演することになった時の感想を。

お話が来たと言うより、実は自分からこまつ座さんにぜひ出してほしいと前から言っていたんです。3年くらい前に「兄おとうと」を初めて観て、紀伊國屋ホールかな。それがすごく面白かった。こんなに面白い芝居があるんだって思ってた。それからほとんど全部こまつ座作品は観ています。それに蛭川幸雄さんや木村光さんの演出される井上ひさしさんの作品ももちろん観ています。

芳雄さんにとって、どこが面白いかったんですか？
まず音楽劇だということは大きいですね。なんて素敵に音楽が入ってくるのだらうと。ミュージカルでも音楽の入るタイミングとか難しいのに、井上作品は使い方がうまいんですよ。しかも既成の曲、耳なじみのあるものを詞を変えたりして、みんなで歌うという設定とかで歌うから、本当に無理のない、でもそのときの登場人物の気持ちや投影されている、そういう形で、本当にうまく歌われているなと思ったんです。

歌を歌う場面がたしかに、ドラマを盛り上げますね。

それがなんとも心地よくて、やってみたいなんですって思っていて、こまつ座のかたに「出してください」とか、井上ひさしさんに劇場でお会いしたら直接言ったりとかしていたのですが、やっと今回、念願叶ったんですけど、まさかこんな豪華な公演になるとは思わなかったで、ちょっとびっくりしています。

こまつ座は段田さん、木場さん、それから大

竹さんも出られていますね。残りの3人のかたが確かにこまつ座らしくないよな。

僕としては紀伊國屋ホールで辻萬長さんと並ぶ日を、ひそかに楽しみにしていたんですが(笑)。それに、初めて日本人役だーと思っていたら、なんかロシア人かもしれない。また日本人役デビューをしそこねるのかなと。

井上ひさしさんのシノプシスでは、チエホフが主人公みたいですが、チエホフ作品は？

まるで縁がなかったし、全然観ていないんです。でもロシアが舞台の作品では、トルストイの『安娜・カレーナ』は出たことがあるのですが。

その経験で多少はロシアの空気みたいなものかわかりましたか？

ヨーロッパ的な洗練と、どこかアジア的な匂いが混じったようなところ。人間的にも激情というか、1か100かみたいな激しさがあるという気がしました。ヨーロッパとアジアの交差する場所であることが、気候がものすごく寒いというのも関係するのかな。そういう、僕が感じてるものがこの作品でも役に立ってほしいと思うのですが。

✔役者井上芳雄として

このなかで共演されたことがあるのは松たか子さんだけですか？

そうですね。「モーツァルト！」と「ミス・サイゴン」で相手役を。

松さんは稽古場でもとても熱心なかたですが、尊敬という同世代なのでもっと大げさですが、見ていて本当に参考になることが多いですね。取り組む姿勢が真っ直ぐで、集中力や求心力が強いので、こちらもし生半可な気持ちでは負

けてしまふという気がします。

ふだんの松さんのことも少し教えてくださいます。

飾らないし、もうちょっと飾ったほうがいいよな気もするくらいです。稽古場ではいつでも100%です。すごいなと思います。けつして失敗を恐れないですね。たとえば歌で、出にくい音とかあると、普通はちよつと引きながら歌ったりするの、松さんはとにかく押しまくるみたい。その強さはどこからくるんだと思いますよ。自分をさらけだせる。稽古場はそういうところだと思って実践しているんですね。

芳雄さんも、キャリアとともにきちんと成長していますよね。ミュージカルだけではなくストレートプレイも蛭川さんの「ハムレット」に出たり、さまざまにもまれて役者として変わってきたという自覚は、ご自分でもあるのでは？

そうですね。「ハムレット」の直後の『ミス・サイゴン』などは、すごく違ったなという感じは自分でも感じていました。でも掴んだと思っただけでなく、また掴みにいってはなくなってしまうことの繰り返しですね。その掴んだものが蓄積として残っているといふことは思うのですが。

作品現場が変わると、前回やったことは役に立たないものですか？

それはありますね。というか役に立たせないようにしています。自分はこれはできるからとか得意だからというのは極力思わないようにして。まったくな気持ちで臨むように。

その点、歌はこの現場にいつでも通用する武器ですよな？

でも、ただ歌があるからいいや、という風にはならないようにしたい。逃げにならないように。た

たとえばこの『ロマンス』の現場で、たいへんな状態になったとき「ま、俺は歌うからいいや」となってしまふかもしれない。でもそこを心の支えにしたい。たとえば歌がなくてもちゃんと1人の人物を演じられるように、というのが自分のなかの目標だから。自分には厳しい状況でも、条件はきついほうがいいなと思います。

歌は、うまいだけの表現では、聞いていてつまらぬときがありますからね。

正直いって、僕が一番感情をのせやすいのは、やっぱり歌なんです。でももちろんミュージカルも芝居ですから、芝居だと思って歌いますし、コンサートだってそうです。だから恐れいれどお芝居にちゃんと向き合いたい。相互作用というか、お芝居をやったらそれを歌に生かしたいと思うし、その逆もしかりだと思っています。

✔『ロマンス』に晴かれた新鮮な種として

それにしても、このメンバーはすごいですね。大竹しのぶさんは、普段お会いするとても穏やかなかたですが、稽古場でどう変わるのかを楽しみなんです。段田安則さんや生瀬勝久さんはボスター撮りで一緒にいたとき、まだ何をしゃべればいいのかよくわからなくて、あたかも「どこから来たんだ、この子は？」みたいな感じで(笑)。僕はあきらかに浮いてました。それからこまつ座常連の木場勝己さんを含め、とにかく皆さんの胸を借りるつもりでぶつかりたいなと。

並んでる写真を見ても、ミュージカルの人に来てる、感はあるけど、井上芳雄という役者の匂いがしてきたなど。

そうかというのですが、自分ではまだまだ浮いてるというか、威儀を正してアウェイに乗り込んで行くという感じは大切だし、来たからには何か自分なりのものを残して帰りたいとは思っているんです。

いい意味で芳雄さんが入ることで、ちよつと色変わりになるし、演技達者な私たちの豊かな土壌に時かれた新鮮な種みたいな感じになるかもしれないですね。

そうなることを信じてやりたいなと思いますね。

公演情報

こまつ座&シス・カンパニー『ロマンス』

8/3〜9/30◎世田谷パブリックシアター
作◎井上ひさし
演出◎栗山民也
出演◎大竹しのぶ 松たか子 段田安則
生瀬勝久 井上芳雄 木場勝己
お問い合わせ:こまつ座 03-3862-5941
シス・カンパニー 03-5423-5906



いのうえよしお◎79年生まれ、福岡県出身。00年『エリザベート』のルドルフで鮮烈にデビュー。以降『モーツァルト!』『ファンタスティックス』『シンデレラ・ストーリー』『ミス・サイゴン』『アンナ・カレーナ』『ミニ・アンド・マイ・ガール』『MA』などのミュージカルや、『ハロルドとモード』『パタフライはフリー』『ハムレット』などの朗読劇やストレートプレイで活躍中。今年は『ロマンス』のあと『モーツァルト!』。来年早々にはブロードウェイ・ミュージカル『ウェディング・シンガー』が待っている。

次回予定◎『ロマンス』

演出
劇モバイル

【脚本】宮藤官九郎
【主演】阿部サダヲ
【監督】水田伸生
【キャスト】堤真一 柴咲コウ



舞妓Haaaaan!!!

©2007「舞妓Haaaaan!!!」製作委員会

全国で絶賛公開中!!

主題歌

「お・ま・えローテンションガール」
(グループ魂に柴咲コウが)

の着信メロディを無料でプレゼント♪

さらにさらにグループ魂の

「嫁とロック」「東京メドレー」
「NO YOUNG TOO YOUNG」

の着信メロディも無料でドーンとプレゼント中♪

※ 7月末までの期間限定です!

まだゲットしてない人は今すぐこちらにアクセス!!

演出
劇モバイル

お手持ちの携帯電話から
カンタンアクセス!

iMenu→メニューリスト→音楽/映画/芸能
→タレント/芸能→演劇モバイル

EZトップメニュー→エンターテインメント
→芸能・アイドル→演劇モバイル

Yahoo!ケータイ→メニューリスト→芸能・映画・音楽→芸能・タレント→プロダクション・総合
→演劇モバイル

株式会社 ケイブ
cave http://www.cave.co.jp

※サービスのご利用には、利用料が含まれます。サービス利用料の他に別途チケット運賃がかかります。運賃料に
関しては、契約開始業者にお問い合わせください。口述・情報内容・料金・お申し込み方法等は、予告なく変更する
場合がございます。この広告中に掲載された企業・団体・サービス名およびそのロゴマークは、関連会社・団体の商標
または登録商標です。口述広告の写し、イラストおよび記事・情報内容の無断転載・複製、二次使用を禁止します。

3キャリア対応!
演劇モバイル用QRコード



カメラで読み取るだけで
簡単アクセス!
http://engeki.cave.co.jp

池田成志



ネタもの役者のマジメな戦略
このところ重厚でドラマティックな作品が続いた劇団☆新感線、
このまま演劇界の王道を一直線と思いきや、
3年ぶりにネタものに挑戦するという。
オバカなギャグ満載で、小ネタやツッコミに命をかけてこそ、
本来の新感線、本来のいのうえひでのり。
そしてそこに欠かせない役者といえばこの人、池田成志。
切れ味鋭いセリフに、悪くてずるくてアホなその存在感こそ、
まさにネタもの役者、基本中の基本キャラなのである。

CLOSE-UP STAGE

いけだなるし○62年生まれ、福岡県出身。82
年、早稲田大学在学中に第三舞台、山の手
事情社に参加。91年「熱海殺人事件」で人
気俳優に。以来、舞台、映画、テレビで活躍中。
舞台の最近作は「ワグネルと僕」など。テレビは古畑
任三郎シリーズや大河ドラマ、映画は「THE有
頂天ホテル」「探偵事務所5」など。演出家と
しても「ワンダッシュ」でデビュー、月影十番
勝負「愛の嵐」「約束」などがある。

次回予定◎「犬顔家の一族の陰謀」

たたりじゃ!と叫ぶ犬顔の恐ろしさと、タイ
トルのしつこさで、観る前からすでに既視感
たっぷりの「犬顔家の一族の陰謀」。それでもや
はりこの目で、ウソくさい横溝正史世界や、真
面目にアホをやってくれる新感線メンバーを見
られると思うと、ワクワクせずにはいられない。
そんなお楽しみ公演で、新感線の劇団員以
上に、必要欠くべからざるメンバーが、ナルシ
と池田成志。
「俺が呼ばれるのはネタものだけ。いのうえ
歌舞伎のほうは、なんたてて美しい世界です
かね」。
と、今回の客演も当然とうそぶき、やる気ま
んまん。すでに米海軍御用達のハードなエクサ
サイズDVDに取り組み、本番に備えていると
いう。
「ネタものは基本はまず大声ですね。ボケら
れたときに、おい!と大声をきちんと入れられ
ないと。それから、まだコケられるんだ、俺は。と
いう、体をつたコケをちゃんとできる体力」。
ハンサムな顔で大マジメに、ネタ戦での戦略を
語ってくれるナルシ。だが実際に、舞台上で華が
あつてセリフが立つて、小ワザも大ワザも、飛び
交うギャグもきっちり受け止め返してみせる、
本当に。出来る役者、なのだ。
早稲田の劇団に82年に入会だから、もう25
年近いキャリアになる。商業演劇、ミュージカル、
メジャーなプロデュース公演と、最近では忙しい
役者生活を送っているが、まだ落ち着きたくな
いという意識に揺り動かされて、若手の芝居小
屋にも足を運ぶ。
「この間、すごくセンシティブな芝居を観て
感動したんですが、僕らの時代とは違う若手の
芝居に出会うと、あいうのもやってみたいな
と思わされる。それに、自分のテリトリミたいな
ものを無意識に決めていたことにも気づかされ
る。予断を持って生きたくないですね。発見で
きてない面白い芝居も、まだ見たことのない池
田成志もあるはずだから」。
3年前の長塚圭史作品「はたらくおとこ」
や、古田新太や生瀬勝久とチームを組んだ「鈍
獣」などは、この人らしい真骨頂で、タフな
生命力と、かもしだす毒が印象的だった。そん
な、役者の業、とでもいうような色気を、もつと

公演情報

劇団☆新感線2007年夏休みチャンピオン祭り
『犬顔家の一族の陰謀
〜金田真一耕助之介の事件です。ノート』

7/14〜8/4のイオン化粧品シアターBRAVA!

8/11〜9/9のサンシャイン劇場

作・演出のいのうえひでのり

出演◎古田新太 宮藤官九郎 勝地涼 橋本じゅん 高田聖子

小松和重 栗根まこと 他劇団☆新感線/池田成志 木野花

お問い合わせ:キョードーチケットセンター06-6233-8888

サンライズプロモーション東京0570-00-3337



表に出してほしい気がする。
「業、ですが、確かにここまで続けてるわけ
ですから業はありますよ。20年以上やってい
ると、舞台に立ち続けることの大事さもわか
るし、自分のことも見えてくる。だからこそ、これ
からもちろんなんかことをしていきたいと思っ
た。ないといけないうちの年齢に達している」。
役者としてのシブアナ顔で語ったあと、再び
「犬顔家の一族の陰謀」に話が戻ると、
「楽しい家共演者ですか? もちろん木野花
さんです。困ったことにキレイに出たがるんで
すよね! 違うでして言うてるのに。不器用
な方ですけど、稽古前のゲームとか絶対で
きない。でも本人は納得しないでクソツツてが
んばるし、興奮するし。とにかく空前絶後の面白
さです」。
愛を込めて木野花いじりを語る、ネタもの役
者ナルシ。その魅力を、まずはこの公演で存分
に楽しませてもらう。

黒デント
アクトワークショッ
毎年恒例！
夏期ワークショップ
今年も歌いましょう！

あなたの好きなうたには
あなたの物語があります
聞かせてください
あなたの好きなうた
他人の好きなうた
みんなの好きなうた
いろいろ好きなうた
汗かいてうたいましょう

歌好きの方、芝居好きの方、
カラオケ好きの方、大歓迎です。
年齢、経験を問わず広く一般からの
応募をお待ちしています。

発声や歌の稽古、芝居作りの
ワークショップ、即興劇の稽古、を通して
最終日には1つの作品として発表します。

もりだくさんの5日間。
打ち上げ有り！

8月8日～12日 10時～16時(予定)
※最終日は発表のあと、パーティーがあります。

受講料 ¥35,000
※定員になり次第締め切らせていただきます。

どんな歌でも
かまいません。
あなたの大好きな
歌の思い出を
思い入れを
教えて下さい。
それをもとに皆で
歌のものがたりを
つくりましょう。

スタッフ
責任者：斎藤晴彦
担当者：宮崎恵治
坂口瑞穂
平田三奈子
森智恵子
伊達由佳里
ピアノ：住友郁治

ミュージカル・ミゼラブルや
ミュージカルなど、大劇場でも活躍中の

斎藤晴彦

黒デント
アクトワークショッ
〒162-0832 新宿区岩戸町7番地
(都営大江戸線「牛込站南口」駅下車徒歩2分)
TEL 03-5225-3634
http://www.ne.jp/asahi/kurotent/tokyo/aw/

シバ伊のミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品
を観た感動を色んな人に伝えたいと思っている演劇好きのあなた、ご応募お待ち
しております！尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(200字以内)、④公演ク
レジット、⑤投稿者のお名前・ご住所・お電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付け
ております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じ
かねますのでご了承下さいませ。

▶▶応募先
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F
㈱演劇ぶっく社 シバ伊のミカタ投稿レポート係
E-mail: info@enbu.co.jp

『本社イチマル』

スクエア



働くのって大変、だから面白い

車が足りない！人が足りない！さらに方向音痴の専務は
大阪迷走中！……と、小さな引越センターのトラブル続
きな1日を追ったコメディ。作家の森澤は実際に引越業
界に勤めていたそうで、そのため配車テクニックや料
金のカラクリなど、ドキュメンタリーに迫るほどリアルな話
がバンバン出る。いわばこれは「警察24時」ならぬ「引
越業界24時」。それでも変に劇的にならず「汗水垂らし
て働くのって、やっぱ気持ちいいよね」とほのかに前
向きな気分にさせてくれるのが、スクエアの面目躍如と
いったところです。(吉永)

作・演出○森澤匡晴 脚色・演出○上田一軒 脚色・演出○寄須前 出
演○北村中 阪本晃俊(未来探偵社) 金替康博(MONO) 岡部尚子(空席) 小
牧芳宏(激震) 金本健吾(WANDERING PARTY) 伊藤入風(フランドマ/声
の出演) 5/24～26日ツッパホール
次回予定○スクエア「つるつる」11/9～11日シアターグリーン、11/16～18
HEP HALL

『お願い放課後』

ハイバイ



やっぱり「志賀君」大活躍！

笑っても、はかなんでも、どっちも「当たり」なんだろうなあ
と思います。この物語の主人公・志賀君は、1年に3才ほど
歳をとってしまう奇病に悩む、18才の大学生。故に見た
目は54才。この先、志賀君がどんだけの苦悩と絶望を背
負って生きていくのかは容易に想像出来る。でも、おじさ
んにしか見えない18才が、恋やらサークル活動やら(演
劇サークル)にいそしみ、ムカッとなったリドキドキしたりす
る姿は、不器用ながら「若者」とやらを営んできた自分には、
妙に可笑しく見えてしる。とりあえず、志賀廣太郎に18
才役を与えたコトが、とてもファンシーですよ。(園田)

作・演出○岩井秀人 演出○市賀廣太郎(青年団) 猪股俊明 吉瀬寛治(青年
団) 金子岳彦 石橋亜希子(青年団) 島林堂(銀鈴玉) 星野秀介(山上パル)
永井若菜 5/24～6/3日こまばアゴラ劇場
次回予定○ハイバイ「おんぼん お前の自意識は小劇場に振りがなくなるんだ おんぼ
ん(再演)」○兄弟弟(プレビュー公演)11/24～8/5日アトリエコプロター

『本当にあったイカ臭い話』

劇団ゴキブリコンピナート展



撮影○青木司

ゴキコンでしか、
出来ない、やらない、観られない

今作は画廊を借り切って開催した展覧会。まず、暗い場
内を蠟燭片手に進んで行くと、いきなり誰だかに絡まれ
蠟燭の火を消され、そのまま誰だかに手を引かれ真っ暗
な通路を進み、止まれと言われた場所で首に縄をかけら
れ、芝居が始まるまで待つ……というもの。その後、妙に
真剣かつくだらない本編があり、最後に「水に～ありがと
う～♪」という歌と一緒に歌わせられて終演。これがどう
して人の心を驚嘆みにするのか分からないのだが、とて
も満足し、水に感謝しながら銀座を後にした自分がいた。
こんな気持ち、ゴキコンでしか味わえない。(園田)

作・演出○Dr.エクアドル 演出○納言 松本晴 油絵博士 死ガ死ね 若人あ
きこ 本間幸子 5/21～26日ヴァニラ画廊
次回予定○ゴキブリコンピナート第22回公演「my life as a punishment-
game」7/20～22日本場公園特設会場

『H・アール・カオス ダンス公演』

ドロップ・デッド・カオス



撮影○松山悦子

身体の先の“生と死”

毎回、高いレベルの身体表現や考え抜かれた美意識
で、独自の世界を構築するカオスの世界。今回は、珍し
く男性ダンサー2人が加わったが、改めてカオス的な表
現の揺るぎのなさ確かめることになった。それはとくに
新上裕也が白河直子と踊る場面に顕著だったのだが、
彼と白河は、よりモノセクシュアルな存在へと純化され
ていく。そして身体の先の生命そのものの媒介者とし
て、何度も死を生きるのだ。オープニングの鉄線がぶら
下がる装置とともに、生命の痛みが、一際観るものに
突き刺さる、優れた公演だった。(楢原)

構成・演出・振付○大島早紀子 演出○白河直子 新上裕也 群 木
戸紫乃 小林史佳 斎木香里 長内裕美 横山博子
5/24～27日○世田谷パブリックシアター

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。
全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、
面白い芝居をたくさん観たい！このコーナーでは、
本誌編集部員＆ライターが観た「面白かった！」芝居をご紹介します！

『ぬけがら』

文学座



撮影○飯田研紀

父親の“ぬけがら”たちが語る言葉

84歳で認知症の父親が、ある日「脱皮」し、20歳若返る。
その後も毎日脱皮を繰り返し、50代、40代、30代、20代
と、どんどん若返っていく……。父親の介護をしていた
42歳の息子は、若返っていく父親を、戸惑いながらも受
け入れていく。若返った父親と息子のやりとりは、笑いの
連続。しかしそこで語られる父親の過去が、息子に自分
の人生を見つめ直させる。ラストでは、失業、離婚、と
いう問題を抱えていた息子が、しっかりと己の人生を乗
り切るうとする。ハッピーエンドではないのに、観ていて
温かい。(渡辺)

作○佃典彦 演出○松本祐子 演出○飯沼弘 鶴澤秀行 関澤雄
高橋克明 若松泰弘 佐藤淳 柳橋朋典 山本祐子 奥山美代子 太田
志津香 添田園子
5/8～17日○紀伊國屋 サザンシアター
次回予定○日生劇場・文学座「若草物語」8/17～19日日生劇場

『軍鶏307 ……戦ウ鶏達ノ物語……』

劇団枝数童子



撮影○浅香真吾

生きることが戦いだ！

戦後間もない日本。体も心も深く傷つけられたが、様々
な事情で病院にかかるあてのない女性達。そんな彼女
らを受け入れる病院には、周囲からの侮蔑の視線が突
き刺さる……。劇団枝数童子の新作は、色々な人々
の色々な“戦い”をじっくりと描いた作品だ。仮に、世
の中が戦いばかりだとして、男も女も平等に戦わなければ
ならないとして、だからこそ、多様な戦い方があるんです
よね。「生きる為なら敗北も辞すぞ」「嘲笑されたら高らかに
笑い返せ」……。大切なコトを見極めた時、人は戦う
意思を心に宿すのでしょうか。(園田)

作○サジキウジ 演出○東真司 美術○鹿戸 演出○原口健太郎 稲葉龍
龍 池下重太 島原勝行 小野源次郎 川田浩一 鈴木めぐみ 外山博美 川原洋
子 山本あさみ もりえ 松本しやこ 新井結香 中井理恵 板垣穂子
5/20～27日○鈴木興産株式会社 2号倉庫内特設劇場
次回予定○劇団枝数童子 再演二作品連続上演「博多湾岸台風小僧」1/シャ
ン・映画館 11/11日○吉祥寺シアター

『マトリョーシカ地獄』

クロムモリブデン



撮影○安藤青太

妄想発狂、岩をも通す!?

午前3時に起こる「妄想のループ」を見具化したような今
作。主人公は万引きで捕まってしまった女性客、そして、
それを捕まえた、彼女に想いを寄せる男性店員。店の控
え室で黙り込む2人の頭の中は既に妄想で一杯！「どう
したら見逃してもらえる?」「どうしたら彼女と親しくなる?」。
更に妄想はエスカレートし、ついに自分の分身キャラ
(別人格)がどんどん登場して……。最終的に万引き
と関係ないオチがついて終演というバカバカしさも含め
て、突き抜けた妄想がいつしか快感に。(園田)

作・演出○青木秀樹 演出○森下流 金沢涼恵 板倉ヒロ 重実百
合 奥田フレタ 木村美月 久保貴太郎 渡邊とかげ 板橋善吉之介
4/19～5/1日○サンモールスタジオ、5/11～15日in→dependent
theatre 2nd
次回予定○クロムモリブデン「テキサスズ別機(仮)」12/13～18日in
→dependent theatre 2nd、12/28～08/18日下北沢 駅前劇場

『トライアウト』

jorro



撮影○曳野若菜

新しい“リアリティ”

飲み屋に集う若者たち。軽いノリで会話が交わされる
様を観ているうちに、いつしか自分も彼らと同じ場所に
いるかのような気持ちになってくる。結婚した男女を祝
うパーティーの場面は盛り上がり、観ているこちらもち
楽しい気分になる。この作品の台本には台詞がないとい
う。あらずじとプロットのみを決め、それを展開できるよう
に俳優たちが考え、エピソードで作り上げていったらし
い。本番ではエピソードで作った動き、台詞はあるもの
の、俳優たちが自らの“役”として考え、行動する。俳優
一人一人が生き生きと存在し、緊張感のある空気を作
り出した。(渡辺)

構成・演出○富田熱史 演出○嵐坂圭一郎 新田めぐみ 小野 佐々木保 河西
裕介(国分寺大人倶楽部) 林弥生 米村亮太郎(ボツドール) 眞尾英彰 廣野未
樹(ハラボロシヤングリヲ) 石澤彩美 岩瀬亮 西島玄 美能智昭 畑雄二
5/10～14日○王子小劇場
次回予定○jorro Mirror 10/4～8日王子小劇場

シバ伊
の
ミカタ

『回転する夜』

モダンスイマーズ



撮影○Yoshio Okamoto

現在と過去の往還で心の揺れを描く

主人公のノボルが、過去のある夜の出来事を振り返る
……という形で、現在と過去が往還する。素直に自分
の気持ちを周りに示すことのできないノボルは、本当は
父の会社で働きたかったのに、兄に会社を継がれてしま
う。「あのときああ言っていたら……」とノボルが考え
るたび、過去が変わっていく。何度か過去の場面が繰
り返されるうち、隠されていたことが明らかになる。兄を
激しく憎んでいたノボルだが、兄が抱える事情が明らか
になったとき、やっと自分の本心告白することができた。
わだかまりが溶け、外の世界に向けて一歩を踏み出す
ノボルの姿は、生き生きとしている。(渡辺)

作・演出○逢坂竜太 演出○古山重太郎 津村知年 小橋 西條義典 吉川
悦史 高田聖子 4/18～30日新宿THEATER/TOPS
次回予定○モダンスイマーズ MITAKA Next Selection「[楽園]」10/5～8日三
鷹市芸術文化センター 星のホール

『絢爛とか爛漫とか』

モダンボーイ版

赤坂 RED/THEATER プロデュース



撮影○沼尾哲平

“才能”という理不尽なもの

昭和初期に小説家を志す4人の男。デビュー第二作が
なかなか書けずに悩んでいる主人公・古賀のもとに、獵
奇的な小説を書きながらも実はマザコンの加藤、良家
の坊ちゃんなのに手慰みで風俗小説を書く泉、そして
呼吸をするように小説が書けてしまう“天才”の諸岡が
出入りする。小説への取り組み方も、生き様も、四者四
様。古賀は己の才能のなさを嘆き、諸岡に激しく嫉妬す
るが、諸岡は小説に一生をかける気はない。“才能”を
持っているのに違う道を進む者、持たずにそれに執着
する者。理不尽だが、現状を受け入れて自らの意思で前
に進むということが、なにより大切なのだ。(渡辺)

作○飯島早苗 演出○御堂ノ忠次 演出○(モダンボーイ版)土屋裕一 日比
大介 加藤晋 及川健一 (モダンボーイ版)沢村くろみ 野口かおる 菅野子 中谷
さとし 5/8～23日赤坂 RED/THEATER
次回予定○赤坂 RED/THEATER プロデュース vol.2 真心一座 身も心も「流
れ姉妹〜セザンヌのハンティング」10/5～21日赤坂 RED/THEATER

お芝居を始めたい!もっとうまくなりだい!

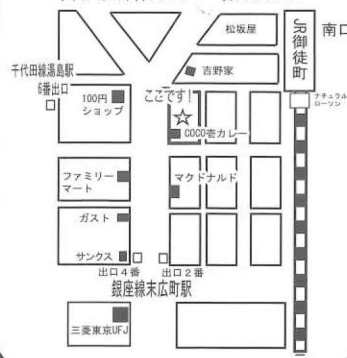
楽屋 ワークショップ

◆受講期間:6月~9月◆場所:末広町スタジオ(秋葉原)
◆料金:1ヶ月 ¥15,000 ◆公演実習費:¥15,000

無料体験有!!

★末広町スタジオ

千代田区外神田5-3-3 岩田ビル9F



お問い合わせ・お申込み 受付時間:平日11時~17時

TEL 03-3780-3882

株式会社キャビネット

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-13-2 萬全ビル2F

人気劇団の実力のある演出家がそれぞれの特徴をいかしたカリキュラムであなたの個性、実力を引き出します。初心者大歓迎。無料体験も開催中!

マルチタレントを目指す!
華麗なる殺陣師
堀口 達哉 クラス
(XYZ代表)
毎週火曜日
19:00~
7月開講!!

役者は声が大事!
ボイスマスター
玉井 聡 クラス
(元劇団四季)
毎週土曜日
19:00~
随時募集中!

表現力・対話力向上!
台詞のマスター
西森 英行 クラス
(InnocentSphere 主宰)
毎週水曜日
19:00~

間と表情と雰囲気学ぶ
雰囲気と自然な演技の匠
川口 俊和 クラス
(音速かたつむり 主宰)
毎週土曜日
12:00~
途中参加者募集中!

演技の基礎を一から!
演技と役者基礎のソムリエ
野坂 実 クラス
(クロカミショウネン18 主宰)
毎週月曜日
19:00~

キャラクターを活かす!
キャラクターの王様
笹木 彰人 クラス
(絶対王様 主宰)
毎週日曜日
15:30~19:00~
6月第7期スタート!

●パソコンや携帯からも情報がご覧頂けます!

<http://gakuya.ws/>



平成19年度文化庁芸術団体人材育成支援事業《個別団体等》

ロシア演劇の第一人者である、マールイ劇場演出家
ウラジーミル・ベイリス氏による演技術

マールイ・シアターズ ワークショップ

2007.8.3(金)~8.18(土) 5(日)、12(日)は休み<全14日間>

◆Aクラス(未経験者中心) 14:00~17:00

◆Bクラス(経験者中心) 18:00~21:00

場所:劇団俳小(アトリエ俳小)/受講料:68,000円

定員:20名(各クラス)/申込締切日7.28(土)

申込・お問合せ:劇団俳小

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-7-3 東都大塚コーポB1

TEL. 03-3987-1787 FAX. 03-3987-5187

E-mail. info@haishou.co.jp URL <http://www.haishou.co.jp>

→ <http://www.haishou.co.jp/keitai/>

右のQRコードからもアクセス出来ます

スタニスラフスキーの正統なる継承者であるウラジーミル・ベイリス氏が直接、あなたを演技指導します。本場仕込みのスタニスラフスキー・システムを日本で学べるこの機会をぜひお見逃しなく!!



チケットプレゼントを希望される方は巻末ハガキに必要事項を記入の上ご応募下さい。
①~④公演の締切は7/25、⑤⑥公演の締切は8/20(全日とも消印有効)です。チケットプレゼントは、プレゼント広場に掲載されているプレゼントと併せての応募も可能です。シバイとの出合いは一期一会。ぜひとも劇場に足を運んでみて下さい! 尚、発表は当選チケットの発送をもってかえさせていただきます。ご応募お待ちしております!



シバイはきっかけがないと
つい観るタイミングを逃しがちになるもの。
「観に行きたいなあ」と思いながらも、
気がついたら公演日を過ぎていた……。
演劇好きのあなたなら1度はこういう経験ありますよね。
そこで「シバイのミカタ」では、その「きっかけ」をご提供!
前から興味のあったあの劇団の公演、
面白いと評判のこの劇団の公演など、
色んな公演のチケットをどんと一気にプレゼントします!

シバイ の ミカタ

チケプレ情報

8/15~19◎中野ザ・ポケット
作・演出・出演◎赤澤ムック
出演◎山下恵 吉川博史 斎藤あき
芝原弘 (以上黒色綺譚カナリア派)
本間ひとし 板垣桃子 眞藤ヒロシ 辰
巳智秋(ブラジル) 牛水里美 中里順
子 升ノミ 町田彦衛 尾上CHERRY
覚ノ新(銀鏡マスカラス) 潮見諭
8/15=19:00、8/16・17・18=14:
00/19:00、8/19=14:00

〈料金〉前売◇¥3200 当日◇¥3500
(全席指定)
〈お問い合わせ〉黒色綺譚カナリア派
090-8461-4699
ticket@kokusyoku.com
www.kokusyoku.com

チケプレ情報

8/16(木)=14:00、19:00
各回2名様



赤澤ムック comment
(黒色綺譚カナリア派/
作家・演出家・役者)

「嵐の晩に揺れたのは、サーカス
テントか誰かの赤いスカートか」
昭和悲喜劇・サイケ新派で注目
株の「黒色綺譚カナリア派」が、
元音楽座「本間ひとし」、複数童
子「板垣桃子」、ブラジル「辰巳
智秋」他、豪華異色出演陣とお
贈りするは、魔サーカスの浪漫譚。

4
「リュウカデントロン」
黒色綺譚カナリア派第七回公演

8/3~8◎名古屋 セツ寺共同スタジ
オ、8/15~19◎大阪 精華小劇場、
8/24~9/2(29日休演)◎東京 ザ・ス
ズナリ
作・出演◎虎馬鯨 演出・出演◎天
野天街 出演◎タ沈 白岡文子 中
村榮美子 山本亜子 井村昂 石丸
だいこ 他

〈料金〉(東京)前売・予約◇¥3500
当日◇¥4000(日時指定・全自由席)
※名古屋・大阪は料金異なります。また、名古屋・東京は平日昼公演割引あり。詳細はwebサイトで確認下さい。〈お問い合わせ〉少年王者館 090-4213-5884
<http://www.oujkan.jp/>

チケプレ情報

名古屋公演 8/5(日)=19:30
大阪公演 8/15(水)=19:30
東京公演 8/26(日)=19:30
各回2名様



06年「KILL-イキル」
撮影◎山崎のあき

虎馬鯨 comment
(少年王者館/作家・役者)

今回の少年王者館の公演は、虎馬鯨が台本を書き、天野天街が演出をします。過去や未来ではなく、今でもない「いつか」、ここではない「どこか」を舞台に、「シフォン(薄い膜)」を「皮膚」にみたく、「感触」がもたらす「記憶」や「情報」について考えます。

1
「シフォン」
少年王者館31回公演

MITAKA "Next" Selection 8th. 参加
9/6~9◎三鷹市芸術文化センター
星のホール
作・演出◎名執健太郎
出演◎岩瀬亮 宇田川千珠子 河
西裕介 白神美央 仗桐安(RONNIE
ROCKET) 美館智範 鷺尾英彰 他

〈チケット取り扱い〉チケットぴあ/イー
プラス/三鷹市芸術文化センター
〈料金〉前売◇¥2500円 当日◇
¥2800 高校生以下◇¥1000
※ほか、財団友の会会員料金あり
〈お問い合わせ〉YeP 03-3338-1575
<http://smartball.yep-web.com>

チケプレ情報

9/7(金)19:30=4名様



前回公演「My Legendary Girlfriend」
撮影◎史野若菜

名執健太郎 comment
(smartball/作家・演出家)

ノワールです。墮落した人たちの、
それぞれに悲惨な関係性を見せる
つもりです。連続婦女暴行事
件を背景に、サギ集団とその稼
ぎを強奪しようとするカップル、な
にかの勝ち負けをめぐる激闘、博打
狂い、初恋、ミランダと阿佐ヶ谷と
僕。そんな芝居にしたいです。よろ
しくお願いします。

5
「The Perfect Drug」
smartball

8/4~12◎三鷹市芸術文化セン
ター・星のホール
作・演出・出演◎喜安浩平 出演◎
小島聡 永井幸子 篠原トオル 山口か
ほり 馬場泰範 西山宏幸 寺井義貴
深澤千有紀 藤原よしこ 猪爪尚紀
三科喜代 中西広和(温泉きこ)他

〈料金〉前売◇¥2800(財団友の会
会員¥2500) 当日◇¥3000(財
団友の会会員¥2800)(全席指定)
高校生以下◇¥1000(前売・当日
共、公演当日要学生証)〈問い
合せ〉ブルドッキングヘッドロック
090-9842-9686(12:00~20:00)
info@bull-japan.com
<http://www.bull-japan.com/home>

チケプレ情報

8/4(土)=19:00
8/5(日)=14:00、19:00
各回2名様



前回公演「とぐろ」 撮影◎nana

喜安浩平 comment
(ブルドッキングヘッドロック/
作家・演出家・役者)

形容しがたいおかしみと不気味
さが特徴のブルドッキングヘッド
ロック。「不確かな怪物」では、見
知らぬ女が見知らぬ男に送った
手紙を、間違えて受け取ってし
まった男の不穏で苦笑の日々を
綴ります。事件の起らないサスペ
ンスに、手にいらない汗を握って
ご覧ください。

2
「不確かな怪物」
ブルドッキングヘッドロックVol.13

9/5~18◎池袋 東京芸術劇場小
ホール1
これまでカナダの優秀な戯曲を上演してきた
Studio Lifeが、再びカナダの作家ジョン・ラ
ザラスとジョア・ラザラスの名作戯曲「決闘」
を本邦初上演します。この物語は、フエンシ
ン部に所属する2人の男子高校生が友情と
ライバル心を軸に、若者の現代社会への不
満と不安、同性愛、いじめ、親子間の断絶した
コミュニケーションの問題などを、繊細に丁寧
に、そして残酷に描いています。しかも、フエン
シング場面を随所に取り入れた舞台はあくま
でも華麗で躍動的。そのビジュアル・インパ
クトで観客を魅了します。

〈お問い合わせ〉
Studio Life 03-3319-5645
<http://www.studio-life.com/>

チケプレ情報

9/5(水)、9/6(木) 各回2名様



06年「トーマの心臓」

倉田 淳 comment
(Studio Life/脚本家・演出家)

偽善と虚飾と俗悪を拒否し、痛々
しいほど不器用に真実を追い求
める2人の少年の姿は、すでに誇
観と自己欺瞞を身に付けてしまっ
た、かつての少年少女たちの胸
を打ちます。彼等が掴もうとして
いるものは、希望という名の明日
か。それとも絶望という名の未来
か。

6
「決闘」
Studio Life

8/8~12◎新宿THEATER/TOPS
作・演出・出演◎武沢宏
出演◎村上航 市川訓睦 柿丸美智
恵 猪岐英人 水野顕子 高橋周平
宇賀神明広 寺西麻利子
8/8・9=19:30、8/10=14:00/19:30、
8/11・12=14:00/19:00
※開演は開演の30分前、受付開始は開演の1
時間前

〈料金〉前売◇¥3500 当日◇¥3800
〈お問い合わせ〉
アーノルド組合 080-3011-9256
info@arnold-union.net
<http://www.arnold-union.net/>

チケプレ情報

8/8(水)=19:30
8/10(金)=14:00
各回2名様



武沢宏 comment
(アーノルド/作家・演出家・役者)

今夏、約1年ぶりとなる最新作を
上演します。アカデミックな演劇に
うんざりしている方、タレントショー
にはもう飽きてしまった方、是非
一度ご覧下さい。濃厚でサディス
ティックな笑いを散りばめた、脳
味噌を錯乱させるサスペンス作
品をお届けします。

3
「ミートボール」
アーノルド #8

河原雅彦

LONG
INTERVIEW

ハイレグジーザス時代、強烈な俳優たちをリーダーとしてまとめあげ、ピュアーでアナキーな唯一無二の娯楽作品を創り続けてきた希有な才能が、いま、まさに俳優、演出、脚本とその活動の場を広げて開花している。柔和な対応の中に、一瞬一瞬にかいま見える硬質で強靱な感性。河原雅彦の力オス。さらなる可能性の行方を楽しみに見続けていたい。

振り返ると
「好きなことしかしていない」

高校受験の失敗で
「普通ブラン」が崩れた。

——河原さんはどんな子供だったんですか。
うまく伝わりづらいですけど、普通であることにもすごく敏感でした。人より目立ちすぎちゃいけないけど、劣り

すぎてもいけない、真ん中がいいという。当時は勉強嫌いでカンニングばかりしてたんですけど(笑)、それでものテストの平均点は何点だろうな、と予想して出来るだけ人よりいい点を取らないように気を遣っていました。

——カンニングするのたいへんじゃないですか。全然。人より頭悪いと思われるのが

イヤでしたから。これは大きな誤算だったんですが、長きに渡ってカンニングしているうちに、自分がそれぐらいの点数を取れる人だと思いついて(笑)。で、高校受験の志望校をその幻の偏差値で決めて、いざ受験しに行ったら試験官がものすごく一杯いて、ちっともカンニングできなかったんです。1002人受

けて1000人合格するところで落ちましたからね。その高校にしか願書を出してなかったんで、早くも浪人決定ですよ。でもまあ今にして思えば、その時のことがなければ今の自分はないから、大きなターニングポイントだったと思います。当時の志望校は商業高校だったんですけど、そこに入って普通に卒業し



て普通の会社で就職するもんだと、それこそ普通に思っていたので、受験を失敗した時点で僕の「普通プラン」が崩れ去ったんですね。

中学三年のとき演劇をやったら
下級生にモテた。

——演劇との出会いは。

中学高校と偶然ですが両方、担任の先生が演劇の顧問をしていたんです。僕はあまりお行儀がいい方ではなかったしバリバリの帰宅部だったので、先生に「あなたは何かやったほうがいい」と言われて、演劇部に強制入部させられて。発声練習とか、体育館で劇をやらされたり……その頃の記憶はほとんど抹消して

ますね笑)。でも、その頃(中学三年)演劇をやったら下級生にちよつとモテたという記憶はかすかにあるんです。「あの先輩、誰?」みたいのに噂になったんですね。演劇体験はそれ一回で終わったんだけど、僕の中で「悪くないぞ演劇」という思いも残りました。で、高校受験に失敗して、仕方なく、福井でいちばんしもない人たちが集まる夜間学校に入学したんだけど、そこが悪くて悪くて。入学式で校長先生が挨拶している最中に新入

を送っていたんですけど、ある日たまたま早起きして窓から外を眺めていたら、高校生のカップルが仲良く自転車で二人乗りして通学している姿を見かけたんです。その時、思わず「男女交際をしに高校に行こう!」と。あの時あのカップルを見かけなかったら、本当に自分がどうなっていたかわからないですね。それが夏頃だったんで、来年の受験にまだ間に合うぞって、さっそく親父に頼み込んで学習塾に行かせてもらいました。それで勉強をやり始めたら意外に楽しくて。なんで今までやらなかったんだろう、簡単じゃん、と。結局、翌年に福井の有名私立高校の特別進学コースに入りました。カンニングせずにちゃんと受験してね。

——高校での演劇は。

「普通プラン」が崩壊した反動だと思うんですが、高校では好き勝手振る舞うタイプになっていて、勉強でも好きな科目の授業しか受けなくなかったんですね。僕は文系科目が得意だったから、数学とか科学の授業中は勝手に英語とか日本語の教科書を広げてよく注意されました。そんな僕に、当時の担任が「部活で性根を叩き直さないとダメよ」と言っても、また演劇部(笑)。中学の時にちよいとモテた印象があったから、数ヶ月在籍させ

明治大学に入り
演劇活動を始めるのだが……。

——大学は演劇科ですよね。

明治大学文学部文学科演劇専攻(※1)、ですね。高校に入学してから学習塾にはずっと行っていたんです。学習塾という堅く聞えますけど、わりとアットホームなところで。お兄ちゃんと呼んで親しくさせてもらっていた先生は、新聞のコラムで旅エッセイなんかも書いて福井でちょうどした文化人を通じて、教室以外の場所ですべて話をしていても文化系の話題が多かったですよ。で、なんとか尊敬するお兄ちゃんに話を合わせたいと思って、「雅彦は何に興味あるんだ?」と聞かれた時に、「演劇ですかね」って言っちゃって。それからお兄ちゃんの中で僕は、「演劇大好き少年」になったんです。僕としては関西の大学に行きたかったんだけど、「演劇やるなら絶対東京!」っていうお兄ちゃんの意見で、明治の演劇学科に落ち着きました。お兄ちゃんに導いてもらったっていう見方もあるけど、ある意味、自分で適当なことを言っているうちに流されたっていう方が正しいかなあ。

大学では劇研に入っただけですか。

演劇科に入学した限りは劇団に入団しなきゃと思つて、とりあえずオーソドックスに劇研に入りました。入る前に劇研の芝居は見たんですけど、全く面白くない。でも、芝居についての知識なんか無いし、どこもこんな感じだろうと

適当に選んだんです。新人公演に一回出てやめちゃいましたけど。僕にとつては、もうわけ分かんないことだらけで、なんでチケットノルマがあるの？とか、なんで就職したＯＢが飲み会に来て偉そうに芝居語つてんの？とか、なんでプサイコな女がヒロインやつてるの？とか。その閉鎖感に耐えられなくて、逃げるようにフェードアウトしました。

白塗りをして
就職説明会に行った。

——演劇活動に夢中になることは全然なかったんですか。

全くなかったです。活劇工房という、やっぱり明大の学生劇団に友達に誘われて入ったけど、そこも一年ちょっとでやめちゃったし。だけど、僕の卒業論文は寺山修司(※2)さんだったんです。演劇がらみでは寺山さんだけに興味があったんですよ。エッセイとか詩集とか天井桟敷とか、寺山さんのやつてることは、ファンとしてその全てが魅力的に思えて。

—影響は受けたんですか？

寺山作品との出会いが次のターニングポイントですね。それまでずっと享樂的に大學時代を過ごしていたくせに、四年生になったら、一緒に遊んでた連中が急に就職活動とか始め出して、僕それに全くついていけないくて。あんなに一緒にバカやつてたヤツらが、急にスーツ着て内定がどうだの今週は何社まわったとか言ってるんですよ？普通にこっちはアワアワしますよ。「終わっちゃう！この楽しい時間が」みたいな感じですか。そのイライラと焦りを、普段から白塗りで

明治大学文学部文芸学演劇専攻 ※1
大学のHPによくとメグ・タイトルが「劇ドリーム」を通じて人間を考える」の内容が4区に分かれている。1番目が「世界の中でも独特な日本の演劇・歌舞伎の」という古い演劇が最も人気が高い日本の文化のこゝと、3とはほぼ1対4は「演劇きびたの」1人少数とあります。「厳菜い」道楽」最後に舞台写真が1枚掲載されているのですが、それとスチーフ・現代戯曲劇場の工芸典的オペレタによる、かめめのフナー」なので、ぜひご覧になつてみてください。

35年生まれ、青森

雙馬評論家、67年演劇実況録、木井枝敷を横濱芝居見則と銘
て、見物者の権威をいなり、異形の反々舞臺に性、エター
テイメントと反社会主義の思想を込めた人々、エターニ
ツにマツシ作品で、好奇心の強、若者たちの支持を受け
た。また70年には、演劇や杉並の街路や民衆を舞台にした市
街劇を挙行し、警察沙汰にも、71年には民衆を捨てた。そ
街に出よう、と喉の監督、また、東北訛のある独特の語り
口で、雙馬舞臺など、一般の若者にも愛され、世間インパ
クトを与え続けた。83年敗血症、杉並区の河津綜合病院で
死去。

親父(※3)

「親父は平昔の仕事を中心にめっちゃめっちゃ働かざるでしたね。その分めっちゃちや遊び入で、よく自営相手の女、社員旅行とこのめっちゃの浮気旅をしてみまして、浮気相のせいで(笑)。とにかく気が短くキレやすくして怒る。誰の手もつかないらしいわね。世に末っ娘が、な家長として、そんな破天荒な性格のいざに、毎日ご飯は家族で食べてという鉄の規程があった。多感な少年時代、僕が家出しても、あまりに親父が恐いので、ご飯だけ家に帰って食べて、その後また家出するついでにうね。さあ」

がに今では落ち着きましたよ。ご心配なく(笑)」(河原談)

HIGH LEG JESUS (※4)

た文句に結成。初期には寺山修司に影響された街頭でのパフォーマンスを挙行。後には、「タラハイ」のかけ声のもと、俳優化したら力むことで観客を圧倒するパフォーマンスや、ストリート仕立ての中で全裸、男役が客席を走り回るなど、シロクミキが愛らし、スウィングなエターテインメントを展開。多方面で物議を醸しつつ、その感度の良さで、観客には熱烈な支持を受けた。02年解散。

GLAYのメンバーたち。写真提供：GLAY

ハイレグジーザス結成当時のイメージショット。上から野村道子、河原雅彦、山田伊久磨。

結成当時のハイレグジーザメンバー。
サングラスが河原。

て小劇場の中で認知されちゃうと状況が変わってくる。僕達のやることでお客さんが喜んだりするわけです。僕達も知らず知らずのうちにそれに応えようとしちゃって。で、「こんなことがやりたかったんじゃない」ってイライラして解散と。珍しいと思いますよ、ウケるのがイヤで解散する劇団って。もちろん続けることもできたんですけど、H Jの性質上、それぐらいが寿命だったのかなと思います。僕達なりに誠実にやり遂げら



さんがウーマンリブ(※5)で『ウーマンリブ発射!』という舞台をやる時に、役者じゃない人に出てもらいたいから、河原さん出ない?と声をかけてくれたんです。宮藤さんとは親しくしていたし、軽い気持ちで引き受けました。でもそこからなんだかわからないけど役者の仕事にくるようになって。当時は仕事という意識は全然持っていなかったけど、H Jのスケジュールが空いてると暇してるよりいいやつて、舞台に立つたりして。さす

てですから、演出家さんですね、と言われると「いいいやいいや」とかって、くすぐったくなっちゃうんです。何の人にもなりたくない。苦手なんです、体質的に。もともとH Jの総代以外、「こいう見られ方をしたい」と思ったことが特にはないので、今は正直変な感じですね。役者と呼ばれる必要はないかもしれないけど、たくさん出います。

演出作品が「読売演劇大賞優秀演出家賞」を受賞。

— そういう中で昨年、河原さん演出の公演『父帰る/屋上の狂人』(※6)を観ましたが、とても素晴らしい作品でした。あれはもうん俳優さんたちも良かったですが、すごく演出家の力が大きかったと思います。

楽しかったですよ。いい役者がいればいい芝居になるわけでもないし、いい台本があればいい芝居になるわけでもない。

河原雅彦

69年生まれ、福井県出身。俳優、脚本家、演出家。明治大学文学部文学科演劇専攻卒。卒業後の92年、伝説のネオ演芸集団「ハイレグジーザス」(※4参照)を結成。総代として活躍するも、02年に解散。以降、多方面で活躍中。主な出演作品には「魔法の万年筆」(PARCO劇場)、「走れメルスー少女の唇からはダイナマイト」(NODA-MAP)、「春子ブックセンター」(大人計画)などがあり、演出では「父帰る/屋上の狂人」(SISカンパニー/第14回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞)、「鈍獣」(バルコプロデュース)など。脚本では連続ドラマ「アキハバラ@DEEP」(下北サンデーズ)、映画「ハチミツとクロバネ」(スシ王子!銀幕版) (堂本光一主演、08年公開予定)などがある。著書にシナリオブック「ピカ★ンチ」[ピカ★★ンチ]。本人と宮藤官九郎が98年~01年に弊誌に連載していた記事をまとめた「河原官九郎」(演劇ぶっく社刊。定価1,785円)は初めての単行本。

次回予定◇「ラブレターズ」(出演)7/30◎PARCO劇場 ◇真心一座身も心も「流れ姉妹〜ザ・グレートハンティング」(演出・出演)10/5~21◎赤坂RED/THEATER ◇演劇ユニット プロペラ犬「マイルドにしぬ」(出演)11月◎赤坂RED/THEATER◇小説「あの娘僕がこんなシネマ撮ったらどんな顔するだろう?」キネマ旬報社より7月下旬発売予定

れたので悔いとかも一切ありません。

ウーマンリブに出演したら、

役者の仕事ができるようになった。

— 解散した後の河原さんの展望はあったんですか。

僕はそれまで役者に何の興味もなかったし、H Jで演出する以外楽しみを見出せなかったんですが、宮藤(官九郎)

イディングや音や美術などにももちろん関わるけど、演技の部分を俳優に預け過ぎちゃダメだと思うんです。そこが演出家の仕事の肝というか。いいものをつくろうと思ったら、一つの役をつくっていく段階で、やっぱりきちんと演出家と俳優が向き合えないといけないですね。結局、演出家に何も言わないと、どんなに優れた俳優でも自分の得意なことしかやらないし、やれないですから。しっかりと客観的な意見を投げかけて、視野を広げてあげること、俳優はその真の能力を発揮出来ると思うし、そのためにわざわざ二ヶ月間稽古をするわけですね。

演劇ぶっく社との共同作業

「河原官九郎」「ENBUゼミ」。

— 話は飛びますが、演劇ぶっく社から01年に出版された『河原官九郎』(※7)で世話になりましたが、あれも苦労があったと思います。

おもしろかったですよ。多分2人が忙しくなる前のギリギリのタイミングだったと思います。連載3年目の最後の方はスケジュール合わせるのが大変でしたけど。輝かしい青春時代ですよ。取材が終わったあと必ず「ビール飲ませてくれる?」って感じでした。こう言っちゃなんですけど、なんにも責任がないって素晴らしいですね。今、あんなテンションで仕事できないですもん。余計なお世話かもしれないけど、20代であまり演劇を仕事にしない方がいいと思いますよ。今って、ちょっとおもしろい若手の作家や俳優が出ると、青田買いされるケースって多いじゃないですか。僕の経験から言って、20代は自分がおもしろいと思

がに今では俳優として仕事をする際も、しっかりやらねばという自覚はありますけど。

— 役者でもあり、演出家、作家でもある。そのことについてはどう思ってます?

子供の頃から振り返っても、その時々の流れでなんとなくこまで来て、役者といわれるのも実は本当にピンと来ないままの38歳で。役者さんですね、と人から言われると「自分なんて、なんちゃっ

うことだけを出来るだけプレッシャーのかからないところでやり続けて自分の感性を磨いた方がいい。それがゆくゆくは引き出しになっていくわけですから。もちろんみんながみんなそうではないだろうけど、若くして「仕事仕事」した感覚を演劇に持ち込み過ぎると、せつかくの才能も小さくまとまってしまう可能性もある。当時の僕はなんの仕事もなかったですけど、いい20代を過ごせたなど心から思います。あの本は思い出深いその断片ですね。

— 河原さんにENBUゼミ(※8)で授業していたのですがいかがですか。

ENBUゼミの生徒の質も年々変わってきてますよね。初年度に近い人達はたえ演技がヘタでも、表現欲求のエネルギーはものすごくあり余っていて、授業をしていても何が飛び出してくるか分からないスリルがあった。いい意味で、一人一人が個性的だったというか。最近では演技ができる生徒は圧倒的に増えたけど、うまくやるうとか、誰かみたいになろうとか考えている人達が多いかも知れません。人を魅了していると思うんだけど、小手先の演技が上手いだけでは話にならない。失敗を恐れず、もつと自分の個性を演技に反映させる訓練を真摯に積んでいってもらいたいですよね。先ずは何事も自分を知ることから始まるわけですから。

千葉雅子、村岡希美、坂田聡と演劇ユニットを立ち上げる。

— 「真心座」身も心も(※9)というユニットを立ち上げましたが。

ね。徹底的にしないんです、嫌いなことは。アルバイトとか、しても全然続かないし。例えお金になろうが人に評価されようがそんなの二の次三の次で、好きで楽しめることだけにエネルギーを注げるタイプみたいです。そう考えると、どうやら演劇に関する仕事は僕に合ってるんじゃないかな。

劇団を解散してから外部の仕事が続けにくいにつけ、どうしてもストレスがたまってくるんですよ。演劇は好きですけど、仕事は仕事ですから。それで精神のバランスをとるために、お金にはならないけど、自分達でイニシアチブをとれる機会を持ちたいなあ、と思って2年前に結成しました。千葉雅子さんの書く渋過ぎる人情劇が好きだし、村岡(希美)さんと坂田(聡)もおもしろがつくれたので、森光子の『放浪記』に負けない、小劇場版大衆演劇をつくってみよう、とにかく頑張ってます。僕にとって今や大切な拠点ですね。

ブログでストレス発散。

— ハイレグタワーのHPでブログを書いていますね。

ここ最近、ブログ(※10)を始めたおかげで、ほんのちよつと視界が広がってる気がします。始めるまでは「ブログ?」って思ってたんですけどね。今日デメエが何やったかなんて誰も知りたくねえよ、って。でも書き出したら止まらなくなっちゃうて(笑)。日記的なものは苦手なんですけど、書き物をする上で、作家としてのストレスはものすごく発散してくるんです。勝手に好きなこと書いて読みたい人は勝手に読んで、つてスランじゃありませんか、ブログって。それまで自分発信するみたいなことって恥ずかしいと思ってたんですけど、いざ始めてみると意外と楽しいです。あと明治の後輩演劇人達と飲み会イベントも始めたんですよ、「明治く僕らの飲み会」っていうんですけど。演劇でもいろんなイベント

演出作品が「読売演劇大賞優秀演出家賞」を受賞。

— そういう中で昨年、河原さん演出の公演『父帰る/屋上の狂人』(※6)を観ましたが、とても素晴らしい作品でした。あれはもうん俳優さんたちも良かったですが、すごく演出家の力が大きかったと思います。

楽しかったですよ。いい役者がいればいい芝居になるわけでもないし、いい台本があればいい芝居になるわけでもない。

いい芝居って、やっぱりキャスト、スタッフに至る全ての人間がクリエイティブティを持ち寄って、どんなおもしろさに乗せていくものだと思うから、あの公演はまさに理想的でした。草薨君への演出も細かくつけさせてもらったけど、彼はそれをきちんと咀嚼して自分のものにしていく力があって、なおかつ僕が予想もしない表現をそこにプラスして舞台に乗せてくる。やっぱり演出家って、ラ

がありますよね、トークライブとか。でも「飲み会」ってないぜと(笑)。定員80人ちよつとの会場だけど、チケットも毎回発売数十分でソールドアウトです。ただ集まって飲むだけなのに(笑)。余興はありますけどね、山手線ゲームとか(笑)。中山(祐一朗)と飲み屋で話して、歳取っていろんな仕事していくうちに溜まってくるストレスってみんな同じなんだって。学生時代は飲んでばっかだったね、またみんなで集まって飲みた

いね、という話をしまして。まあ同窓会気分、飲むのもいいけど、我々明治の輩は飲み会のプロだと自負してるんで、それならいっそ客入れて騒いじゃえと。これがまた実際にいい飲み会なんだよね。普通、演劇系のイベントってたどえお酒が買えても、あんまり飲まないじゃないですか。そこいくと「明治」はお店の一晚での最高売り上げを軽く更新しましたもん(笑)。19時から始まって深夜の2~3時までガンガン飲むんですけど、この歳になってまだ生産性のないことをやれてるなんて実に幸せですね(笑)。

— ブログにもよく書かれますけど、楽しい家庭ができていますか。

おかげさまで楽しくやらせてもらってます。でも、「子供が生まれたから稼がなきゃ」みたいなスタンダードなお父さん像というのは僕にはないですね。ただ、僕の仕事を子供がゆくゆく目にするこ

ともあるでしょう。だから、どんな分野の仕事でも「どうだ、おもしろいだろ」と子供に自慢出来るように、「一つ一つ真摯に臨んでいかなきゃ」とは思います。おもしろさで負けたくないんです、たとえ自分の子供でも(笑)。



衣装協力:R00D
TEL:03-5452-1551 www.r00d.jp
Tシャツ¥6,825
ジャケット¥30,240
ハット¥7,770
ピンズ¥2,100

河原官九郎(※7)
宮藤官九郎と河原雅彦がブレック(部ブレイク中)の98年~01年にクワカ(まちゃびに)シリーズとして演劇ぶっく誌上で連載していた記事をまとめた単行本「ディートンリスとバートン」(※8)があり、その楽しげな様子が軽妙な文章でつづられています。二人にとっては初めての単行本で、弊社が以降の活躍をあたかも予感していたようなタイミグで作った、珠玉のマニフェスト本。演劇ぶっく社刊。定価1,785円。

ENBUゼミ(※8)
演劇ぶっく社が運営している、舞台上に立ちたい人や、映画を制作したい人達を対象とした「エンターテインメントスクール」赤坂雅秋、青木豪、江本純子、篠原哲雄、古賀智之さんら最前線で活躍中の演出家、映画監督が講師。河原さんも以前に専任講師を、現在も短期の講師として参加。筆者がゼミの代表者でもある。OBには本谷有希子、小出恵介、細中智行などがいる。興味のある方は76ページをご覧ください。

真心座身も心も(※9)
公演予定◇真心座 身も心も「流れ姉妹〜ザ・グレートハンティング」
演出◇千葉雅子 演出・出演/河原雅彦 演出 坂田聡 村岡希美 高田聖子 小林順作 政岡泰志 伊達隆 信川清順 相島 之
10/5~21◎赤坂RED/THEATER
問い合わせ◇コナラファズ03-3372-6848
ブログ(※10)
ハイレグタワーHP「河原雅彦改めアブドゥラ★サ★マ★チャの吹けよ風、読むな口」を連載中。風「でなくて」「風」というところが可愛いですね。本人の長きお父さんぶりもつがえて、楽しい読み物です。
<http://lovecock7.cocolog-nifty.com/>



山内圭哉

やまうち かつや 〇71年生まれ、大阪府出身。92年に故中島ちやも率いるリリパットアミーに参加。99年に同劇団を退団後、01年、当時山下大洋と後藤ひろひとの2人で活動していた西村に加入する。客演としての舞台出演は勿論のこと、自身の演劇ユニット wat mayhem(ワトメイヘム)での公演や、音楽活動を並行して行うなど精力的に活動中。昨年は町田康原作小説「パンク侍、斬られて候」を舞台化するにあたり、脚本・演出・主演に初挑戦した。

次回予定〇Piper 結成10周年公演「ひーはー」7/26～8/12〇本多劇場、8/17〇仙台市民会館 大ホール、8/22〇愛知厚生年金会館、8/25〇福岡市民会館、8/28〇アステールプラザ 大ホール、8/30～9/2〇シアタードラマシティ

構成・文〇園田喬 撮影〇竹中圭樹 ヘアメイク〇志村治(アスナーレ)



片桐 仁

かたぎり じん 〇73年生まれ、埼玉県出身。多摩美術大学在学中に小林賢太郎とラーメンズを結成。最近では、映画、ドラマ、ラジオ、CMなど、様々なメディアに出演し、活動の幅を広げている。とりわけ、舞台俳優としての活躍は目覚ましく、他プロデュース公演などに多数出演し、本人にしか出せない生の魅力で人気を博している。

次回予定〇Piper 結成10周年公演「ひーはー」7/26～8/12〇本多劇場、8/17〇仙台市民会館 大ホール、8/22〇愛知厚生年金会館、8/25〇福岡市民会館、8/28〇アステールプラザ 大ホール、8/30～9/2〇シアタードラマシティ〇TBSラジオ「エレピのコント太郎」毎週水曜27:00～28:00 O.A.

仁を海にはめて「ひーはー」って
やったら……

——お2人が最初に出会ったのはいつ頃になります？

片桐 『ガマ王子とザリガニ魔人』(04年)の時ですね。

山内 仁はサモ・アリナズの小松さんと仲良くて、いつも2人で楽しそうに笑ってましたね。笑ったらあかんような空気で同じやから「こいつら学生か！」って思ったり。

片桐 そうでした笑？ 僕の山内さんの第一印象は「怖いな」で笑。

山内 でも、なんか知らん間に仲良うなってきたね。稽古場に遊び道具をよう持つてくるんですよ。粘土とか。それを「これどうやんの？」とか聞いて、「一緒にねちねちしたりして」笑。

片桐 あれは異常な盛り上がりを見せましたよね。

山内 あっ、そうや！『ガマ王子』の時に打ち上げをあつてやったやん、あの……。

この2人、似たもの同士……!?

片桐 あ、福岡の、海の中道海浜公園。山内 そう、そのリゾートホテルのね、ブライペートビーチでバーベキューパーティーやつて、打ち上げ会場に行った時、後藤さんが「(打ち上げの後半、海で遊ぶうみいになつて、誰かが海にはまって……的な流れになるよね)って囁くんですよ。だから僕は「まらんとダメですかね」って聞いたら、「大丈夫だよ、今回は芸人がいるし」とかゆうつて。それで「そうか、仁がおるわ！」と思つてたら、案の定、花火しよう！という流れになったんです。それで、みんなで海まで行つて、仁とかはズボンの裾めくつて、海に入つてロケット花火やつたから、『ガマ王子』に出演した加藤瑞貴っていう女の子に「みつくん、仁を海にはめてこい！ 今なら一斉に笑い取れてええ感じやで」てゆうたんです。

片桐 いや、あははは笑。

山内 それでみつくんが仁に近づいて、後ろからポンと押したら、こいつ真顔で「あぶねーだろっ！」って(爆笑)。

片桐 あははは(爆笑)。

山内 結局僕が服脱いで、バシャーンって海にはまって笑。でも、俺がはまった瞬間に打ち上げ花火がドカーンって上がったから、みんなそっちを見てたという。ケミストリーは絶対ある。

——今度、お2人が共演するPiperの新作『ひーはー』のお話をお聞きたいのですが。

山内 前にPiperで『スプーキー・ハウス』(04年)という舞台をやったんですけど、その続編にあたって、僕と平田敦子と楠見薫さんは同じ家族役なんです。つまり『スプーキー』に出てきたあの家族のその後の話。今回は、僕ら家族がウエスタン調の潰れたステッキハウスに住んでいるんです。で、仁と(川下)大洋さんはウエスタンガンマニアで、恰好のサバイバルゲーム場所を見つけたからって店に入ってくるんですよ。途中までの台本を読んだんですけど(注：取材日は6月中旬)笑うてしまつてよく読めませんでした(笑)。これほんま伝わるんかな？ というマニマニな面白さ

片桐 僕はここで面白いのきつかけを何か盗みたいですね。

山内 仁がPiperと絡むことで起るケミストリーは絶対あると思うから、僕としても上手に受け身をとりたいですよね。

資質は違うけど、仁のスタンスは理解出来る

——では、お2人の「俳優としての長所」を分析するとしたら、どのように考えます？

片桐 僕はもじやもじや頭と眼鏡ですね。

山内 あはは笑。分かりやすいな。

片桐 だつて記号ですもん。今、オダギリジョーさんがTVドラマで同じもじやもじや眼鏡ですからねえ。子供が見て「パパだつて言つてました笑」。

山内 僕が思うに、仁は伝えるべき情報を確実にお客さんへ伝えられる俳優だと思ひます。

あと、テクニカルなことに頼らないというか、ポイントを押さえるのが上手いいうえにあんな迷わないでやるから、変な芸人っぽさがないですね。

片桐 山内さんはやっぱり半端なく華がありますよね。それに、いつ観ても「舞台上でちゃんと遊べるな」と感じます。いつも余裕があるように見えるんですよ。だから、芸人さんで芝居に出る人に近い印象がありますね。勿論これはいい意味でなんですけど。

表紙のヒト

阿佐ヶ谷スバイダース、G2プロデュース、そして自身が加入しているPiperなど、多くの人気公演に出演している山内圭哉。そして、ラーメンズでの活躍に加え、これまた多くの団体から出演交渉が絶えない、片桐仁。お2人も多くのファンを魅了する「人気舞台俳優」ですが、「お互いの共通項は割と少ないのかな？」と、取材前は想像していたのですが……。今回はお2人の相似点と相違点にご注目下さい！

インディ高橋の

Patchy小道具研究所[®]

第28回 | 『着ぐるみとかぶりものと私』

↑タイトルピンボールと私

私ん家の電子辞書によりますと
「着ぐるみ」=ぬいぐるみ
「かぶりもの」=笠とか帽子等、頭にかぶる物の総称
となっております。
で、私の場合、「着ぐるみ」とか「かぶりもの」の考え方なんですけど。あくまで私の場合なんです。一応ルールがあります。

- ①「着ぐるみ」は頭、手足も含め全身に着るもので、クマとかウサギ等、動物である。着ている本人の顔面が出ている場合とそうでない場合があります。
- ②「かぶりもの」は全身、もしくは手足以外にかぶるもの。
着るのでは無く、あくまで、かぶる。そして生き物では無いモノが多い。
日本橋、グリコの看板、お地藏さん。木、カニ等は生き物ですが、ここに含まれます。
かぶって本人の顔面が出ている場合が多い。
生き物でない場合はしばしば舞台美術にとけこみ、「カイゴロシ」となる。要は、ばれない様に舞台上に存在し、現れるべき時に顔が現れ、動くべき時に動く。
- ③「かぶりもの頭のみ」首から上にかぶるモノ。この場合は動物も含む。

とまあ、簡単ではありますが、私なりのルールをならべてみました。
ルールをならべてみたところで変な格好は変な格好なわけで。

●ちなみに私が作った、かぶりもの&着ぐるみ●
大筒、ひょうたん、岩、柱、桜の木、お地藏さん、クマ、ウサギ、犬、猫、鶏、猿、馬、ロバ、ハチ、蛇、マングース、カニ、うす、ウニコ、栗、ネズミ、日本橋、グリコの看板、ト○口、じゃんぼまんだえもん、スーツケース、タケゾー1号、タケゾー2号、ブリキのロボット、トカゲ、魚、幸せの王子、ライオン、太陽、北風、フリッパー、納豆、亀、ストーブ、等々、他にも色々。



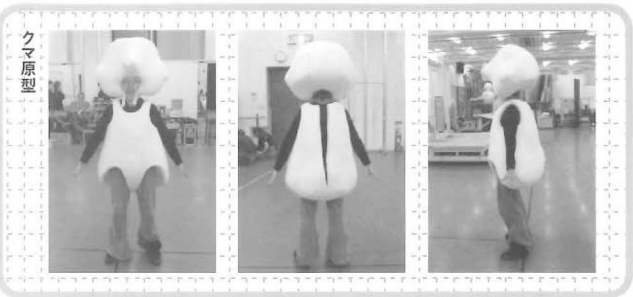
思い出しながら書いてみますが、結構な種類ですね。文字だけだとなんのこっちゃと思うモノもありますね。ちなみに何度も何個も作ったモノも有りますんで、数もかなりいってると思っています。
楽しく作ったモノや血と汗と涙とゲロを出しながら作ったモノ等、当時の思い出がグルグルと走馬灯の様にグルグルとなっております、今、私。
走馬灯はさておき、「着ぐるみ」や「かぶりもの」は楽しくて、アホみたいで愉快で、そして、実は奥の深い世界なのです。作れば作るほど色んなコトが見えてきます。作らないと解らないんで、とりあえず、作り方の説明いってみようっ。

●歌って踊れるクマの着ぐるみ●
まず、10mmのウレタンで頭にかぶる部分のベースをつくります。



より、形がしっかりキープされます。同じく役者に合わせて微調整しましょう。
首周りの穴、肩部分、股部分は力がかかる部分なのでシーチングで補強します。
この場合はGボンドで。

背割りにします。25mmのカッチン(プラスチックパーツ)+50mm幅マジテで開閉。
カッチンに綿ベルトを縫い付けたモノ×2〜3個、マジテを縫い付けたものを背割り部分にGボンドで接着。



表面は今回は毛足の短くて軽いフェイクファーっぽい生地。
動きやすさを考え、腕、脚部分はウレタンは使用せずこの生地のみ。
要はボディに合わせたつなぎを作ります。それをボディにかぶせるって感じです。
手首、足首周りはゴムを通せるように縫っときましよう。
頭部分は生地をZ-3で接着。生地のはしっこはGボンドで接着。
耳穴部分には網みたいな生地をはります。
手の部分は簡単にいうと鍋つかみみたいな感じの手袋です。
手の出入り口部分にもゴムが通せるようにしたり、手袋の中で手が遊ばない様に平ゴムを中に縫い止めたり。
足部分は靴にウレタンをはりつけて、ブリティーな形にします。
靴の内側部分にたくさんウレタンをはると危ないので、外側をメインで。
表面に生地をはりこむ。ちなみに使用した靴は体育館シューズとか上履きと呼ばれてる、白くてゴムが付いてるやつです。
で、目とか鼻とかしっぽを取り付けたら完成です。



ま、あくまで作り方の一例ですので参考になればこれ幸いです。

●私のちょっとしたこだわり●
できるだけ安全に。
できるだけ、面白く。
できるだけ、動きやすく。
できるだけ、音は聴きやすく。
できるだけ、涼しく。(まあ、暑いんですけど)
できるだけ、視野は広く。
髪の毛、特に前髪は見せないように。この方が素敵です。
カイゴロシの場合は役者が出来るだけ楽な姿勢で。
と、まあ色々ありますが、要は芝居の中でキチンと機能するコトです。

でわでわ次回「食べ物と私」でお会いいたしましょう。たぶん。

本日のPatchyと私

indie手作リインディキジヤツを3名様にドーズー。

●Patchy商品取扱店●

PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5

PUTUMAYO 原宿路面店

VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F

patchyHP ▶▶ http://www5.ocn.ne.jp/~patchy/ptop.htm

いんていかはし○68年生まれ、大阪府出身。大阪芸大在学中より劇団☆新感線に参加、現在は役者兼小道具チーフとして様々な物を生み出し続ける“現代の匠”。

次回予定○劇団☆新感線「犬顔家の一族の陰謀」7/17〜8/4○イオン化粧品シアターBRAVA!、8/11〜9/9○サンシャイン劇場

恥ずかしながら大阪在住の当方すらGフェス最終選考のラインナップを見てそんな集団が関西にあることを知ったというほどノーマークだった男肉おに(du soleil)。というわけでまずは彼らの新作公演を見に行きましたが……いやあその男肉パワーの破壊力ったら、おそろしくGフェス予選の比ではなかったと思われます。問題の予選を観てないので断定はできませんが、一応いじめられっ子がメーテルと名乗る先生注……に連れられて宇宙に行くというストーリーがあるにはあるけど、基本的にはヘナチョコな男子たちが銀×道9×9をうる覚えのまま演じたら、全然違う話になった……という感じの、素晴らしいけど文学性のカケラもない内容でも全体の雰囲気は決してユルくはなく、物語の合間には上半身裸の男子たちが踊りながらケンカなのが大変曖昧なダンスを熱く見せる。その真面目

にアホやってる姿は確かに激しく滑稽だけれども、時に不思議なぐらい見えていてキュン！とさせられたりするのだ。
「もともと芸人を目指してたんですけど、漫才やコントのような言葉を介した笑いに限界を感じて。そんな時にダンスと出会い、これなら言葉にできない笑いを表現できると思ったんです」と、主宰・演出の池浦さだ夢は結婚の動機を語る。とりわけ影響を受けたのが、なんと暗黒舞踏だ！「白塗りのあんな動きをされたら、もう言葉では形容できない凄さがありますよね？」思想的な部分は真似できないけど、「パッション舞踏」ということで、見た目的なところをオマージュと称してパクらせていただいます(笑)。(池浦。そういえば劇

池浦さだ夢

いけうらさだゆめ○83年生まれ、大阪府出身。ダウタウンに影響を受けてお笑いの世界を志す。04年に近畿大学の同級生と「男肉 du soleil」を結成。学内や路上を中心にパフォーマンスを重ね、07年には「ガーデン・演劇フェスティバル」の最終選考に残った。ちなみに現在も大学在籍中。

特搜! エンブスコープ! 関西版

男肉 du soleil

「銀河鉄道肉肉肉」

〜男肉一夢〜希望=脂肪〜

／ギャラクシーエクスプレス029

どこかでなくしたあいつのアイツ〜

作・演出○池浦さだ夢 出演○稲垣宏 江坂一平 亀井伸一郎 小石直輝 高阪勝之 児玉ともや 齋藤亮 津村志穂 吉田祐

5/12-13○Art Theater dB

次回予定○「男肉祭2008(オニキエキスボ2008)」9/29-30○アートコンプレックス

1928○精華演劇祭vol.9「いげんさん」

参加作品「タイトル未定」08年2月中旬

http://www.oniku-du-soleil.com/

この前のガーデン演劇フェスティバル最終選考に出ていた「男肉 du soleil」というダンス集団が激しく気になります！

中でも「舞踏して遊ぼうぜ」という台詞があったし、舞台後方ではふんどし姿の男性が、物語とは関係なく終始舞踏風に踊ってたりと、舞踏へのリスペクトが伝わる箇所が見受けられましたなあ……。ちなみにふんどし舞踏主は池浦いわく「大略駈艦にゲスト出演した時の土方異人のイメージ」っての。うけどそんなの全然想像つかないっ！ての。「他人が何を面白いと思うのかを完全に理解することは所詮不可能だからこうしたら観客は喜ぶだろう……」とかはあまり考えないでもたとえ自己満足な表現でも、真剣にやりましたらそれは強度のある舞台になるはず。最悪の自己満足の中でダンスだからこそできるオリジナルの笑いを追求していきたいですと池浦。さらには劇場に限らずクラブやライブハウスのような場所でスタンディングでも楽しめる舞台を作りたい……ともそんな野望を、通り聞いたところで、最終目標は？と尋ねたらその返答はシルク・ドゥ・レイユに「名前をパクって」と訴えられて、舞台ではなく法廷でガチンコ勝負してみたい……なんじゃそりゃ(笑)。

毎週火曜日は…

『火曜日のシュウイチ』!!

5月ゲスト作家は伊藤えん魔(ファントマ)。本番直前に相手と仲違いした漫才師のギリギリな心情を、多量人格の演技で体現。大河連戦芝居「ミッドナイトエクスプレス」は、ようやく主人公の高校時代のエピソードへ!

In-dependent theatre 1stにて、2008年3月末まで絶賛上演中。詳細は公式HPで! http://tuchi.secret.jp/

【NEWS!】

「特捜! エンブスコープ-関西版」では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見えなかったのでレポートして欲しい」というものから「役者の**さんの素顔が知りたい!」「▲▲劇場の近所にある○○という店が気になるので調べて下さい」というものまで。ミ〜ハーなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスコープ」係まで。

京都でカフェの中に「劇場」を作って芝居をした集団がいた、との噂を聞いたのですが?

「カフェで芝居は最近珍しくなってるけど、大人2人が立のがやっとなミニシアター」を店内に作ったと聞くと、話は別。そんな「アンタステイックな芝居を見せたのは久々の公演となったユリイカ百貨店でした」。

「バベットの劇場に等身大の人間が入り込んだら、面白い効果が生まれると思った」と作演出のなまけ江川乱歩に憧れる作家の前「コバヤシ」という少年が現れ、彼が登場する活動劇を書くよう依頼される。敵役に選ばれたのは、ある女優に恋をする白人青年だった……。芝居はミニシアター内部その周りで演じられるわけだけど、小さなプロセニアムアーチの中で役者が演技をし、時に人形に向かって台詞を語る様子は、動く紙芝居といった趣。懐かし系の小道具や映像トリックの演出も用いて、女優の心を盗む怪盗となった白人青年とコバヤシ少年による、ハートウォーミングな活動劇を展開したのだ。

ユリイカ百貨店「Dramatic Odd Theater」

作・演出○なまけ

出演○尾崎しのぶ 駒田大輔 ダニードニー・クラク 友井田亮

5/18-19○Shin-bi

5/25-26○cafe&gallery etw

次回予定○2008年4月に新作公演を予定

http://yurika100.riric.jp/

ちゃんと劇場で披露できればと思ってます(なまけ)。

現在には上演権を獲得すべく、頑張っ〜執筆中とのことだけど、もしが関係者なら、この舞台を観て一発OKを出すかどうかになあそれぐらいに妖しくもワクワクさせられる舞台だったのだから。

蠅男

赤堀雅秋

あかりまさあき◎71年生まれ、千葉県出身。作・演出家、俳優。96年劇団THE SHAMPOO HATを旗揚げし、以降全ての作品の作・演出を担当。今もっとも注目を集める演出家の一人。

第四章 脱出

台所のテーブルの上であぐらをかいて、「昨日万引きした消しゴムを彫刻していた。彫刻といえるような代物でもないが、要は己のハコを作っていた。」

松田勝。

別段何に使おうでもないが、消しゴムなど持っていないも仕方ないので、このアイデアに至る。

換気扇の隙間からか、近隣が晩飯の仕度をしているようで何やら煮物の匂いが紛れ込んでいた。普段煮物など好き好んで食したりはしないのだが、ここ最近菓子パンばかりが続いたせいか、異様なほど大きく腹が鳴り、溜まらず冷蔵庫を開けてみたが、何もあるはずもなく、またテーブルの上にあぐらをかき、消しゴムの作業に戻る。

玄關のチャイムが鳴ったので、当然のように無視する。どうせ新聞の勧誘か宗教の勧誘かNHKだ。二度三度無視してやれば、彼らはすんなり帰るものだ。彼らだって面倒は避けた。効率よく生きたいのだ。しかし今日がいつもと違ったのは二度のチャイムの後に直接扉をノックする。威圧的な感じではない。人差し指と中指の関節でコンコンと善意に満ちたノックだった。

僕が玄關の扉を開けたのは煮物の匂いのせいかもしれない。空腹云々の話ではなく、その煮物の匂いが何か胸の奥を締め付けるような、郷愁のような、もしかしたら僕は泣きたかったのかもしれない。

隣家の長谷川夫妻だった。夫婦そろって頭にバンダナを巻くような夫婦だ。いや、実際には巻いてはいないのだが、要はそういう夫婦だ。

「お母さん、いる？」口を開いたのは女だった。前歯を矯正しているらしく、ぎこちなく微笑んだ口の隙間がグロテスクだった。

「いや……」とだけ短く答えると、夫妻は顔を見合して、やがて銀縁眼鏡の男が口を開く。

「何時くらいに帰ってくる？」

「いや……」もしかしら音になつていなかったかもしれない。

煮物の甘い匂いが玄關を支配する。「ゴミとかちゃんと片付けてる？」という男の言葉に僕が何も答えずにいると、女が溜まらず興奮を飲み込むようにして言葉を紡ぐ。

「お宅の二階の窓、あるでしょ。ベランダ側じゃなくて、脇の、私たちの家側の。」

「ええ」

「最初はヒビかと思ったのよ。お宅も築二十年は経つてるでしょ。」

「ええ」

「昼間はね、そう思ったのよ。でもね、今、バツて見てみたらね、そのヒビの形がね、明らかに変わってるじゃない」

女はすでに泣いていた。男は腕組をして、真っ直ぐ僕を見据えている。

ゴキブリだった。その黒いヒビは、黒いゴキブリの隊列だった。

いつの間に背後にいた妹の信子が、おかしな丁寧語を駆使する。

「早急に対処します。二階で飼っていたハムスターが一週間前に亡くなったのです。二匹です。埋めてしまうのが忍びなかったのです。早急にシャベルを購入いたします。穴に埋めますので何卒、了承ください。」

また今日も台所のテーブルの上で目が覚めた。裏庭の柿の木の油蟬が低く鈍く鳴き続けている。再び眠ろうと目を閉じたが、一向に眠れそうにないので、やむを得ず目を開ける。この方が楽だ。目を閉じると不毛に観念的な事ばかりが頭を駆け巡り、例えば一匹の小さな蟻がそこにいたとして、それが不快ならば手の平で叩き潰せばいいものを、いらぬ優しさで殺すのを躊躇ったが故に、蟻は視界から消え去り、まだ視界の内ならばよかったものの、消え去ってしまったものだから不安ばかりが増殖せざるを得ず、次の瞬間、脇腹にツツツと異変を感じ、それはおそらく着ているTシャツの内側のほつれた糸くずによるものなのだが、先程視界から消えた蟻の存在が否めず、次の瞬間、膝の裏側にチクという痛みを感じ、いや、本当は気のせいなのわかつてはいるのだが、もうそうやってしまおうと蟻が僕の袖口

から紛れ込んだのは確信に変わり、思い切つて膝の裏側に潜む蟻を潰してやろうと手の平で叩いてみたが、ただ痛いだけで蟻が死んだか否かは確認出来ず、次の瞬間、脇腹にツツツと異変を感じ、それが糸くずだとわかつてはいるものにも拘らず、僕は無様なほどに慌ててTシャツを脱ぎ捨て、己の青白い腹や背中を見たとしても蟻などいるはずもなく、要するに、今ここで述べている蟻とは目を閉じた時の観念の喩え。

僕は、とにかく階段をあがる。信子は冷蔵庫から取り出したバツクの牛乳をラッパ飲みして、兄の命令通り、玄關で待機。僕は、四つん這いの形で一段ずつ呼吸するのも忘れたまま、獲物を狙うヒョウのごとく、とにかく、一段ずつ、二階を目指す。

「ねえ、リビングの熱帯魚、大丈夫かな」

信子が必要以上に声を荒げる。

「大丈夫だよ」

「なんで？」

二階まであと三段という所で僕は恐怖に打ち勝てず、やむを得ず、その段にバルサンをセットする。背後で信子が声を荒げている。かまっていられない場合でない。さながら時限爆弾でも処理するかのごとく、滴る大粒の汗を拭くことも出来ず、大袈裟でもなく全身は生まれたての子馬以上に震え始め、視界がぼんやりと薄れ始めたので僕は「むん」というおかしな叫び声と共にボタンを押して、転げるようにして階段を降り、玄關で呑気にケータイをいじっている信子に「ゴゴゴゴゴ」とハリウッドスターばりに叫び、靴を手に取って脱出。

長谷川夫妻が帰ってから、とにかく僕は駅前の小さな薬局に走った。オレンジ色の象バルサンを購入して、家に戻る。迷った挙句、奥の信子に声をかける。

「うん」とそんざいに返事してから、約二分後に彼女が現れる。別段替えたわけでもなく、化粧をしたわけでもなく、とにかく先程と変わらぬ姿で二分たった。僕がやるから、とにかく、お前は、玄關で待機な。俺が「ゴ」って言ったら玄關から脱出な。鍵とか財布とか持ったか？」

「なんで」

「馬鹿。バルサンやつたら二時間は外だぞ。財布と鍵と、あとケータイとか。『ゴ』って言うまで勝手に脱出すんなよ。玄關で待機だかん」

もう煮物の匂いはしない。

束から1枚！

—チラシ束の、気になる1枚—

0 1 1

久住昌之

くすみまさあき◎泉屋之（泉晴紀との合作ペンネーム）、Q.B.B.（実業・卓也との合作）で知られる漫画家、待望の単行本『新・中学生日記 7』（青林工藝舎）が発売中です！久住昌之&BLUE HIP『自由の管』はGiant Robot RecordよりW2300で好評発売中。
http://www.qusumi.com/

今回の一枚 NODA-MAP番外公演『THE BEE』

今回は束の中で「ハツ」と目を引かれたと思うと、それは映画のチラシだった。

出ている人が劇団系の役者だから、束に混じっていたのだらう。だがこれは演劇雑誌、映画のチラシは外した。それで、ためくつて、「お」と思った。また映画のチラシ。それが4枚もあると、ちょっと考えてしまった。ダメじゃないか、劇団。

それは映画の方がチラシデザインの予算もあり、有名なデザイナーが金と時間をかけているかもしれない。しかし、そういうことじゃないだろ。メジャーな映画のデザインにはできない、マイナー劇団だからこそできるような、独特のデザイン。広告代理店やスポンサーに何も言われなしアンダーグラウンドの強みか毒のように美しいチラシ。

デザインがデジタル化され、誰でも自宅、まるでデザイナーがやったような仕上がりの、きれいなチラシができるようになった。そのことに、劇団は甘んじていないか。「まるでくみしたいな」「そればいなんて、クソクラエだろう？ 違うのか？」

定職につかず、何ヶ月も稽古して、金にもならない、終わつても記憶にしか残らない演劇。だけどその1回きりの潔さこそ、芝居の芝居たる美学だとボクは思う。さすらいこそ劇団だ。チラシはその旗印であり、墓標なのだ。そればいものなんて、カスだ。身体を張ったようなオリジナルなデザインを、その背後に汗がにじんでいるチラシを、ボクは見たい。チラシに対する演出が甘いと思う。

今回、芝居のチラシでぐつと来たのは、NODA-MAP番外公演／世田谷パブリックシアター提携公演『THE BEE』。古アパートに西日が当たる何とも言えない写真に、物凄く大きく、スメバチが写り混んでいる。

もちろんヒント的にもこんな写真は撮れないだらうから、CG合成だらう。だが手法はこの劇的なビジュアルの前ではどうでもいい。中央の階段、ブロック塀、干されたシーツ。蜂の羽音……芝居はもう始まっている。

今号のチラシ

もらった場所◇
大人計画
『ドブの輝き』
5月15日(火)19:00の回
◎下北沢 本多劇場

チラシ枚数◇
60枚
(内訳、本チラシ35枚、
仮チラシ14枚、
公演外チラシ11枚)

重さ◇420g

NODA-MAP番外公演／
世田谷パブリックシアター提携公演
『THE BEE』

6/22～7/9(日本バージョン)
7/12～29(ロンドンバージョン)
◎シアタートラム

演劇ぶっくのオフィシャル携帯サイト

演劇ぶっく[携帯版]は、こんなことやってます！

07年1月よりOPENしました演劇ぶっくのオフィシャル携帯サイトですが、イロイロやってます！

その1：『公演PR掲示板』

その2：『目指せ 劇場主!』

公演PR掲示板は、その名の通り公演情報をPR出来る掲示板です。公演情報を紹介したい劇団関係者も、公演情報を閲覧したい演劇ウオッチャーも、どちら様にも簡単に使えます。使ってナンボのこの掲示板、是非ご利用下さい！

公演PRしよう	詳細情報
公演情報などがPRできます！ ◎開催日程 ●開催月 (例「3月」と入力してください) ◎開催期間: (例「3/20～3/23」) ◎劇団名: ◎劇団名漢文字 (例「大人計画であれば「お」、劇団☆新感線であれば「し」と入力してください) ◎公演名: ◎公演名漢文字 (例「少年少女」なら「し」と入力) ◎料金・チケット (以下の例のように入力してください) (1000文字まで)	◎開催期間 3/9～3/12 ◎劇団名 劇団演劇ぶっく ◎公演名 劇団演劇ぶっく ◎料金・チケット 3/9 19:00 3/10～3/11 14:00/19:00 3/12 18:00 ◎チケット 坂口真入 岡澤出 坂口真入 演出: 〇〇〇 ××× △△△ ◎お問い合わせ先 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 ◎URL

<投稿用画面>

<閲覧画面>

“わらしべ長者”という物語をご存じでしょうか？主人公が道行く人と物々交換を繰り返し、後に長者になるというお話です。これに……演劇ぶっく編集部がチャレンジしています!! ほんのりと、かすかに、本気です。演劇人の皆さんと物々交換をしまくるこの企画、最初はスロウライダーの山中隆次郎さんから頂いた“メダカ5匹”からスタートしました。いきなりメダカって……と暗雲たちこめたわらしべの矛先は、色んなモノに姿を変え、現在は、空気清浄機&ゲームボーイアドバンスSP本体&ゲームボーイアドバンス用ソフト3本になっています。意外と真面目にやっています、この企画(100%他力本願ですが)。どこに着地するのか全く分からない流浪の企画『目指せ、劇場主!!』、気になる方は今すぐアクセスを!!

アクセス方法その1
直接アクセス!

<http://kmaga.jp/engekibook/>

↑こちらのURLから直接アクセス出来ます。

アクセス方法その2
空メールを送る!

eb@kmaga.jp

件名、本文は書かずに、こちらのアドレスにそのままメールを送信して下さい。
※メール拒否設定をされている方はいったん解除して下さい。
又、ドメイン指定をされている方は“kmaga.jp”を指定ドメインに追加してください。

アクセス方法その3
QRコードから!

バーコードリーダー付きの携帯電話で下記のQRコードを取り込んで下さい。



撮影所の中にある映画の学校

映画製作会社「日活」が運営する
映画・映像スクール

現場実習制度により、在学中からプロの現場、オーディションに参加!

チャンスは現場からつかむ!



演技科 ○○○○
観客から表現側へ
俳優・声優養成

映像科 ○○○○
観る側から創る側へ

体験入学実施中!
プロ直結の環境を体験!

7/21 8/3 8/4
8/24 8/25 9/1

地区説明会
※平日であれば、いつでも見学できます。
お気軽にご連絡下さい。

名古屋 7/26 大阪 7/27 広島 7/28
福岡 7/29 仙台 7/29

資料請求・体験入学のお申込みは

日活芸術学院
NIKKATSU

0120-832-443

Eメール » school@nikkatsu.co.jp
携帯からメールで申込み » nk@am.md

www.nikkatsu.com/school/

〒182-0023
東京都調布市染地2-8-12
日活撮影所内



87

栗根まことの

人物ウォッチング

岡田達也

あわねまこと○劇団☆新感線の理数系知性派役者。
演劇モバイルでもコラムを好評連載中。
近況○「愛用のXboxが故障しました。2台目を買いまして」
次回予定○劇団☆新感線 2007年夏休みチャンピオン祭り「犬顔家の一族の陰謀」
7/17〜8/4 ○イオン化粧品 シアター BRAVA! 8/11〜9/9 ○サンシャイン劇場

田達也。いざけた男である。大阪芸大放送学科在籍時に恩師に「役者に向いている」と言われ上京。しかしこれは東京で遊ぶための口実であった。そしてキャラメルボックスのオーディションを受けるが、声が高すぎてオカマと間違われて落選する。しかし、そのマヌカな性格を買われて角川塾生として拾われる。その後、修業時代に「天国から北へ300」で舞台転換の黒子として舞台デビュー。その舞台には私も出演しており、だから彼とはもう16年のつきあひになる。その後、三度目のオーディションで合格入団。そのナメた性格から「ナメゲ」とあだ名される。そんな男が演じた「オカマ」で2位になる。なるのだから、月日は流れるものである。今では「おやが青年」で売っているが、若い頃には「オカマ」のイメージがなかった。ヤンチャな事をしたらしく、その時黒髪は隠せない。人と仲良くなるのがうまい。そのあたりがホストっぽい。ピエマン、アスパラ、ナス、タケノコが好物だが、キウリは食べられない。瓜系が苦手。スイカもダメだが、メロンだけは克服したという。値段の高いものが優先らしい。そんな男だが、実は気が優しく後輩思いで練習熱心な男なんです。多分。



第48回

『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』へ

皆さん、お元気ですか?僕は「錦織」(きんしゆ)の稽古の真つ最中です。公演は今日の21日から銀河劇場が始まります。東京公演だけのでもうびり淋しいですが、元気に頑張りたいと思います。キャラメルボックスはサマーツアー「カレッジ・オブ・ザ・ウィンド」の真最中です。さて今回は、その「カレッジ・オブ・ザ・ウィンド」に応援メッセージを送りたいと思います。

「カレッジ」の初演は1992年。今から15年前です。劇団結成7年目で初めて紀伊國屋ホールに進出するということで、劇団員全員が相当張り切っていました。どんなにやらないかと思つていても、できない劇場だったのです。しかも当時、初登場で新作公演は前例がないということで、強いプレッシャーがかつていました。このとき、失敗は許されません!!

公演の初日は新神戸オリエンタル劇場でした。今でこそ、神戸が第二のホームグラウンドとなっているキャラメルボックスですが、その頃は東京以外の土地で公演をするようになってまだ1年半。神戸で公演をするのも4回目でした。ヒロインの「ほしみ」には、それまで4公演しか出演していなかった町田久実子が抜擢されました。町田の明るさが、何より必要だと思つたのです。

「カレッジ」の1年半前、1990年の冬のことです。僕は初めて東京以外の公演のため新神戸オリエンタル劇場に出かけました。作品は「不思議なクリスマス」のつくりかた。150人とも入れば満員になる新宿シアターモリエールから600人の中劇場へ行くことは、自分たちでも無謀と自覚できる冒険でした。しかも、神戸公演の後には700人規模のシアターアプル公演が待っていました。

神戸の初日、カーテンコールで客席全員がスタンディングオベーションになりました。初めての出来事に、客席の一番後ろで演出の成井は喝采を漏らしうになり、床に泣き崩れたそうです。挨拶に出た大森美紀子も感激で言葉が出ませんでした。……実は、僕はその時のことをあまり覚えていません。感動するよりもびっくりしてしまっていたのだと思います。でも、その時思ふのです。神戸で頂いたこの恩恵は決して忘れない。そのサンタクロースが歌ってくれた「カレッジ」の初演の神戸での出来事です。そして「カレッジ」の初演の神戸での出来事です。同じ年のクリスマス公演で「サンタクロース」が歌ってくれた。12月25日を千秋楽にしたい僕たちの気持ちと劇場の日程の都合で神戸でも大阪でも上演ができなくなっていました。ところが「25日を過ぎててもいいから、うちでやらないか」と、近鉄劇場の方が声をかけてくれたのです。さて、どうしたものか?僕は、本番が終わった後に新神戸オリエンタル劇場の近くの空き地に集まりました。そこで大阪公演をやるのか?帰らないのかを、話し合いました。年末にもクリスマスツリーと銘打っているお客さんが来てくれるのか?議論はひとつにまとまりませんでした。そんな時「カレッジ」で主演を務めていた入団1年半の町田久実子が大きな声で言ったのです。「みんなで行きましょう!」

丁度、「カレッジ」本番の最中だったことが大きかったと思います。キャストもスタッフも町田が演じる「ほしみ」に感情移入していましたし、その「ほしみ」がみんなの対立する意見をひとつにしようとする

を張り上げてくれたことが分かったからです。大阪公演を行うことが、その瞬間に決まりました。その時の「カレッジ」も初日にお客さんがスタンディングで拍手をしてくれました。神戸で、公演の初日を迎えるのは「不思議なクリスマス」のつくりかた以来二度目でした。僕は、神戸の皆さんに見守られ育てられてきたのです。

それから4年後、まだ大学生だった神戸出身の小川江利子が新人オーディションを受けにきました。小川も大緊張でカチンカチンでしたが、誰からも愛される魅力を持っていました。「大学を卒業して、また受けにおいで」と不合格でしたが、この思いがありました。「この子なら次のほしみができるかもしれない」更に4年後、2000年の「カレッジ」再演で、小川江利子の「ほしみ」が生まれました。当時入団3年目の小川江利子も、それまで5公演しか出演していませんでした。

2007年、キャラメルボックスは「カレッジ」の新しいヒロインに高部あいちんを選びました。今回が初舞台の彼女、なぜ「ほしみ」をやつてもらうと思ったのか?その答えは、誰にでも愛される比喩なき明らかな困難に立ち向かえる前向きなパワーを彼女が持っていたからです。町田や小川のよう、昨年テレビ朝日系ドラマで活躍するあしたに出演したあいちんを番組のスタッフさんも絶賛していました。僕自身も度々共演して、その真の直ぐなエネルギーに「この子はうちに合ってるな」と密かに思っていました。

でも「ほしみ」は過酷な役です。精神的にも肉体的にも大変な苦勞を伴います。町田も小川も体調を崩したり喉を痛めたりしていました。正直なところ、今春に女性の主演がふたつ続くと決まっていた僕は、カレッジ「で劇団員の女の子に「ほしみ」を挑戦させること」に足を踏みました。そして、数ヶ月の会議を経て、決まるとして出会うたあいちんに贈ることにしたのです。カレッジ「がひとつの船になる。たくさんのお客さんからの風を受け止める帆になるのは「ほしみ」です。初舞台という大きな冒険を決意して、くれた勇気に、僕はあいちんと一緒に航海するクルーになろうと決めたのです。

「カレッジ」の舞台美術は、キマキマさんです。今は天国に逝ってしまったキマキさんの舞台が、しかし、「カレッジ」を上演することはできないと考えました。

さて、ここからは私信。きつと毎日頑張っていること。疲れる想像以上です。でも大丈夫、だってあなたはひとりじゃない。あなたの笑顔がみんなを元気にしてくれます。「カレッジ・オブ・ザ・ウィンド」は「風の勇気」だから。18歳の夏が素敵なものになるように。千秋楽に19歳になる高部あいちんへ。☆☆☆☆☆優勝しようぜ。浦和レッズ!!☆☆☆☆☆



にしかわひろゆき○64年生まれ、埼玉県出身。85年に演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板俳優として活躍。

次回予定○天王洲銀河劇場オープン1周年記念公演「錦織」7/21〜8/12○天王洲銀河劇場

次号予告

演劇ぶっく

10月号

no. 129

9月8日発売!

※内容は変更になることがあります、ご了承ください。

公演
NODA・MAP番外公演
『THE BEE』
劇団☆新感線
『犬顔家の一族の陰謀』
TBS／ホリプロ
『お気に召すまま』
演劇集団キャラメルボックス
『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』
劇団、本谷有希子
『ファイナルファンタジック
スーパーノーフラット』
ヨーロッパ企画
『衛星都市へのサウダージ』ほか

【連載】

インディ高橋の小道具研究所 / 栗根まことの人物ウォッチング / 西川浩幸「素晴らしきギャグ人生」 / 久住昌之「東から一枚!」 / 赤堀雅秋・小説「蜷男」 ほか

演劇ぶっく 定期購読料 値下げ敢行

演劇ぶっく社では、日頃ご愛読頂いている皆様に感謝を込めまして、2007年1月より演劇ぶっくの年間定期購読料金を値下げ致しました。

新料金は本体価格のみ!
税込み価格4,500円(年間6冊)です!

勿論送料込みでこのお値段。

定期購読なら売り切れの心配もなく、発売日に皆様のお手元に届きます。

皆様の観劇ライフを応援する演劇ぶっくの年間定期購読サービス、是非ともこの機会にお申し込み下さい!

年間定期購読お申し込みは
演劇ぶっく社楽天ショップ
【演劇と映画の本屋さん】
にて受付中!!

(PC)
<http://www.rakuten.co.jp/enbu/>

(携帯)
<http://m.rakuten.co.jp/enbu>

演劇ぶっく社が運営するエンタテインメントスクール【ENBUゼミナール】

2007年10月生 募集中!

夜間部

俳優になる!

映像俳優コース

映画界で活躍中の監督が作るオリジナル作品に出演し、その作品を映画館で公開します!

▼ 上映作品制作

一年間で三本の作品に出演!実践的な演技指導を行い、完成した作品は映画館(Q-AX CINEMAを予定)にて上映します。



担当講師
映画監督
萩生田宏治 (ほか2名)

2007年4月に全国ロードショー公開された、さそうあきらの漫画を映画化した「神童」(出演:成海璃子、松山ケンイチ、手塚理美ほか)の監督を手がける。

基礎講座

ヴォイストレーニング&ストレッチ

身体づくり、発声、またそれを生かした芝居づくりを目指します。

演技基礎 演技をする上での基礎的なノウハウを学びます。

アクション 時代劇に必須の基本的な所作から演技のきれの脱ぎ、立ち振る舞いを学びます。

演出入門 映像制作という流れの中で俳優が果たす役割を学びます。

監督×俳優コラボレート講座

監督が求める演技をいかにして自分の演技に反映させていくかを学びます。

夜間部

映画をつくる!

映画監督コース

一年間で、映画・映像作品を制作するための技術と知識を身につけ、作品を作り映画館で公開!

▼ 個人作品制作

熊切和嘉監督の指導のもと1人1本「自分が本当に撮りたい映画」を制作し、完成した作品は映画館(Q-AX CINEMAを予定)にて上映します。



担当講師
映画監督
熊切和嘉

2006年「青春☆金属バット」(竹原ピストル 安藤政信 坂井真紀出演)、2007年「フリージア」(玉山鉄二 西島秀俊 出演)と話題作を次々に公開している。

基礎講座

機材入門 ビデオカメラ・三脚・録音マイクなどの基本的な使い方を学びます。

撮影入門 ビデオカメラの特性や操作方法などについて学びます。

照明入門 照明機材の役割や使用方法について学びます。

録音入門 録音機材の役割や使用方法について学びます。

脚本入門 シナリオの書き方などを学び、オリジナル短編脚本を執筆します。

ノンリニア編集入門

パソコンを使用した映像編集の基本的な操作、編集方法を学びます。

★特別講義 表現の世界で活躍中の監督やプロデューサー、演出家などによる年一回の講義です。

映像科
特別講師

中島哲也

CMディレクター/映画監督
「嫌われ松子の一生」

石川寛

CMディレクター/映画監督
「好きだ」

下山天

映画監督
「忍-SHINOBI」

佐々木史朗

映画プロデューサー
「コワイ女」

大谷健太郎

映画監督
「NANA2」

山下敦弘

映画監督
「天然コケッコー」

久保田修

映画プロデューサー
「NANA2」

叶井俊太郎

映画宣伝プロデューサー
「子宮の記憶」

ENBUゼミナール

ADDRESS 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001 ビル 4F

TEL 03-5282-1341

URL <http://www.enbu.co.jp/zemi/>

- ① JRお茶の水駅
お茶の水橋口より徒歩2分
- ② 東京メトロ丸の内線
御茶ノ水駅2番出口より徒歩3分
- ③ 東京メトロ千代田線
新御茶ノ水駅B1出口より徒歩3分



今、本気で演劇や映画作りに取り組んでいる
演出家や映画監督とともに、
基礎から様々な表現スタイルを体験し、作品作りを行い、
劇場公演や映画館での上映をします!
それができるのが、ENBU ゼミナールです。

資料請求 無料!

☎ 03-5282-1341

🏠 www.enbu.co.jp/zemi/

📱 www.enbu.co.jp/mobile/

またはこちらの
QRコードから



夜間部

舞台に
立つ!

演劇コース

基礎を学んだ後、様々なジャンルの表現方法を実践し、一年後にはプロの演出家とともに作品をつくり劇場で公演を行います。

▼ 劇場公演

一年間学んできたことの集大成として、劇場で作品を上演します。



授業内容

まず、ゲームや即興劇を通して、演技の基本である言葉と身体の動きが同時に進行すること、相手の話に反応して演技を繋げることの訓練を行います。そのあと、実際の台本を用いて舞台作品の稽古をしていきます。



担当講師
高井浩子 (東京タンパリン)

劇作家、演出家。他劇団への執筆・演出活動も多く、昨年は「踊る大捜査線」監督の本広克行初舞台作品「Fedrica10.1.1」の台本を手がけたことで話題となった。この二人のコンビによる続編は今年公演を予定し進行中。

スタジオ実習

様々なジャンルの演劇に挑戦!実際に作品としてスタジオで発表することによって自分の魅力を探っていきます。

コメディ 実践的な指導によって、笑いを呼び起こすためのポイントを学びます。



松村武 (カムカムミニキーナ)
八嶋智人、山崎樹範が在籍する劇団カムカムミニキーナを主宰。俳優としてもNODA・MAPに出演するなど幅広く活躍している。

ミュージカル

歌、ダンス、演技など様々な方向性の表現を「魅せる」ことについて学びます。



田辺茂範 (ロリータ男爵)
柔軟な発想と寛容さをもって、小さな劇場に居ることを忘れてしまうほど、見る者に広大なイマジネーションを与えるミュージカルを展開中。

ウェルメイド 最も基本的で大切な演劇表現について学びます。

表現講座

表現の基本的な理解の仕方を学びます。

台本の読み解き方 色々な角度から脚本を読み解く方法を学びます。



板垣恭一
第三舞台を経て演出家に。今年6月、バルコ劇場にて星野真里、辺見えみり、山崎樹範ら出演の舞台「サムシング・スイート」を演出。

リーディング

言葉の立て方など、セリフを言う際の具体的なポイントを学びます。

基礎講座

自分の理想とする表現ができる身体づくりと豊かな発想力を養います。

ヴォイストレーニング&ストレッチ

身体づくり、発声、またそれを生かした芝居づくりを目指します。

演技基礎 演技をする上での基礎的なノウハウを学びます。

ダンス 身体表現の可能性を広げる試みを行います。

特別講座

それぞれの分野のプロを招いた講義。様々な角度から演劇・俳優に対する知識を深めます。

俳優講座 今もつと輝いている俳優をお招きしてお話をうかがいます。

演劇制作講座 劇団運営のためのノウハウを、現役制作者たちのリアルな視点で伝授する、特別講義。

オーディション講座 芸能プロダクションの担当者による講義。ENBUゼミ生を対象としたオーディションを行います。

演劇史概論 「演劇ぶっく」編集長による、演劇史に登場する人々に関する体感講義。

演劇科
特別講師



成井豊

劇作家、演出家/
演劇集団キャラメルボックス



ケラリーノ・
サンドロヴィッチ

劇作家、演出家/
NYLON100℃



宮沢章夫

劇作家、演出家/
遊園地再生事業団



松尾貴史

タレント/
AGAPE store主幹



柳家花緑

落語家



細川展裕

プロデューサー/
ヴィレッジ代表

▼ 説明会 スタッフが授業内容について説明し、作品などを上映します。

7/15

映像俳優コースと
映画監督コース合同
11:00~13:30

演劇コース
14:00~15:00

7/22

映画監督コース
11:00~13:00

8/5

映像俳優コース
13:30~15:00

8/19

演劇コース
13:30~14:30

9/2

★のついた日は説明会の後、体験授業を実施します。

早期出願割引 実施中!!

■7月31日(火)までに出願の方は、
早期出願割引として **50,000円** (授業料の一部)
が納入金より割引されます。
■さらに希望の方は、
8月開講のサマースクール1講座を無料で
受講できます!



演劇界の情報のみならず、映画、DVD、本、
などなど、様々な「旬」の情報をご紹介します!
気になるモノは要チェック!



◇「common cafe—人と人が
会おう場のつくりかた—」(山
納洋・著) ¥1,575 (税込) 発売
中。お問い合わせ: 西日本出版
社 06-6338-3078 [http://
www.jimotonohon.com/](http://www.jimotonohon.com/)

人と人が“会おう”ためには? 元OMSマネージャーが明かす!

04年に大阪・中崎町にオープンした「common cafe」。
このカフェでは、日替わり主人が素材を持ち込み、ラン
チやデザートを出している。主人はみな、カフェをオープン
させたい人や興味のある人たち。夜は音楽や演劇などの
イベントが行われている。町の情報発信基地でもある
このカフェのオーナーは、関西小劇場演劇のメッカ・OMS
(扇町ミュージアムスクエア) のマネージャー経験のある山納洋さん。「common cafe—人と人が会おう場の
つくりかた—」は、どういう経緯で「common cafe」が立
ち上げられ、そこからどんなプロジェクトが起こったかにつ
いてまとめた一冊。人を育て、文化を生む場には、人と人
との出会いがある。「会おう」ノウハウが満載のこの本は、
きっとあらゆる場の運営に役立つはず。



◇あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズア
リーナビル2F
TEL:03-5391-0751 / FAX:03-5391-0752
www.owlspot.jp/ / 開館時間:9:00～22:00 (今年
7月末までは9:00～17:00)

東池袋に新劇場 「あうるすぽっと」オープン! 新しい芸術の拠点に

再開発により新しく生まれ変わる東池袋に、9月10日
に新劇場がオープンする。劇場名は「あうるすぽっと」
(豊島区立舞台芸術交流センター)。新しい文化・
芸術の拠点となり、池袋副都心に新たな賑わいを創
出し、文化コミュニティを形成することを目指す。柿落
とし公演には、小田島雄志氏を企画監修に迎え、名
作『ハロルド&モード』のミュージカルを日本で初上演
する。その他にも、ロマンス劇『駅・ターミナル』、岸田
賞作家・松田正隆の代表作『海と日傘』、三島由紀
夫作品『朱雀家の滅亡』など、多彩なラインナップが
揃った。客席は301席で、コンパクトで臨場感あふれる
ブラックボックスの劇場。広い舞台とスタイリッシュな
客席で、ゆったりと快適な時間を過ごしたい。



◇CDブック『ばらばら』
¥2,940 (税込) 発売中。お
問い合わせ: 株式会社リトルモ
ア 03-3401-1042

星野源×平野太呂の ふしぎで心地よいCDブック

SAKEROCKのリーダー・星野源と、ア
メリカ西海岸の廃墟のブルの写真
シリーズで話題を呼んだ写真家・平
野太呂。2つの才能が出会い、1冊の
本が生まれた。05年に200枚限定の
自主制作盤としてリリースされた幻の
CD『ばかのうた』に新録曲を追加した
星野源の歌と、SAKEROCKのジャケッ
ト写真も手がける平野太呂の未公
開・撮り下ろし写真。2人の個性が競
い合い、豊かに響き合う音楽写真本
の誕生です!

オーディションニュース

演劇界で活躍したい人の情報ページ

【アミューズ30周年全国オーディション】

アミューズが来年10月に30周年を迎えるにあたり、
11都市でオーディションを開催します。
グランプリ受賞者には、賞金100万円とアミューズ製作映画(08年制作予定)への
出演も予定されております。

【資格】
12～19歳の男女で俳優・女優・モデル・タレントを目指し
ている人。特定のプロダクションやレコード会社と契約
のない人。
【選考】
一次審査(書類&データ審査)通過者のみ二次審査
(面接)を行います。二次審査は下記の11都市で開催。
7/29(日)札幌、8/4(土)名古屋、8/5(日)広島、8/11
(土)福岡、8/12(日)熊本・高松、8/19(日)仙台・沖縄、
8/25(土)京都、8/26(日)大阪、9/2(日)東京
尚、最終審査は9/17(月・祝)に東京国際フォーラムB7
にて開催いたします。

【応募方法】
●郵送の場合
履歴書に二次審査の希望会場(上記参照)を明記し、顔が
写真2枚(顔・全身)と、保護者の同意文捺印の上、自分
の住所・氏名記載の80円切手を貼った返信用封筒を
同封して、下記宛先までご応募ください。※郵送での応
募者には郵送で合否通知。
【宛先】
〒150-8570 アミューズ「全国オーディション」係
※住所の詳細は書かなくても構いません。

●PCの場合
二次審査の希望会場(左記参照)を明記のうえ、顔が
はっきりとわかる上半身の写真を添付して
<http://www.amuse-audition.jp/>からご応募ください。
※保護者の同意が必要。
●携帯の場合
QRコードまたは[http://www.
amuse-audition.jp/](http://www.amuse-audition.jp/)よりご
応募ください(詳細はPCの場
合を参照)。
※PC・携帯からの応募者は
受付完了の返信メールをお
送りします。また、合否に関
わらず、7/23に結果をメールにてご連絡します。必ず
audition30@amuse.co.jpからのメールが受け取れる
ようにドメイン解除をしてください。また、PC・携帯・郵送の
複数の応募はできませんので、ご注意ください。
【締切など】
7/17(火)必着(郵送)、7/17(火)24:00(PC・携帯)
【お問い合わせ】
アミューズ30周年全国オーディション事務局
TEL:03-5457-3399(平日15:00～18:00)
<http://www.amuse-audition.jp/>



当コーナーに情報掲載を希望する方は、①～⑥の項目を記入し、郵送・FAX・メールのいずれかに弊社までお
送り下さい。
①団体名②募集内容③募集の締切とその手段(郵送、FAX、電話、メール等)④PR文(100字以内)⑤連絡先
⑥情報担当者の名前、住所、連絡先(編集部の管理用です。で、電話番号は必須です)
受付は随時行いますが、基本的に奇数月末日までに応募頂いた上で、先着順にて次号に掲載させて頂きます。
掲載は無料ですが、同一集団の連続掲載、有料の研究生募集、有料ワークショップ等は掲載致しません。掲
載についてのお問い合わせはご遠慮下さい。尚、編集部から担当者様へのご連絡先電話番号が明記されてい
ない場合や、同一集団の連続掲載依頼などが続いた場合は、今後の掲載をお断りする場合もございます。何卒
御了承下さいませ。

▶ 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F (街演劇ぶっく社
「オーディションニュース」係
▶ FAX: 03-5282-0170 ▶ E-mail: info@enbu.co.jp

※当コーナーで募集する個人情報は、掲載を希望される団体の担当者様に本誌掲載に関するご連絡を差し上げる以外の目的には使用致しません。

◆【団体名】MIDCP×3(ミッドシー×3)

【募集内容】「劇的リーディング」キャスト・スタッフオー
ディション
【締切りなど】詳細は問い合わせ
【PR】「劇的リーディング」は、演劇と読書を“想像力”で
融合させ、新たな劇的世界を創り出そうという舞台です。
企画・構成・演出・土井美和子。05年に、柄本明と剣
幸の出演で“生きもの編”、今年4月には、平田満と竹下
明子の出演で“旅する編”を上演。そこでこの度、本格的
シリーズ化にあたり、登録メンバーを求めるオーディシ
ョンを行います。意欲的でクリエイティブなセンスのある方、
関心のある方は、下記まで。

TEL:090-8045-2079 オーディション係
E-mail: little-g.15052007@ezweb.ne.jp

◆【団体名】演劇集団Sense

【募集内容】劇団員募集
【締切りなど】特にありません。随時募集しています。
【PR】スタートしたばかりの出来たてアツアツ劇団です。
経験の有無は問いません。あなたの参加が、劇団を大き
くします! ホームページを見て少しでも気になったら連絡
下さい。下記ホームページ内の応募フォームより、応募も
受け付けております。
【連絡先】
E-mail: moonlightlover106@yahoo.co.jp
<http://www.batteki.com/sense/>

◆【団体名】Re:すた～と

【募集内容】役者、スタッフ、脚本家募集
【締切りなど】随時 / TEL、FAX、メール
【PR】笑いあり、涙ありの熱いエンターテインメントの芝居を
目指して旗揚げした二人組です。とにかく芝居を楽しめる
方! 楽しみた方!! 大募集!! 自分が楽しみなきや相手を楽
しますことなんて出来んやろ!! をモットーに頑張ってます。
【連絡先】
TEL:090-2112-4088 / FAX:06-6998-4169
E-mail: tukiyoahamkazuki@gmail.com

◆【団体名】劇や

【募集内容】出演者、会員募集【締切りなど】随時
【PR】一緒に芝居しましょう。稽古場:市川市周辺
【連絡先】
〒272-0114 市川市本郷17-16-A203 大杉(おおがき)
TEL:080-5472-2038 / E-mail: info@geki-ya.com

◆【団体名】workom

【募集内容】役者、スタッフ募集
【締切りなど】随時 / ハガキ、もしくは封書
【PR】前衛劇団「workom」では役者・スタッフを募集して
います。常に既成概念を疑い、皆で自由に世界に通用
する作品を創っています。“生きる事”を見つめてみたい
方、現代アート好きな方もぜひ。稽古は池袋周辺です。
【連絡先】
〒366-0051 埼玉県深谷市上柴町東6-9-5 柴崎



◇DVD『アザーライフ スタンダード・エディション』
¥3,570 (税込)、『アザーライフ プレミアム・エディ
ション』¥5,985 (税込) 7/25 (火) 発売。お問い合
せ: ディースクエア・ピクチャーズ 048-822-388
http://d2pictures.drive.ne.jp/other_life/

キャラメルボックス、 StudioLifeのアノ人が出演! 『アザーライフ』DVD発売決定

06年に劇場公開され、好評を博した映画
『アザーライフ』のDVDが、ついに発売! 主
演は遠藤憲一。ほかにも、池田成志、キャ
ラメルボックスの岡田達也・大内厚雄、
StudioLifeの笠原浩夫・山本芳樹・岩崎
大と、ファンにはたまらない多彩な出演者が
揃ったこの作品は、本格群像ミステリー。まっ
たく接点のない人生を送る12人が複雑に絡
み合い、驚愕のラストへ……。張り巡らされ
た伏線と仕掛けられた罠に、喰らわれます。



◇DVD『ホレゆけ! スタア☆大作戦 ～ま
りもみ危機一髪! ～ SECRET FILE!』
8月1日発売 ¥10,395 (税込)
発売元: キューブ/ポニーキャニオン

ドラマ『ホレゆけ! スタア☆大作戦 ～まりもみ危機一髪!～』が8/1に DVD化

今「つか、その番組知らない!」と思ったアナタ、そのリアク
ションはある意味正しいです。このドラマは、全国ネットでは
なく放送地域を限定した番組。そして、意外にも東京地上
波では0.A.していないのです! にも関わらず、主演は古田
新太&生瀬勝久、毎回変わるゲスト陣は、藤木直人、長谷
川京子、宮藤官九郎 etc……という豪華さ。企画・原案に
は倉本美津留、プロデューサーには波多野健と、後に伝
説的ドラマになりそうな予感がぶんぶんします。そんなドラマ
の待望のDVD化、個人的にも気になります! くりです!



人気タレントが集結! 『OUT OF ORDER～偉人伝心～』 DVD発売中

名倉潤、堀内健、アンガールズなどの人気タレントが集
結し、音楽とお笑いが融合した新感覚エンターテインメン
ト「OUT OF ORDER～偉人伝心～」今年3月に上演さ
れた話題の舞台が早くもDVDになりました。エジソン、ラ
イト兄弟、ファール、ナイチンゲール、チャイコフスキー、
清水の次郎長……そうそうたる偉人たちを縦横無尽に
演じる、笑いと涙の150分。これを観て“元気”をもらおう!

◇DVD『OUT OF ORDER～偉人伝心～』¥4,725 (税込) 発売中。
お問い合わせ: ビクターエンタテインメント株式会社 03-5467-6355



Piper『スプーキーハウス』が 待望の再DVD化決定

P.68～のインタビューで話題に上がったPiper第5回
公演「スプーキーハウス」。上演当時からファンの熱
い支持を受けた今作ですが、公演DVDは劇場での
限定発売のみで、すっかり買いそびれてしまったファン
も多かったとか。しかし、今回のPiper10周年公演を
記念して、その幻のDVDが再版されることに! この「ス
プーキーハウス」の続編にあたるのが、新作「ひー
はー」。チケットをGETし本番を心待ちにしている方は、
このDVDでひーはーの予習を試みるのもいいかも。

◇DVD Piper 第5回公演「スプーキーハウス」
7月25日発売 ¥5,040 (税込) 発売元: R and C Ltd.



◇神保町花月
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-23 神保町シアタービル TEL:03-3219-0678
www.fandango.co.jp/jimbocho/ / 営業時間: 平日 11:00～21:00、土日祝 10:00～19:00

演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告ス
ペースをご用意させて頂いており
ます。
これまでも「演劇公演のご案内」、
「劇団員の募集広告」、「学校・
スクールの生徒募集広告」、「稽
古スペースのご案内」など効果
的な宣伝媒体としてご利用いた
だいております。

広告料金表 (税込)

掲載面	スペース	色数	料金	サイズ
表4	1P	4	577,500	275×195
表2	1P	4	420,000	276×187
本文	1P	4	315,000	276×187
本文	1P	1	210,000	276×187
本文	タテ1/3P	4	105,000	276×55
本文	タテ1/3P	1	84,000	276×55
本文	タテ1/6P	1	52,500	130×61

etc……

この他にも用途・目的等に合わ
せた各種スペースがございます。
広告掲載のご検討や詳しい入稿
方法など、お気軽にお問い合わせ
下さいませ。

演劇ぶっく

■創刊／1986年4月25日

■発行形態／隔月刊／

奇数月9日発売

■定価／750円 (税込み)

■判型／A4判・平綴じ

演劇ぶっくは、小劇場や新しい
演劇の流れを中心に幅広く舞台
をとりあげるエンタテインメント・フ
ォト・マガジンです。

■お問合せ

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3

DH2001Bldg.4F

演劇ぶっく編集部

tel:03-5282-1340

fax:03-5282-0170

acteur

【アクチュール】最新刊 No.7



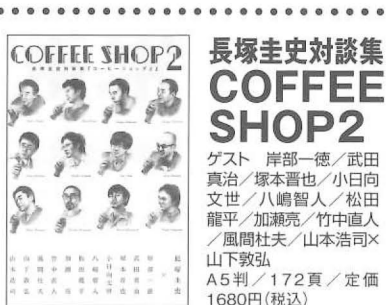
ロングルボ 妻夫木聡 / インタビュー&トーク 阿部 サダヲ、松山ケンイチ、忍成修吾、斉藤工 / 連載 井上 芳雄、長塚圭史対談ゲスト・深津絵里 etc..
A4判変型 / 102ページ / 定価980円(税込)

バックナンバー好評発売中

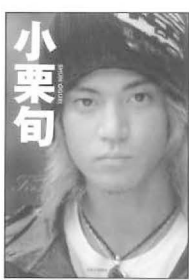
- | | | |
|-------------|------|----------------|
| No.1 | 巻頭特集 | 豊川悦司 |
| No.2 | 巻頭特集 | 妻夫木聡 |
| No.3 | 巻頭特集 | 阿部 寛 |
| No.4 | 巻頭特集 | 木村拓哉 |
| No.5 | 巻頭特集 | オダギリジョー |
| No.6 | 巻頭特集 | 浅野忠信 |

各巻ともA4判変型 / 定価980円(税込)

*** 編集部ブログ更新中! ***
http://www.kinejun.com/acteur/blog.html



第1弾『COFFEE SHOP』も発売中



キネマ旬報社
東京都港区赤坂4-9-17 TEL 03-6439-6462
http://www.kinejun.com

8/21(火)
トム・プロジェクト プロデュース
『狐狸狸理はなし』
●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町2-22)0798-68-0223
脚本:北條秀司 演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演:篠井英介/ラサール石井/板尾創路/六角精児/真山竜志/他
(料) 全席指定 ¥5,500
(電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

関西 その他

びわ湖ホール
滋賀県大津市打出浜15-1
077-523-7136
http://www.biwako-hall.or.jp/

中ホール

9/2(日)
松竹大歌舞伎
二代目中村錦之助襲名披露
出演:中村錦之助/中村梅玉/中村東蔵/中村時蔵/中村松江/尾上松緑 他
(料) S席 ¥7,000、A席 ¥5,000
(電)財びわ湖ホール 0775237136

定期公演館以外

7/21(土)
松竹大歌舞伎
●岸和田市立 浪切ホール大ホール 0724-39-4866
出演:市川右近/市川笑也/市川猿弥/市川笑三郎/市川春猿/他
(料) S席 ¥7,000、A席 ¥5,000
3階席 ¥1,500
(電)浪切ホールチケットカウンター 0724394915

8/4(土)・8/5(日)
納涼 茂山狂言祭2007
●大槻能楽堂 06-6761-8055
出演:茂山千作/茂山千之丞/茂山千五郎/茂山あきら/茂山千三郎/他
(料) 全席指定 ¥6,000
(電)株式会社 セクター・エイティエイト0663538988

8/18(土)
トム・プロジェクト プロデュース
『狐狸狸理はなし』
●ラブリールホール大ホール(河内長野市西代町12-46)
0721-56-6100
脚本:北條秀司 演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演:篠井英介/ラサール石井/板尾創路/六角精児/他
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)ラブリールホール0721566100

9/9(日)・9/10(月)
『愛、時をこえて 関ヶ原異聞』
●岸和田市立 浪切ホール大ホール 0724-39-4866
作・演出:岡本さとる 音楽:加藤和彦 出演:貴城隼/市川段治郎/吉野圭吾/華城幸規/市川笑也
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
B席 ¥4,500
(電)アーティストジャパン 0368203500

9/9(日)・9/10(月)
『愛、時をこえて 関ヶ原異聞』
●岸和田市立 浪切ホール大ホール 0724-39-4866
作・演出:岡本さとる 音楽:加藤和彦 出演:貴城隼/市川段治郎/吉野圭吾/華城幸規/市川笑也
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
B席 ¥4,500
(電)アーティストジャパン 0368203500

7/12(木)
『宝塚BOYS』
●北海道厚生年金会館(札幌市中央区北1区12)011-231-9551 地下鉄西11丁目駅7分
脚本:中島淳彦 演出:鈴木裕美 出演:葛山信吾/吉野圭吾/柳家花緑

神戸・宝塚
新神戸オリエンタル劇場
神戸市中央区北野町1-3
新神戸オリエンタルシティC3・2F
078-291-1100 地下鉄新神戸駅2分
7/20(金)～7/22(日)
劇団赤鬼
『フィク・ハート』
作:高見健次 作・演出:吉村シェークリーム 出演:行澤孝/小野弓/川浪ナミヲ/原敏一/山口弘美/他
(料) 全席指定 ¥3,500
(電)劇団赤鬼0782223702

8/10(金)
ミュージカル
『Freddie』
演出:主・演:森山未来 出演:モダン ミリカン/ニーニ
(料) S席 ¥5,500、A席 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0782911100

8/24(金)～8/26(日)
夢工房もだんみりい 第四回公演
『戦争わんだ〜』
演出:主・演:森山未来 出演:モダン ミリカン/ニーニ
(料) S席 ¥5,500、A席 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

定期公演館以外
7/11(水)
劇団/ガダンダンブエノ 双六公演
『砂利』
●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町2-22)0798-68-0223
作:本谷有希子 演出:倉持裕 出演:坂東三津五郎/田中美里/片桐ようり/酒井敏也/山西惇/他
(料) S席 ¥7,000、A席 ¥5,000
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/14(土)
美輪明宏
『音楽会く愛〜』
●神戸国際会館こくさいホール(神戸市中央区東1丁目)
1-7)078-231-8162 JR神戸駅5分
神戸阪急南側
(料) S席 ¥7,500、A席 ¥6,000
B席 ¥5,000
(電)神戸国際会館0782318162

7/25(水)～7/27(金)
『国盗人』
●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町2-22)0798-68-0223
作:河合祥一郎 演出・出演:野村萬斎 衣裳:コシノジュンコ 出演:白石加代子/石田幸雄/大森博史/今井朋彦/山野史人/他
(料) A席 ¥8,000、B席 ¥6,000
(電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

8/1(水)・8/2(木)
北京ダンス・アカデミー
●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町2-22)0798-68-0223
(料) A席 ¥4,000、B席 ¥3,000
(電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

8/18(土)
『ちぎれた雲はどこへ行く』
●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町2-22)0798-68-0223
作:山野ゆう/赤堀二英 演出:伏見 悦男 作曲:坂田おさむ 出演:杉田あきひろ/鈴木早智子/三倉美奈/三倉佳奈/ウガンダナ/他
(料) 指定席 ¥4,800
(電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

8/24(金)・8/25(土)
コンドルス
『2007 夏のダンス公演』
●IMPホール(中央区難波見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

友香/赤塚篤紀/及川以造/逸見輝羊/吉田学/他
(料) 全席指定 ¥6,300
(電)サウンドクリエイター 0663574400

大阪市内

定期公演館以外

7/14(土)～8/4(土)
劇団☆新感線 2007年夏休みチャンピオン祭り
『犬顔家の一族の陰謀〜金田真一耕助之介の事件です。〜』
●イオン化粧品 シアター-BRAVA!
作・演出:いのうえひでのり 出演:古田新太/宮藤官九郎/勝地涼/橋本じゅん/高田聖子/他
(料) お問い合わせを
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/20(金)
松竹大歌舞伎
●ウェルシティ大阪厚生年金会館芸術ホール(西区新町1-14-15)06-6532-6301
出演:市川右近/市川笑也/市川猿弥/市川笑三郎/市川春猿/市川段治郎/市川門之助/他
(料) S席 ¥7,000、A席 ¥5,000
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/25(水)・7/26(木)
『歌の翼にキミを乗せ〜ロクサーズに捧げるハイネの詩〜』
●ウェルシティ大阪厚生年金会館芸術ホール(西区新町1-14-15)06-6532-6301
作:羽原大介 演出:杉田成道 出演:観月ありさ/西村雅彦/安田 顕/村杉肇之介/武田晴晴/他
(料) S席 ¥7,500、A席 ¥6,000
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/14(土)・8/5(日)
『サウンド オブ ミュージック』
●大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)06-6772-5931 近鉄上本町駅/地下鉄谷町九丁目駅7分
演出・台本・訳詞:西田直木『ドレミの歌』作詞・特別出演:ベギー・葉山 出演:中村香織/美木良介/夏樹陽子/吉田要士/相原奈保子/綿引さやか/ダブルキャスト/他
(料) S席 ¥9,500
(電)サウンドオブミュージック公演事務局0423708036

8/8(水)～8/12(日)
ブロードウェイ・ミュージカル
『ヘアスプレー』
●フェスティバルホール(北区下之島2-3-18)06-6231-2111 地下鉄四つ橋線肥後橋駅4番出口
(料) BOX席 ¥15,000、S席 ¥11,500
A席 ¥9,500、B席 ¥7,500
C席 ¥5,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/9(木)～8/16(木)
演劇集団キャラメルボックス
『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』
●イオン化粧品 シアター-BRAVA!
脚本・演出:成井豊 出演:高部あゆ(ゲスト)/大内厚雄/岡内美喜子/岡田さつ子/山田幸伸(ゲスト)/他
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)キャラメルボックス 0120481315

8/24(金)・8/25(土)
コンドルス
『2007 夏のダンス公演』
●IMPホール(中央区難波見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/25(土)
ブロードウェイミュージカル
『フロッグとトード 〜がま君とこえる君の春夏秋冬〜』
原作:アニー・ローベル・ローベル 上演:台本・訳詞:高橋亜子 演出:鈴木裕美 出演:石丸謙二郎/川平慈英/おかもたはじめ/高谷あゆみ/中山昇/他
(料) 全席指定(大人) ¥6,500 (子供) ¥5,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

(料) 全席指定 ¥11,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

8/15(水)～8/19(日)
ミュージカル
『アニー』
出演:伊藤有沙・栗原沙也加(アニー)/目黒花樹/杏子/岩崎良美/本間恵一/太田彩乃/嶋崎伸夫/他
(料) 指定席 ¥8,000
(電)アニー音楽葛センター 0662338887

8/25(土)
ブロードウェイミュージカル
『フロッグとトード 〜がま君とこえる君の春夏秋冬〜』
原作:アニー・ローベル・ローベル 上演:台本・訳詞:高橋亜子 演出:鈴木裕美 出演:石丸謙二郎/川平慈英/おかもたはじめ/高谷あゆみ/中山昇/他
(料) 全席指定(大人) ¥6,500 (子供) ¥5,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

8/30(木)～9/2(日)
Piper
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper(川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介)/他
(料) 全席指定 ¥6,800
(電)キョードーチケットセンター 0663773888

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/14(土)・8/5(日)
『サウンド オブ ミュージック』
●大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)06-6772-5931 近鉄上本町駅/地下鉄谷町九丁目駅7分
演出・台本・訳詞:西田直木『ドレミの歌』作詞・特別出演:ベギー・葉山 出演:中村香織/美木良介/夏樹陽子/吉田要士/相原奈保子/綿引さやか/ダブルキャスト/他
(料) S席 ¥9,500
(電)サウンドオブミュージック公演事務局0423708036

8/8(水)～8/12(日)
ブロードウェイ・ミュージカル
『ヘアスプレー』
●フェスティバルホール(北区下之島2-3-18)06-6231-2111 地下鉄四つ橋線肥後橋駅4番出口
(料) BOX席 ¥15,000、S席 ¥11,500
A席 ¥9,500、B席 ¥7,500
C席 ¥5,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/9(木)～8/16(木)
演劇集団キャラメルボックス
『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』
●イオン化粧品 シアター-BRAVA!
脚本・演出:成井豊 出演:高部あゆ(ゲスト)/大内厚雄/岡内美喜子/岡田さつ子/山田幸伸(ゲスト)/他
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)キャラメルボックス 0120481315

8/24(金)・8/25(土)
コンドルス
『2007 夏のダンス公演』
●IMPホール(中央区難波見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/23(月)～7/26(木)
北区つかこうへい劇団
つかこうへい2本立て『ヒモのはなし/黒谷友香エンタレズ 熱海殺人事件〜売春捜査官〜』
●フナバシ方ワッパホール(大阪府大阪市中央区難波千日前12-7)06-6631-0884
<第1部>三浦祐介一人芝居『ヒモのはなし』作:つかこうへい 構成・演出:蓮見正幸 出演:三浦祐介
<第2部>黒谷友香エンタレズ「熱海殺人事件〜売春捜査官〜」作・演出:つかこうへい 出演:黒谷

(電)リリアチケットセンター 0482549900
9/5(水)
松戸・狂言のタベ
●森のホール21 小ホール(松戸市千駄堀646-4)047-384-5050 JR武蔵野線 新八柱駅or新京成線 八柱駅 15分
出演:野村萬斎/野村万之介/石田幸雄/他
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)アニー音楽葛センター 0473659911

9/8(土)
中村勘太郎 中村七之助 錦秋特別公演
●君津市民文化ホール 大ホール (君津市三直622)0439-55-3300
JR君津駅タクシー15分
(料) 一等席 ¥6,800
二等席 ¥5,800、三等席 ¥4,000
(電)君津市民文化ホール 0439553300

9/8(土)
中村勘太郎 中村七之助 錦秋特別公演
●君津市民文化ホール 大ホール (君津市三直622)0439-55-3300
JR君津駅タクシー15分
(料) 一等席 ¥6,800
二等席 ¥5,800、三等席 ¥4,000
(電)君津市民文化ホール 0439553300

8/30(木)～9/2(日)
Piper
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper(川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介)/他
(料) 全席指定 ¥6,800
(電)キョードーチケットセンター 0663773888

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/14(土)・8/5(日)
『サウンド オブ ミュージック』
●大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)06-6772-5931 近鉄上本町駅/地下鉄谷町九丁目駅7分
演出・台本・訳詞:西田直木『ドレミの歌』作詞・特別出演:ベギー・葉山 出演:中村香織/美木良介/夏樹陽子/吉田要士/相原奈保子/綿引さやか/ダブルキャスト/他
(料) S席 ¥9,500
(電)サウンドオブミュージック公演事務局0423708036

8/8(水)～8/12(日)
ブロードウェイ・ミュージカル
『ヘアスプレー』
●フェスティバルホール(北区下之島2-3-18)06-6231-2111 地下鉄四つ橋線肥後橋駅4番出口
(料) BOX席 ¥15,000、S席 ¥11,500
A席 ¥9,500、B席 ¥7,500
C席 ¥5,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/9(木)～8/16(木)
演劇集団キャラメルボックス
『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』
●イオン化粧品 シアター-BRAVA!
脚本・演出:成井豊 出演:高部あゆ(ゲスト)/大内厚雄/岡内美喜子/岡田さつ子/山田幸伸(ゲスト)/他
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)キャラメルボックス 0120481315

8/24(金)・8/25(土)
コンドルス
『2007 夏のダンス公演』
●IMPホール(中央区難波見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/23(月)～7/26(木)
北区つかこうへい劇団
つかこうへい2本立て『ヒモのはなし/黒谷友香エンタレズ 熱海殺人事件〜売春捜査官〜』
●フナバシ方ワッパホール(大阪府大阪市中央区難波千日前12-7)06-6631-0884
<第1部>三浦祐介一人芝居『ヒモのはなし』作:つかこうへい 構成・演出:蓮見正幸 出演:三浦祐介
<第2部>黒谷友香エンタレズ「熱海殺人事件〜売春捜査官〜」作・演出:つかこうへい 出演:黒谷

(電)リリアチケットセンター 0482549900
9/5(水)
松戸・狂言のタベ
●森のホール21 小ホール(松戸市千駄堀646-4)047-384-5050 JR武蔵野線 新八柱駅or新京成線 八柱駅 15分
出演:野村萬斎/野村万之介/石田幸雄/他
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)アニー音楽葛センター 0473659911

9/8(土)
中村勘太郎 中村七之助 錦秋特別公演
●君津市民文化ホール 大ホール (君津市三直622)0439-55-3300
JR君津駅タクシー15分
(料) 一等席 ¥6,800
二等席 ¥5,800、三等席 ¥4,000
(電)君津市民文化ホール 0439553300

9/8(土)
中村勘太郎 中村七之助 錦秋特別公演
●君津市民文化ホール 大ホール (君津市三直622)0439-55-3300
JR君津駅タクシー15分
(料) 一等席 ¥6,800
二等席 ¥5,800、三等席 ¥4,000
(電)君津市民文化ホール 0439553300

8/30(木)～9/2(日)
Piper
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper(川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介)/他
(料) 全席指定 ¥6,800
(電)キョードーチケットセンター 0663773888

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/21(火)・8/22(日)
ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』
演出・潤色・訳詞:松本祐子 出演:高畑充希/菊持たまき/比企理恵/峯真吾/鶴見辰吾/他
(料) S席(おとな) ¥7,500 (子ども) ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

8/14(土)・8/5(日)
『サウンド オブ ミュージック』
●大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)06-6772-5931 近鉄上本町駅/地下鉄谷町九丁目駅7分
演出・台本・訳詞:西田直木『ドレミの歌』作詞・特別出演:ベギー・葉山 出演:中村香織/美木良介/夏樹陽子/吉田要士/相原奈保子/綿引さやか/ダブルキャスト/他
(料) S席 ¥9,500
(電)サウンドオブミュージック公演事務局0423708036

8/8(水)～8/12(日)
ブロードウェイ・ミュージカル
『ヘアスプレー』
●フェスティバルホール(北区下之島2-3-18)06-6231-2111 地下鉄四つ橋線肥後橋駅4番出口
(料) BOX席 ¥15,000、S席 ¥11,500
A席 ¥9,500、B席 ¥7,500
C席 ¥5,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

8/9(木)～8/16(木)
演劇集団キャラメルボックス
『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』
●イオン化粧品 シアター-BRAVA!
脚本・演出:成井豊 出演:高部あゆ(ゲスト)/大内厚雄/岡内美喜子/岡田さつ子/山田幸伸(ゲスト)/他
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)キャラメルボックス 0120481315

8/24(金)・8/25(土)
コンドルス
『2007 夏のダンス公演』
●IMPホール(中央区難波見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

7/23(月)～7/26(木)
北区つかこうへい劇団
つかこうへい2本立て『ヒモのはなし/黒谷友香エンタレズ 熱海殺人事件〜売春捜査官〜』
●フナバシ方ワッパホール(大阪府大阪市中央区難波千日前12-7)06-6631-0884
<第1部>三浦祐介一人芝居『ヒモのはなし』作:つかこうへい 構成・演出:蓮見正幸 出演:三浦祐介
<第2部>黒谷友香エンタレズ「熱海殺人事件〜売春捜査官〜」作・演出:つかこうへい 出演:黒谷

演:推雅裕美子/禿恵/新堀航/前田裕己/安達俊信/他
(料) 全席自由 ¥2,200
(電)劇団唐ゼミ★0453337185

関東 その他

社のホールはしもと
神奈川県横浜原市橋本3-28-1
京王相模原線、JR相模線、JR横浜線
橋本駅北口ミウイ橋本7F
042-775-3811 http://www.hall-net.or.jp

8/8(水)
ミュージカル
『Freddie』
(料) 全席指定 ¥4,000
(電)社のホールはしもと 0427753811

よこすか芸術劇場
横須賀市本町3-27 0468-28-1600
京浜急行横須賀駅1分

7/15(日)
松竹大歌舞伎
(料) S席 ¥5,000、A席 ¥4,000
(電)横須賀芸術劇場0468239999

彩の国さいたま芸術劇場
与野市上峰3-15-1 048-858-5500
JR与野本町駅10分

大ホール
7/28(土)・7/29(日)
サシャ・ヴァルツ&ゲスツ
『ケルバー(身体)』
演出・振付:サシャ・ヴァルツ
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥4,000
(電)財団チケットセンター 0488585511

8/9(木)～9/2(日)
『エレンディア』<

e+STAGE

ENBU
出張版

チケット・サービスでおなじみe+(イープラス)が、「演劇ぶっく」読者の皆さまに、
オススメチケットをご紹介します！
今回のオススメチケットはコレです！

e+ イープラス
特撰チケット

ハイバイ「兄弟舟」「ポンポン」 2本立て公演 再演とレビュー

☆いま世間の注目を最も集めている新進気鋭劇団、ハイバイの次回公演は、過去の名作「ポンポン」(2005年6月初演 in ルデコ)と、最新作「兄弟舟」レビューを一挙に見られるWチャンス！

☆e+(イープラス)では、ハイバイのチケットは特別に、全販売期間中「すぐチケ」実施。ハイバイ公演なら、公演日10日前を待たずとも、セブン-イレブンで支払い&受取りにすると、手数料0円でチケットが購入できます。

☆また、「兄弟船」レビューでは、上演後、お客さんにアンケートとして、「今見ていただきましたお芝居、どうすればもっと面白くなると思いますか？」との質問に、答えて頂きます。そしてそのアンケートを、ハイバイが500円で購入します！

■会場：五反田アトリエヘリコプター
■公演期間：2007年7月24日(火)～8月5日(日)

タイムテーブル

公演日	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29
曜日	火	水	木	金	土	日
15:00					ポンポン	兄弟舟
19:30	ポンポン	兄弟舟	ポンポン	兄弟舟	ポンポン	兄弟舟
公演日	7/30	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5
曜日	月	水	木	金	土	日
15:00					兄弟舟	ポンポン
19:30	ポンポン	兄弟舟	ポンポン	兄弟舟	ポンポン	

■席料料金：整理番号付き自由席

◎前半【2007年7月24日(火)～7月30日(月)】
前売/2,000円、当日/2,500円

◎後半【2007年8月1日(水)～8月5日(日)】
前売/2,500円、当日/3,000円

■作・演出：岩井秀人

■出演：「兄弟舟」永井若葉、猪股俊明、内田慈、田中伸一(開店花火)、岡田昌也、師岡広明(豚肉3カイキ)、他
「ポンポン」黒田大輔(THE SHAMPOO HAT)、金子岳憲、浜田信也(イクウメ)、市子嶋しのぶ(カムカムミニキーナ)、大久保亜美(mon)、三浦俊輔、永井若葉、師岡広明(豚肉3カイキ)、岩井秀人、他



(ハイバイ「お願い放課後」@こまばアゴラ劇場より 撮影：岩井泉)

ALL 販売期間中
「すぐチケ」!

★ チケットはe+(イープラス)で好評発売中! ★

チケットのお申込みは

<http://eplus.jp/hibye/>

PC
携帯

公演10日前になると手数料0円になる! 新サービス「すぐチケ」!

すぐチケ

「すぐチケ」とは……公演日10日前より、e+(イープラス)で予約したチケットの支払・受取方法をセブン-イレブンにすると、全ジャンル・全地域の公演*が、手数料0円で購入できます(チケット代以外の手数料は一切かかりません)。また、e+(イープラス)が特別にセレクトした一部の公演は、一般発売日初日から「すぐチケ」の対象になります。これからもっともe+(イープラス)をご活用ください!

*一部公演を除く

詳しくは ⇒ <http://eplus.jp/sugu/>

PC
携帯

B席 ¥5,500
(電)ビックニック0927150374

8/25(土)
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
●福岡市民会館大ホール(福岡市天神5-1-23)092-761-6567 地下鉄天神駅
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper[川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介]/他
(料) 全席指定 ¥6,500
(電)ビックニック0927150374

8/31(金)
『産隆大応援団』
●大分県立芸術会館
原作・脚本:金子茂樹 脚本・演出・出演:今井雅之 出演:東貴博(TAKE2)/隈部洋平/脇知弘/是近敦之/他
(料) 全席指定 ¥5,800
(電)GAKUONユニティ・フェイス 0985207111

8/8(水)
美輪明宏
『音楽会<愛>』
●大分Ichikoグランシアタ(大分市高砂町2-33)097-533-4000
構成・演出・美術・衣装:美輪明宏 演奏:セルジュ染井アンサンブル
(料) 全席指定 ¥7,000 立見 ¥6,000
(電)フォーユー・プランニング 0925315531

定期公演館以外

9/6(木)
WAHAHA本舗Presents
梅ちゃんの青い童話『青空姫』
●スターピアくたまつ(山口県) 0833-41-6800
構成・演出:鳴始 出演:杉浦哲郎(p)
(料) S席 ¥5,800、A席 ¥5,000
(電)ラグタイム0839256843

9/8(土)
松竹大歌舞伎
二代目中村錦之助襲名披露公演
●呉市文化ホール
出演:中村信二郎改め中村錦之助/中村梅玉/中村東蔵/中村時蔵/尾上松緑/他
(料) S席 ¥5,000、A席 ¥3,000 学生券 ¥1,000
(電)呉市文化振興財団事務局 0823257878

九州

北九州芸術劇場

北九州市小倉北区室町1-1-1-11
093-562-2620 小倉駅徒歩10分、西小倉駅徒歩3分

中 劇 場

7/14(金)～7/16(月)
『いご同志』
作・演出:坂手洋二 出演:渡辺美佐子/宮本裕子/向井孝成/佐野史郎
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)北九州芸術劇場 芸術文化情報センター-0935622655

イムズホール

福岡市中央区天神1-7-11
092-733-2002

7/28(土)・7/29(日)
北区つかこうへい劇団
つかこうへい2本立て『ヒモのはなし』黒谷友香エンドレス熱海殺人事件～売春捜査官』
<第一部「ヒモのはなし」>
作:つかこうへい 構成:演出:蓮見正幸 出演:三浦祐介
<第二部「黒谷友香エンドレス熱海殺人事件～売春捜査官」>
作:演出:つかこうへい 出演:黒谷友香/赤塚篤紀/及川以造/逸見輝羊/吉田学/他
(料) 全席指定 ¥6,000
(電)ビックニック0927150374

定期公演館以外

7/17(火)
北区つかこうへい劇団
黒谷友香エンドレス『熱海殺人事件～売春捜査官』
●熊本市産業文化会館
作・演出:つかこうへい 出演:黒谷友香/赤塚篤紀/及川以造/逸見輝羊/吉田学/他
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)ビックニック0927150374

7/17(火)～8/31(金)
劇団四季
『マンマ・ミーア!』
●福岡シティ劇場 劇団四季九州公演本部 092-271-1199
(料) S1席 ¥11,550、S2席 ¥11,550 A1席 ¥9,450、A2 ¥9,450 B席 ¥6,300、C席 ¥3,150
(電)劇団四季 福岡公演本部 0922711199

7/19(木)
『宝塚BOYS』
●福岡市民会館大ホール(福岡市天神5-1-23)092-761-6567 地下鉄天神駅
脚本:中島淳彦 演出:鈴木裕美 出演:葛山信吾/吉野圭吾/柳家花緑/三宅弘城(佐藤重幸)/他
(料) S席 ¥8,500、A席 ¥6,800
(電)TSSイベント事務局 0822531010

作:赤堀二英/山野ゆう 演出:伏見悦男 作曲:坂田おさむ 出演:杉田あきひろ/鈴木早智子/三倉茉莉/三倉佳奈/他
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)名鉄ホール0525857811

8/17(金)～8/19(日)
『お気に召すまま』
●静岡市民文化会館 大ホール(静岡市駿府町2-90)054-251-3751 JR静岡駅25分/静岡駅よりバス1・2番線 市民文化会館入口下車すぐ
作:W・シェイクスピア 演出:越川幸雄 出演:成宮寛貴/小栗旬/吉田鋼太郎/田山涼成/高橋洋/他
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,500
(電)テレビ静岡事業部 0542617011

8/22(水)
Piper結成10周年記念公演
『ひーはー』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥6,000
(電)キョードー東海0529727466

8/23(木)
ブロードウェイミュージカル
『フロッグとトード』
●名鉄ホール(名古屋市中村区名駅1-2-1)052-585-7811 名鉄新名古屋駅すぐ名鉄百貨店10F
原作:アーノルド・ローベール 上演:台本・訳詞:高橋亜子 演出:鈴木裕美 出演:石丸謙二郎/川平慈英/おがやまはじめ/高谷あゆみ/中山昇/他
(料) 全席指定 ¥6,500
(電)メ〜テレ0523319966

9/7(金)～9/9(日)
『エレンディラ』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
演出:越川幸雄 出演:中川晃教/美波/品川徹/石井信一/松下砂稚子/他
(料) S席 ¥12,000、A席 ¥7,000
(電)キョードー東海0529727466

7/16(月)
『サムシング・スイート』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
作:中谷まゆみ 演出:板垣恭一 出演:星野真里/辺見えみり/山崎樹範/井端珠里/金子昇
(料) S席 ¥8,000、A席 ¥7,000
(電)キョードー東海0529727466

アステールプラザ

広島市中区加古町4-17
082-244-0750
紙屋町経由字品行電車で役所前下車8分

大 ホ ー ル

7/17(火)
『宝塚BOYS』
脚本:中島淳彦 演出:鈴木裕美 出演:葛山信吾/吉野圭吾/柳家花緑/三宅弘城(佐藤重幸)/他
(料) S席 ¥8,500、A席 ¥6,800
(電)TSSイベント事務局 0822531010

8/22(水)
コンドルズ
『2007 夏のダンス公演』
(料) 全席指定 ¥5,500
(電)TSSテレビ新広島0822531010

8/28(火)
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
演出:後藤ひろひと 出演:Piper[川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介]/他
(料) S席 ¥6,800、A席 ¥6,300
(電)TSS事業部0822531010

『2007 夏のダンス公演』
●電力ホール
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)仙台放送0222682174

東海

七ツ寺共同スタジオ

名古屋市中区大洲2-27-20
052-221-8646 大須観音駅5分

8/3(金)～8/8(水)
少年王者館 第31回公演
『シフォン』
作・出演:虎馬鮎 演出・出演:天野天街 出演:夕沈/白鷗文字/中村葵美子/山本亜垂子/日与津十子/他
(料) 全席 全自由席 ¥3,000
■平日昼割引 全自由席 ¥2,000
(電)少年王者館09042135884

愛知県芸術劇場

名古屋市東区東桜1-13-2 愛知県芸術文化センター内
052-971-5511
地下鉄東山線・名城線 栄駅 2分

大 ホ ー ル

8/24(金)～8/26(日)
ミュージカル
『アニー』
出演:伊藤有沙(スマイル組)/栗原沙也加(トゥモロー組)/ダブルキャスト/目黒祐樹/杏子/岩崎良美/他
(料) S席 ¥8,000、A席 ¥6,000
(電)中京テレビ事業0529573333

定期公演館以外

7/14(土)
劇団/ダナンブエノ
双六公演
『砂利』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
作:本谷有希子 演出:倉持裕 出演:坂東三津五郎/田中美里/片桐はいり/酒井敏也/山西惇/他
(料) S席 ¥8,000、A席 ¥7,000
(電)キョードー東海0529727466

7/16(月)
『サムシング・スイート』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
作:中谷まゆみ 演出:板垣恭一 出演:星野真里/辺見えみり/山崎樹範/井端珠里/金子昇
(料) S席 ¥8,000、A席 ¥7,000
(電)キョードー東海0529727466

7/24(火)
『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』
●愛知厚生年金会館(名古屋千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分
作:リリー・フランキー 演出:G2 出演:萩原聖人/加賀まりこ/林隆三/他
(料) S席 ¥8,000、A席 ¥7,000
(電)キョードー東海0529727466

8/17(金)
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
●仙台市民会館(仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1)022-262-4721
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper[川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介]/他
(料) 全席指定 ¥6,500
(電)仙台放送0222682174

8/18(土)
『産隆大応援団』
●電力ホール
原作・脚本:金子茂樹 脚本・演出・出演:今井雅之 出演:東貴博(TAKE2)/隈部洋平/脇知弘/是近敦之/他
(料) 全席指定 ¥5,800
(電)仙台放送0222682174

8/24(金)～8/26(日)
『お気に召すまま』
●イズミティ21 大ホール(仙台市)022-375-3101 地下鉄泉中央駅5分
作:W・シェイクスピア 演出:越川幸雄 出演:成宮寛貴/小栗旬/吉田鋼太郎/田山涼成/高橋洋/他
(料) 全席指定 ¥8,500
(電)仙台放送0222682174

8/31(金)
コンドルズ

/三宅弘城(ナイロン100℃)/佐藤重幸(Team NACS)/他
(料) S席 ¥7,500、A席 ¥6,000
(電)STV札幌テレビ事業 0112728271

7/19(木)
音楽座ミュージカル
『アイ・ラブ・坊っちゃん』
●札幌市教育文化会館大ホール(札幌市中央区北1西13)011-271-5821 地下鉄西11丁目駅5分
脚本:横山由和 脚本・演出:フームホールプロジェクト 出演:吉田朋弘/松橋登/他 Rカンパニー
(料) S席 ¥6,720、A席 ¥5,670 B席 ¥4,620
(電)音楽座ミュージカルチケットセンター-0120503404

7/20(金)
音楽座ミュージカル
『アイ・ラブ・坊っちゃん』
●音更町文化センター(河東郡音更町木野西通15-8)0155-31-5215
脚本:横山由和 脚本・演出:フームホールプロジェクト 出演:吉田朋弘/松橋登/他 Rカンパニー
(料) S席 ¥6,720、A席 ¥5,670 B席 ¥4,620
(電)音楽座ミュージカルチケットセンター-0120503404

7/22(日)
音楽座ミュージカル
『アイ・ラブ・坊っちゃん』
●室蘭市文化センター(室蘭市幸町1-2)0143-22-3156
脚本:横山由和 脚本・演出:フームホールプロジェクト 出演:吉田朋弘/松橋登/他 Rカンパニー
(料) S席 ¥6,720、A席 ¥5,670 B席 ¥4,620
(電)音楽座ミュージカルチケットセンター-0120503404

東北

定期公演館以外

7/27(金)
『黄昏にカウントコール』
●電力ホール
作・演出:長谷川康夫 出演:風間杜夫/伊達曜(阿佐ヶ谷スバイダース)/麻生かほ里/園山晴子/鳴海由子/他
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)仙台放送0222682174

8/17(金)
Piper結成10周年公演
『ひーはー』
●仙台市民会館(仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1)022-262-4721
作・演出:後藤ひろひと 出演:Piper[川下大洋/後藤ひろひと/山内圭哉/竹下宏太郎/腹筋善之介]/他
(料) 全席指定 ¥6,500
(電)仙台放送0222682174

8/18(土)
『産隆大応援団』
●電力ホール
原作・脚本:金子茂樹 脚本・演出・出演:今井雅之 出演:東貴博(TAKE2)/隈部洋平/脇知弘/是近敦之/他
(料) 全席指定 ¥5,800
(電)仙台放送0222682174

8/24(金)～8/26(日)
『お気に召すまま』
●イズミティ21 大ホール(仙台市)022-375-3101 地下鉄泉中央駅5分
作:W・シェイクスピア 演出:越川幸雄 出演:成宮寛貴/小栗旬/吉田鋼太郎/田山涼成/高橋洋/他
(料) 全席指定 ¥8,500
(電)仙台放送0222682174

8/31(金)
コンドルズ

映画・映像業界のプロを目指す

デジタルハリウッド大学 THE UNIVERSITY OF DIGITAL CONTENT

**オープン
キャンパス
開催中!**
毎週土曜13時~

カリキュラム解説、学生作品鑑賞など
盛りだくさんの内容でお送りしています。
▶ご予約・詳細は下記HPを
ご覧ください!



©2007 Hironaka Horie / Love Rollercoaster LLP
デジタルハリウッド大学 開校2周年記念・第13回「映画祭」実行委員会・ファンクラブ

映像、CG、アニメ、Web、IT...「デジタル」という共通言語を、分野を超えて自在に操る。新しい時代を創るための、技術とクリエイティブを学び、英語力を養う。

映像



映像の世界もデジタル化が進んでいます。本格的なカメラを使った撮影演習や、CG加工、デジタル編集など、アナログとデジタルを交えながら「映像」を制作していきます。

CG アニメーション・ゲーム



3DCGアニメーションは、実写、アニメを問わず、映像産業では必要不可欠に。本学ではキャラクターや建物など、基礎からアニメーションに仕上げる技術を学んでいきます。

Web デザイン & プログラミング



ホームページだけでなく、ブログやSNSなど、IT業界の可能性はますます広がっています。本学ではWebデザイン、プログラミングのほか、ITビジネスの仕組みなども学びます。

英語 & 留学



日本のアニメや映画、マンガなどは海外から高い評価を得ています。これらの産業においては海外で活躍するためには英語力が必要。充実の英語教育と留学プログラムを用意しています。

<http://www.dhw.ac.jp/>

☎0120-823-422 ✉daigaku@dhw.ac.jp
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル7階



〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル7階

FROM THE DARS

夏到来。毎日暑いですが、皆様いかがお過ごしですか?
夏休みをとって旅行? 帰省?
でもお芝居もお忘れなく。
7、8月は注目公演が揃ってますよ!
「お気に召すまま」、「犬顔家の一族の陰謀」などなど。
夏休み中にたくさん読んでください!

◆小栗くん、成宮くんの表紙とインタビュー、どちらもとても素敵で感激しました。2人の、初演よりもっと良いものにしたい、という、上を目指す姿勢に触れて、「お気に召すまま」がますます楽しみになりました。2人の意気込みで、観劇後には、この6月号の表紙のようなお天気の日みたい、とてつもなくHappyな気分になれる予感がしています!

(東京都 学生 碧)

◆今号は成宮君×小栗君という若くて「イケメン」なお2人の表紙がとても新鮮でした。いつも「今号の「表紙のヒト」はどなただろう?」と予想をするのですが、一度も当たったことがありません(笑)。いい意味で裏をかかれる、という人選は、毎回素敵です。これからも楽しみにしています!

(北海道 会社員 あっちゃん)

◇成宮寛貴さん、小栗旬さんの表紙にはたくさんの反響をいただきました。改めて、人気のお2人なんだな……と思わせられました。今号の表紙は、山内圭哉さんと片桐仁さん。予想

は当たりましたでしょうか?

◆TEAM NACS「HONOR」へ守り続けた痛みと共に。まず、ケン・タウロスさん(オナー兄さん)が誌面にいたことに驚き、そして大爆笑。私も赤い玉が欲しいです。サントラを聞きながら読んでいたので、ラストシーンの写真のなかにチエがいるのを見て、号泣してしまいました。「全ての心にふるさとを。」というキャッチフレーズは本当に的を得ていて、心に突き刺さるものでした。それだけ素晴らしい作品でした。

(愛知県 大学生 あやこ☆礼文化)

◇「HONOR」、とても面白かったです。安田顕さんの「ケン・タウロス」から目が離せませんでした……。

◆やー、すごいですね、コンドルズの「学級崩壊」インタビュー(笑)。文字サイズ、色の変化の目まぐるしさが、インタビュー「坂口さん」の苦労と気合を表しているようで(笑)、こっちまで

目が回ってしまいました。

(神奈川県 会社員 ののちゃ)

◇コンドルズのグダグダなインタビューは、ある意味とても彼らしく、読んでる分には楽しいですね。まとめる方は大変ですが……。

◆「期待の俳優」101人に聞く!「感性」の法則、じっくりと読みました。お1人お1人のコマは小さいですが、演劇ぶっくらではの選択で、普段あまり誌面でお目にからない沢山の役者さんの声に触れることができました。あまり存じ上げない方が多かったのですが、こういう機会がないと存じ上げないままだったかもしれません。でも、なぜ「101人」なのでしょう……。

(埼玉県 学生 Y.T.)

◇本当はもっともご紹介したい役者さんが沢山いたのですが、キリのいいところで「100人」にしようかと。でもできあがって見たらなぜか「101人」になっていました……。謎です。

◆地方に住んでいて、なかなか舞台に接する機会はないのですが、年に2、3回出張で上京するときに無理矢理時間作って劇場に行ってます。公演情報の収集もさることながら、僕にとって演ぶの最大の効能はテンションアップです。インタビュー記事とか読んだと、遠足前みたいにテンション上がる。なんかつられて仕事もはかどるはかどる。この前の上京のときにはついに、同行していた上司を下北に連れて行きました。満員の駅前劇場に(笑)。これからは演ぶ片手に田舎で啓蒙活動していきます!

(広島県 公務員 紫色の小役人)

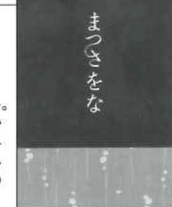
◇ありがたうございます! 編集部員は皆様のおハガキを読んで、テンションが上がります。こんなに読んでくださっている方たちがいるんだなあ、と思うと、忙しくて頑張りたくない! という気持ちになります。……というわけで、今号も皆様からのおハガキお待ちしております。どしどしお送りください!

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は7月31日消印有効。どしどし応募ください!!

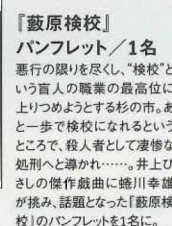
山内圭哉×片桐仁サインボラ/2名

撮影日は6月中旬にも関わらず、この日はいい感じに快晴。意気揚々と撮影に臨んだ……までは良かったんですが、某所公園に寝転んだお2人に降り注ぐのは、割と強めの日差し。撮影終了まで同じポーズで決めてくれたお2人は、当然その暑さにも耐えてくれたわけでした……。ホント、お疲れ様でした! そんな山内圭哉と片桐仁のツーショットボラにサインを入れて2名に。



演劇集団キャラメルボックス 「まつさをな」 サイン入りフォトブック/1名

思わぬ恋愛話にも発展した今回のインタビュー。女性が主役の時代劇です。こういうお話もなかなか興味深いですね。時代劇と恋愛の意外な相性の良さを発した公演&インタビューでした。坂口理恵、温井摩耶、貫井貴美子の3人のサインが入ったフォトブックを1名に。



『葦原校校』
パンフレット/1名
悪行の限りを尽くし、「校校」という盲人の職業の最高位に上りつめたという市。あと一歩で校校になれるところで、殺人者として逮捕された……。井上さのの傑作戯曲に端川幸雄が挑み、話題となった「葦原校校」のパンフレットを1名に。



佐藤重幸×福島三郎サインボラ/2名

TEAM NACS公演のみならず、「宝塚BOYS」など外部出演も数多い佐藤重幸。彼の新作「GH000000ST!!」が、「TEAM NACS SOLO PROJECT」として8月に上演される。演出の福島三郎とのコラボレーションは……!! 2人のツーショットボラにサインを入れて2名に。

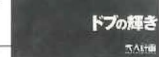


北村一輝×岸谷五朗 サインボラ/1名

都内某ホテルのスイートルームで行われた今回のインタビュー。お二人のカッコよさとオーラに圧倒されそうにながらも、地球ゴージャスの次回公演「ささやきのあの日たち」に対する意気込みを、しっかり聞くことができました。お二人のツーショットボラにサインを入れて1名に。

大人計画「ドブの輝き」 サイン入りパンフ/1名

今回のパンフレットにはサインがいっぱい。座談会にご登場頂いた俳優5名と、映画監督・井口昇のサインが入っています! ここでしか聞けないような盛り沢山の内容になった座談会と同様、貴重な一冊となったこのサイン入り公演パンフを1名に。



ナイロン100°C 「犬は鎖につなぐべからず」 サイン入りパンフ/1名

P.14へのインタビューや写真からその雰囲気が出てくると思いますが、この3人は本当に、本物の家族のような不思議な温かさを持っています。役者としての気質や才能は勿論、こういう「出会い」も芝居を魅力的にする一要素なのかもしれません。大河内清、村岡希美、植木夏十のサインを入れた公演パンフを1名に。



ヨーロッパ企画「苦悩のピラミッダー」 劇中小道具「犬とジャッカル」/1名

2000年に上演した3作品を再演する企画「バックトゥー2000シリーズ」。今号では、まず2作品をご紹介します。そして次号では残りの1作「衛生都市へのサウダージ」をご紹介します。それを記念して(?)今回のプレゼントは豪華2本立てです! まずは演出家兼座長・上田誠、砂組座長・永野宗典、冬組座長・中川晴樹の「座長サイン」が入ったパンフレット「ヨーロッパ通信 第2号」を1名に。



ヨーロッパ企画 サイン入りパンフレット 「ヨーロッパ通信 第2号」/1名

2000年に上演した3作品を再演する企画「バックトゥー2000シリーズ」。今号では、まず2作品をご紹介します。そして次号では残りの1作「衛生都市へのサウダージ」をご紹介します。それを記念して(?)今回のプレゼントは豪華2本立てです! まずは演出家兼座長・上田誠、砂組座長・永野宗典、冬組座長・中川晴樹の「座長サイン」が入ったパンフレット「ヨーロッパ通信 第2号」を1名に。



【お詫言と訂正】
第6月号(5/9発売号、127号)15ページ、17ページ、19ページにおきまして、石淵聡の表紙に誤りがございました。誤)石淵聡 → 正)石淵聡
この場をお借りして訂正し、お詫言申し上げます。

